

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第 1 基本方針	1
第 2 主要事業	4
第 3 実施事項	
基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり	
実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します	1 8
実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します	2 1
実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します	2 9
基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり	
実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します	3 2
実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します	3 5
基本目標 3 災害福祉支援体制づくり	
実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します	5 1
実施目標 2 災害時の市町社協を支援します	5 4
基本目標 4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり	
実施目標 1 組織・経営強化を図ります	5 6
実施目標 2 「人財」育成を図ります	6 2
事業報告の附属明細書	6 4

本計画書は別途作成した「第五次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

基 本 方 針

第1 基本方針

1 第五次活動推進計画 基本理念

| 本県における地域福祉を取り巻く現状と課題

最も大きな課題は人口減少への対応	現在 364 万人 →2025 年 推計 348 万人(約 16 万人減少)
超高齢社会への対応	一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加 ⇒日常生活を支える仕組みづくり
価値観の多様化や地域のつながりの希薄化	社会的孤立、地域の福祉力が脆弱化 ⇒福祉教育、地域づくり(多分野連携)
課題の複合化・複雑化、制度の狭間	各分野の関係機関の連携が必要(包括的な支援体制の整備、協働の中核機能)
福祉・介護人材の安定的な確保 (2025 年の介護職員 8 千人不足)	イメージアップ、高齢者・外国人の介護人材確保等
誰一人取り残さない社会の形成と高齢者、女性、外国人など、これまで以上に多様な人材の活躍が不可欠	



めざす社会の姿「地域共生社会の実現」

制度・分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

※基本理念とは、組織の姿勢や進むべき方向性を明確化するものである。(組織の存続原点、使命)

| 地域福祉の推進を目的とする県社協の役割(機能)

1 広域機能

社会全体として取り組んでいくべき重要な課題や、市町段階では容易に取り組めないような困難性の高い課題への対応

2 専門機能

地域における利害調整等を行う「第三者機関」の役割や、単独の事業体では完結できないような専門的な課題への対応(経営支援、人材確保・育成)

3 政策提言・連絡調整機能

地域間格差を解消していくような情報提供と調整、情報共有の場づくり、政策提言

4 情報提供機能

全国各地の情報や新たな課題への対応事例、そのノウハウなどを収集し、提供

計画推進機関：令和2年(2020年)4月～令和7年(2025年)3月の5年間

2 第五次活動推進計画 推進体系

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

<p>基本目標 1 地域福祉を支える 仕組みづくり</p> <p>地域共生に資する住民主体の地域力強化及び包括的な支援体制の構築を、広域的な見地から推進します</p>	<p>実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりを推進します</p> <p>実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します 総合相談体制を構築するとともに、問題を解消するための伴走型支援の拡充や官民協働による支援活動を推進します</p> <p>実施目標3 地域共生の基盤となる市町社協を支援します 地域の最前線で地域福祉の推進をリードする、市町社協の経営基盤の強化及び総合力を活かした活動の活性化を支援します</p>
<p>基本目標 2 地域福祉を支える 組織・人づくり</p> <p>地域共生に資する福祉サービスの質の向上及び福祉・介護人材の確保・育成支援を推進します</p>	<p>実施目標1 社会福祉事業者等を支援します 社会福祉事業者等の経営基盤の強化とともに、複数の社会福祉法人等が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図ります</p> <p>実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します 福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援に努めます</p>
<p>基本目標 3 災害福祉支援 体制づくり</p> <p>地域共生に資する総合的な福祉救援活動の体制整備を平時から推進します</p>	<p>実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します 県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築します</p> <p>実施目標2 災害時の市町社協を支援します 市町社協が災害支援活動に専念できるよう、社協ネットワークを活かした重層的な支援体制を構築します</p>
<p>基本目標 4 地域福祉を支える 県社協の基盤づくり</p> <p>地域共生に資する県域の地域福祉推進の中核として、基盤づくりを推進します</p>	<p>実施目標1 組織・経営強化を図ります 多様な主体の参画による組織体制、ガバナンス、安定的な経営基盤の強化とともに、様々な媒体を活用した情報収集と広報力の強化を図ります</p> <p>実施目標2 「人財」育成を図ります 職員を「人財」として大切にし、目指す職員像・行動目標を作成し、職員のキャリアアップを支援する計画的な人材育成を図ります</p>

大切にする視点

- ・「SDGs（持続可能な17の開発目標）」（貧困、保健、教育、ジェンダーなど）
- ・5つの特徴：普遍性、包摂性（誰一人取り残されない）、参画型（全てに役割を）、統合性、透明性

3 SDGs（持続可能な開発指標）と第五次活動推進計画の関係

- 1 持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」では、2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。
- 2 第五次活動推進計画に掲げる基本目標に基づく取組の推進が、SDGsの目標につながります。

- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの目標（一部）

- ① 貧困（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
- ③ 保健（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
- ④ 教育（すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）
- ⑤ ジェンダー（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
- ⑧ 成長・雇用（生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する）
- ⑩ 平和（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進）
- ⑫ 実施手段（持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化）

第五次活動推進計画基本目標	① 貧困	③ 保健	④ 教育	⑤ ジェンダー	⑧ 成長・雇用	⑩ 平和	⑫ 実施手段
① 地域福祉を支える仕組みづくり	○	○	○	○	○	○	○
② 地域福祉を支える組織・人づくり		○	○	○	○	○	○
③ 災害福祉支援体制づくり		○		○		○	○
④ 地域福祉を支える県社協の基盤づくり		○		○	○		○

主 要 事 業

第2 主要事業

基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します

重点事項 福祉以外の分野との協働促進及び地域福祉教育の推進

「地域共生社会」の実現を目指し、全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合う地域共生社会の実現と教育、農林水産、多文化共生など福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域を基盤とした福祉教育を推進した。

	事業内容
1	ふじのくに「地域共生」大賞の実施 (1)ふじのくに地域共生大賞の募集 (7/20 募集開始 34 団体から応募) (2)ふじのくに地域共生塾の開催 (10/24、11/20、1/29、2/14 9名受講)
2	生活支援体制整備の構築 (1)生活支援コーディネーター養成研修の開催 (県委託事業) (7/27 121名参加) (2)生活支援コーディネータースキルアップ研修の開催 (県委託事業) (10/26、11/8、11/13 67名参加)
3	新たな地域福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖」を活用促進するための「副読本活用ガイドブック」の作成 (赤い羽根助成金事業) ・福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖 (ふむふむ程度)」の活用促進 ・新たな地域福祉教育副読本の配付、副読本活用ガイドブックの制作 (9/27 制作配付) ・地域福祉教育推進セミナー (2/5 77名参加) ・地域福祉教育担当者会議の開催 (8/24 28名参加) ・地域福祉教育推進委員会の開催 (第1回: 9/21、第2回: 3/18)

【進捗状況及び成果】

地域に根差して活動する団体・グループの情報を収集し、積極的に情報発信することにより、参加機会と多様な主体・分野の連携の促進を目的として「ふじのくに地域共生大賞」の募集を行い、34 団体から応募があった。また、新たに「ふじのくに地域共生塾」を開催し、地域共生のまちづくりを実践する人材の養成、実践者同士の交流を実施した。

本会に作業部会を設置し、赤い羽根共同募金助成金を活用して、中学2年生を対象とした新たな地域福祉教育副読本ちいきふくしの練習帖「ふむふむ程度。」と副読本の活用促進を図るためのガイドブックを制作した。引き続き、地域を基盤とした地域福祉教育の展開が実践できるように市町社協と連携して、副読本を活用した地域福祉教育を展開していく。



ふじのくに地域共生塾
(第1回 場所: 龍津寺)



新たな地域福祉教育副読本・ガイドブック
(赤い羽根助成金事業)

実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

重点事項 市町における包括的な支援体制の構築の推進

住民が抱える生活課題の内容は様々で複雑化・複合化しているため、高齢、障がい、児童、生活困窮者などの属性に関わらず、住民が抱える生活課題の解決と繋がり続ける支援活動に向け、支援機関がチームとなり包括的な支援体制を構築する取組を支援した。

事業内容	
1	多機関協働による包括的支援体制の構築支援 ※県委託事業 (1) 市町へのアドバイザー派遣 (8市町、計13回) (2) 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (5/11) (3) 包括的相談支援構築市町会議の開催 (7/11) (4) 中核機関担当職員人材養成講座 (前期 YouTube 視聴、後期 10/31, 11/28, 12/5)
2	市町社協における総合相談体制づくりの推進 (1) 相談事業部会の開催 (1回 12/1) (2) 相談事業担当者研修会の開催 (2回 4/14 基礎研修 41名・6/7 中堅職員研修 11名) 基礎研修では相談事業にはじめて加わる職員を対象に、社協相談業務の役割や相談援助技法を学ぶことで、相談援助の基礎的知識を得る機会となった。 中堅職員研修では、中堅職員を対象にスーパービジョンを用いて、助言方法を学び、また参加者が日頃の悩みを共有できる場となった。   基礎研修 中堅職員研修

【進捗状況及び成果】

包括的相談支援体制を構築するための重層的支援体制整備事業は10市町が令和6年度から実施予定。また、前段となる移行準備事業については5市町が実施予定となっており、体制構築の取組が進みつつある。

実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

重点事項 市町社協の基盤強化と活動支援

地域共生社会づくりにむけて、「社協・生活支援活動強化方針」に基づく事業展開を進めるために市町社協連絡協議会の部会運営や市町社協個別支援・担当制の導入により市町社協の組織・事業基盤の強化を図り活動を支援した。

	事業内容
1	市町社協連絡協議会及び部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・幹事会の開催(6/19) ・介護保険部会(幹事会:11/6)・広報啓発部会(10/12)・相談事業部会・総務部会の開催 介護保険部会全体会、広報啓発部会全体会等を開催すると共に、相談事業部会、総務部会において市町社協向けの研修企画等の検討を行う。
2	市町社協役職員研修・会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協監事研修会の開催(4/14～7/31 動画配信 132回再生) 監査体制や監事の役割を確認し、監査による組織基盤の強化を図る ・市町社協新任職員研修会の開催(5/18～19 56名参加) ・市町社協事務局長会議の開催(5/26) ・社協の採用力向上研修(6/15 9名参加)【新規事業】※人材課と共催 ・市町社協中間管理職(ミドルマネジメント)研修会の開催(7/28 22名参加)※人材課と共催 ・市町社協会計実務研修会の開催(7/27～11/30 動画視聴による限定配信) 基礎的な会計実務など全般的な知識と会計処理の習得を図った ・市町社協会長会議の開催(2/20) ・市町社協経営基盤強化検討委員会の開催(2/9) ・第59回関東ブロック社協職員合同研究協議会(7/6～7/7 332名参加)【新規事業】 ・市町社協決算実務研修会の開催(3/2～6/28 予定 動画視聴による限定配信) 決算実務を習得することにより、経理事務の適正化を図った
4	コミュニティソーシャルワーク(地域福祉コーディネーター)実践者養成研修会の開催 Step1(7/14, 15)・Step2(2/16, 17 開催予定) 26名参加 コミュニティソーシャルワーク実践者スキルアップ研修会及び各地区の連絡会の開催(8/21) 21名参加
5	コミュニティワーク研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティワーク研修会 アセスメント研修初級編(熱海市) 12/4 23名参加 中級編(藤枝市) 12/22 10名参加 小地域福祉活動計画編 1/23 21名参加 ネゴシエーション編 2/26 19名参加
6	市町域のネットワーク構築支援 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施(通年) 島田市、袋井市、西伊豆町、清水町(新規)にて実施。 ・法人間連携に取り組む福祉施設のBCP策定アドバイザー派遣事業の実施(通年) ・ネットワーク化協働推進事業実施市町のICT技術導入支援に関する事業 ・他県における事業実施市町との勉強会(9/26～27) 富山県黒部市

【進捗状況及び成果】

市町社協新任職員研修会は、社協の法的位置づけや使命など、社協の基本的な説明や実施する各種事業を理解し、接遇やファシリテーションに関するグループワークを行うことで、必要なスキルを身に着けた。

第59回関東ブロック社協職員合同研究協議会は、本県が当番県となり、実行委員会を組織して企画・運営を進めた。当日は、1都10県の関東ブロック社協職員が参加し、第1～第6分科会に分かれて協議を行い、先駆的な取り組み事例を学ぶことができた。



市町社協新任職員研修会



黒部市社会福祉法人連絡会との勉強会



第59回関東ブロック社協職員合同研究協議会



基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します

重点事項 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人等が常に利用者の立場に立って、良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令順守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業内容	
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 社会福祉事業振興のための助成金 ※実績：84件 14,997,000円
2	福祉施設経営指導事業の実施（会計79件、法律1件、施設サービス0件、労務10件） 社会福祉法人等が行う運営の取組みに対し、専門相談員による助言、指導及び支援を行う。
3	経営に関する研修会・セミナー等の開催 社会福祉法人・施設の経営基盤の強化と利用者へのより質の高いサービスの提供を図る。 ア 社会福祉法人監事監査研修会の開催（4月 264施設） イ 社会福祉法人簿記入門講座の開催（6月 82施設） ウ 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座の開催（7月 85施設） エ 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座の開催（8月 117施設） オ 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催（9月 86施設） カ 社会福祉法人予算管理基礎講座の開催（9月 100施設） キ 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座（10月 91施設） ク 社会福祉施設運営管理研修会の開催（12月 100施設） ケ 社会福祉法人・施設職員税務実務講座の開催（11月 77施設） コ 社会福祉法人財務管理講座の開催（12月 100施設） サ 社会福祉法人決算実務講座の開催（2月 153施設） シ 新設社会福祉法人等運営管理説明会の開催（中止）

【進捗状況及び成果】

民間社会福祉施設運営基金助成事業では、72事業所から84件の申請を受理し、助成金を交付した。新規申請区分として「人材確保・定着促進事業」を加え、県内法人・事業所における採用ツールの開発支援や、職員のモチベーション向上・定着につながる人事管理制度の整備の取組に対する助成を実施した。



経理応用講座【動画配信】

実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

重点事項 福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援を行った。

	事業内容
1	<p>社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所）（目標就職者数 全県 1,000 人）</p> <p>ア 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規求人登録数 11,975 人 (R6.3 月末現在) ・新規求職登録数 3,705 人 (R6.3 月末現在) ・就職者数（東部、静岡） 453 人 全県 598 人 ※全国 1 位 <p>イ 無期雇用者の離職状況の確認</p> <p>(2) 福祉人材マッチング機能強化事業の推進</p> <p>ア キャリア支援専門員の設置 5 人（本所 4 人、東部支所 1 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設訪問 223 か所 ・マッチング就職者件数 273 件 ・マッチング支援者件数 653 件 <p>イ 専門アドバイザーの設置（公認会計士、社会保険労務士に委嘱）</p> <p>ウ 社会福祉人材センター情報発信事業の実施</p> <p>エ ミニ就職相談会の開催（対面式 16 回 WEB 3 回）</p> <p>オ 求職者向けの施設見学（オンライン）の実施（15 回）</p> <p>カ 県主催移住フェアや小規模就活イベントへの参加</p> <p>(3) 福祉の就職相談会の開催</p> <p>【他業種からの転職者や学生等、幅広いターゲット向け】</p> <p>ア 就職相談会（対面式 6 回＋オンライン開催 2 回）</p> <p>イ 求人 PR サイトの運営（通年）</p> <p>ウ 合同企業説明会（3 回実施）</p> <p>【大学生向け】</p> <p>ア 大学等での出前説明会（16 回実施）</p>
2	<p>事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施</p> <p>(1) 事業所の採用担当者や養成校教員との会議の開催（参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> 6/20 介護福祉士養成施設協議会 第 1 回協議会 ※招聘され、参加 6/27 福祉人材確保・定着実践研究会（夜勤編） 8/2 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会 9/13 福祉人材確保・定着実践研究会（ダイレクトリクルーティング編） 12/26 福祉人材確保・定着実践研究会（求職者の動向・紹介会社の戦略編） 1/31 福祉人材確保・定着実践研究会（学生への WEB アプローチ編） <p>(2) 課題解決に向けた実践</p> <p>ア 調査研究の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①4 月：福祉系養成校進路実態調査の実施 ②1～3 月：福祉職の性格特性や継続理由の調査 <p>イ 学生専用 SHIZUOKA 福祉のアルバイト応援サイトの稼働開始</p> <p>ウ 社会福祉人材センターを県社協が担う意義等の再ブランディング</p>

	<p>(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催 人材【確保】【定着】の2研修については、双方ともに施設編と社協編を開催 6/8 福祉施設の採用力向上研修 (88 人参加) 7/21 福祉施設の人材定着研修 (101 人参加) 9/5 採用・育成・定着に活用できる使いやすい助成金活用術 WEB セミナー (101 台参加)</p>
3	<p>他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <p>(1) 外国人介護人材サポート事業 ア 職場訪問 (訪問目標数 36 か所) イ 研修交流会の開催 (県内 18 回計画し、16 回実施) ウ 支援策検討会議の開催 (年 3 回開催)</p>
4	<p>保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 保育士・保育所支援センターの運営 (就職支援コーディネーターの配置 4 人) 保育所就職者数 102 人 (3 月末現在) 目標就職者数 100 人</p> <p>(2) 保育士就職説明会の開催 ・対面式 4 回 (静岡市内 2 回) ※内 3 か所、WEB 開催 内 1 か所実施済 ・WEB 3 回 (静岡市 1 回、東部 1 回、静岡市を除く中西部 1 回) 潜在保育士及び新卒保育士等に対する就職相談の場として開催</p> <p>(3) 潜在保育士現場復帰研修の開催 ・対面式 4 回 (静岡市内 2 回) ・WEB 1 回 11 月開催</p> <p>(4) 出張相談会の開催 (13 回) ・静岡県委託分 6 回 ・静岡市委託分 7 回</p> <p>(5) 保育所等見学・現場体験の実施 ※静岡市のみ対象を大学生以上から高校生以上に拡大 【新規事業】 体験受入施設 118 施設 体験実人数 98 人 (延べ体験日数 188 日)</p> <p>(6) 離職保育士届出制度の促進 保育人材確保につなげるため、潜在保育士や離職予定の保育士に対して、「保育士・保育所支援センター」への届出勧奨を行っている。 周知用カバー付き付箋作成・配布 500 部 令和 6 年 3 月末登録者 262 人</p> <p>(7) 放課後児童支援員の人材確保支援 保育資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施 求職相談件数 7 件 就職者数 1 人</p> <p>(8) 保育士養成施設連絡会の開催 保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的とした情報共有を実施する。 令和 6 年 3 月 11 日 開催</p> <p>(9) SNS (LINE) による相談窓口の設置、情報発信 SNS (LINE) のアカウントを開設し、相談の相談窓口とし、必要に応じて社会保険労務士など、専門家による助言を行う。併せて、登録者に対して、保育に関する制度や資格、就労等の情報発信を行っている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 295 人 ・相談件数 131 件 ※内 7 件 社会保険労務士による助言 ・情報発信 60 件
5	<p>福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透</p> <p>(1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施</p> <p>ア 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施（目標：150 回開催 小学校 50 回、中学校 80 回、高校 20 回） 202 回開催（小学校 58 校 108 回、中学校 23 校 65 回、高校 13 校 29 回） 参加者数 6,969 人（3 月末現在）</p> <p>イ セミナーの資質向上のための講師意見交換会を開催（1 回）（1 月頃）</p> <p>(2) 保護者向け啓発資料の作成・配布（10,000 部作成）</p>
6	<p>福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施</p> <p>(1) 福祉のしごと学び体験ツアー（会場集合型）の実施</p> <p>ア 介護機器体験とリモート福祉施設見学会、現役の福祉系大学・専門学校生から、福祉の仕事の魅力や、やりがい等を発信。（中高生とその保護者、教員を対象）</p> <p>東部：沼津会場（プラサヴェルデ）7/26 29 人 中部：静岡会場（シズウエル）8/4 21 人 西部：浜松会場（浜松市福祉交流センター）8/9 27 人 参加者計 77 人。</p>

【進捗状況及び成果】

対面による就職相談会、職場体験等が再開されてきたものの、施設での感染対策への配慮が続いていることから、施設見学会のリモート実施、オンライン就職相談会など WEB を活用した就職支援を継続し、全国的に福祉分野の求職者数が低迷している中にもあっても 453 人の就職者を確保した。浜松市福祉人材バンクと合わせた県全体では 598 人となり、全国 1 位を維持している。

また、将来の人材確保につなげるため、生徒、学生に向けた出前講座や保護者向け啓発資料にて、福祉・介護職に関する正しい情報提供とイメージアップを図っている。小・中・高校生に向けた福祉の仕事の魅力を伝える取組では目標の 150 回より 52 回多い 202 回の申し込みがあった。



福祉の就職相談会
チラシ・ポスター



福祉のしごと学び体験ツアー
(プラサヴェルデ)

基本目標 3 災害福祉支援体制づくり

実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します

重点事項 静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化

県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築した。

	事業内容
1	<p>(1)活動資機材配備と保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) 資機材ストックヤードの整備 (静岡県済生会静岡支部小鹿苑) (赤い羽根共同募金助成事業) イ) 資機材ストックヤードの新たな設置拠点の検討 (浜松市内を予定) <p>(2)県本部・情報センターの体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) 県、県ボランティア協会との運営に関する検討会の実施 (通年) イ) 県域の支援団体との連絡会の開催 (2/13) ウ) IT 支援協定に基づく平時の取組の実施 (通年) エ) 支援協定の年次確認の実施 <p>静岡銀行との協定内容確認 (8/16) 支店銀行員の菊川市災害 VC 訓練参加 (9/3)</p>
2	<p>静岡県災害派遣福祉チーム (静岡 DWAT) の体制強化</p> <p>(1)静岡県災害福祉広域支援ネットワークの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 登録員養成研修の開催 (8/18、9/1 全 2 日間) 参加者:36 名 イ スキルアップ研修の開催 (11/10) 参加者:64 名 ウ 平常時の支援活動展開 <ul style="list-style-type: none"> ・伝達訓練 (10/20) ・静岡市駿河区西豊田学区において実施訓練 (12/2) 参加者:約 100 名 エ 県内 3 地域(東部・中部・西部)における支部活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・エリア別検討会の開催 (6/15、22、29、12/1) 参加者:48 名 ・全体会の開催 (12/1) 参加者:10 名 オ エリア別(東部・中部・西部)情報交換会の開催 カ ネットワーク会議の開催 (3/15) 参加者:14 名 キ 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催 (2 回 6/12、9/3) ク 広域相互支援ネットワークの構築(近隣県事務局との意見交換) (8/3) ケ 災害対応 <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市災害 VC に係るニーズ把握の振り返り (10/30) ・令和 6 年能登半島地震被災地(1.5 次避難所等)派遣 (1/8~2/29、4/1~5/2)
3	<p>(1)要配慮者支援の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 静岡 DWAT 出前講座の実施 (18 回) イ 職能団体、種別協等との合同研修会の開催 ウ 静岡 DWAT 啓発用展示パネル貸し出し事業の実施 <p>(2)個別避難計画(災害時ケアプラン)作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市町における計画作成支援 (重点支援:熱海市) (5/24、9/7) 参加者:31 名 イ 市町行政(福祉部局、防災部局)向け研修会の開催 (6/8、21、28、7/5、13 192 名参加) ウ 個別ヒアリングの実施 (12/11、13、20、1/22、26 日 141 名参加) エ 福祉専門職(ケアマネ、相談支援員等)向け研修会の開催

	<p>(4/19、27、6/30、9/13、10/13、11/16、2/22、3/15)</p> <p>オ 個別避難計画作成事業報告会の開催(3/8)参加者:96名</p> <p>カ 広報ツール(パンフレット等)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践事例映像紹介チラシ(長泉町) ・個別避難計画作成の手引き <p>・35市町取組報告書</p>
--	--

【進捗状況及び成果】

災害ボランティア活動資機材整備事業は県内7ヶ所目のストックヤードを設置し、災害発生時の活動資機材供給体制の強化につながった。県本部と協定締結している団体との意見交換の開催や、セミナー及び訓練に相互が参加し、災害時に協定が活かされるよう顔の見える関係づくりの強化を図った。

今年度開催した第8期静岡 DWAT 登録員養成研修を含め登録員数は300名を超えた。災害時に速やかに派遣調整及び避難所での派遣活動を適切に実践できるよう、市町行政のネットワーク構築に向けた説明会を設定した。今後も登録員の平時の活動の場を増やし、災害派遣の資質向上や共通認識を深め、支部活動勉強会やスキルアップ研修等の機会に登録員の士気を高める働きかけを行っていく。また、個別避難計画の作成事業については市町行政への説明会及び、福祉専門職との連携を目的とした研修会を実施している。地域の資源、実情に合わせた計画作成において実施主体である市町行政の課題を把握するため、下半期にアンケート及びヒアリングを実施し進捗を把握した。



静岡 DWAT 支部活動勉強会



第8期静岡 DWAT 登録員養成研修



DWAT 福祉的トリアージ
(県総合防災訓練:浜松市)



市町行政向け個別避難計画研修会
(東部会場/三島市)

実施目標 2 災害時の市町社協を支援します

重点事項 市町社協と被災者支援

市町社協が災害支援活動に専念できるよう支援活動を展開し、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援体制の整備を図った。

	事業内容
1	<ul style="list-style-type: none"> 災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ア) 6月2日からの大雨等による被害に対する沼津市災害ボランティアセンターへの市町社協職員派遣 派遣実人員：16社協38人、86人日 イ) 6月2日からの大雨等による被害に対する市町災害ボランティアセンターへの県社協職員派遣 派遣実人員：24名、96人日 ※磐田市、富士市、沼津市の各災害VCへ派遣 ウ) 令和6年能登半島地震に対する石川県内市町災害ボランティアセンターへの職員派遣 派遣実人員：県社協4人28人日、市町社協14社協20人、140人日 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備（再掲） 県V本部と菊川市災害VC立ち上げ訓練との一体的な訓練実施（9/3） 市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修の開催（3回）【赤い羽根助成金事業】 （第1回：8/30 55名参加、第2回：2/7 53名参加、第3回：3/6 63名参加）
2	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な生活福祉資金（特例貸付）の実施 生活福祉資金特例貸付の実施を想定した体制整備の構築
3	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における日常生活自立支援事業の利用者支援 災害時運営マニュアルの検証
4	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における介護保険事業の利用者支援 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備 災害時対応マニュアルの策定支援

【進捗状況及び成果】

災害発生直後から速やかに情報共有会議を行い、本会職員の被災地社協への派遣と市町社協の応援派遣を行う体制が出来ており迅速に県内外の被災地社協支援を行った。



沼津市災害ボランティアセンター



富士市災害ボランティアセンター



能登町災害ボランティアセンター運営支援

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

重点事項 安定的な法人運営の実施

会員向けのセミナーの開催等本会の会員サービスの充実に向けた取組を検討、実施するとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、経営基盤を強化するために、事業の効率化、財源の確保、ITの高度化を進めるとともに、組織体制・ガバナンスの強化を図った。

	事業内容
1	<p>会員サービスの充実</p> <p>ア 会員サービスの充実に向けた取組の検討、実施 ・労働契約におけるトラブル防止セミナーの開催（10/5） 参加者 49人</p> <p>イ 未加入事業所・賛助会員の加入促進</p>
2	連絡協議会、部会、委員会活動の充実
3	<p>理事会・評議員会等の運営</p> <p>理事・評議員の選任・欠員補充、補正予算等に対応するため、定例開催のほか書面により開催し、迅速な意思決定を行った。</p> <p>ア 理事会 7回開催</p> <p>イ 評議員会 5回開催</p> <p>ウ 評議員選定委員会 2回開催</p> <p>エ 監事監査 1回開催</p>
4	<p>経営基盤の強化</p> <p>ア 新たな自主財源の検討・獲得 ・大口定期預金の開始により、通常の定期預金以上の利息収入の確保に努めた。</p> <p>イ 各種基金の運用方法の継続的な見直し ・継続的な情報収集に努めた。</p> <p>ウ 事業の検証及び決算分析の実施 ・決算に基づく財務状況の可視化に努め、理事会・評議員会に報告した。</p> <p>エ 支出削減への積極的取組（契約の見直し、エコジョブ運動） ・コピー機の入替えに際し、利用状況と電子帳簿保存法対応を意識した。また、これまでより安価なカウント料金の設定が可能となった。</p>
5	<p>任意監査の実施</p> <p>ア 決算監査（5/17、18）</p> <p>イ 上半期出納監査（11/13、14）</p> <p>ウ 下半期予算執行監査（2/13、14） ※いずれも、重大な指摘事項なし</p>
6	<p>政策提言の実施</p> <p>(1) 県知事との面談（8/22） 出席者 知事・健康福祉部長他 会長・3副会長 内容 地域福祉に関する提案 *項目を説明</p> <p>(2) 県健康福祉部長との福祉団体との懇談会(9/4) 出席者 県健康福祉部長、部理事、各局長 会長、各県域福祉団体（36団体） 内容 県内各社会福祉団体から、取組・課題を説明</p>

7	<p>県総合社会福祉会館（シズウェル）の管理運営</p> <p>ア 指定管理者として会館管理運営業務を適切に執行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料会議室貸出・接遇研修・普通救命講習・フェスタシズウェル 2023 開催 等 <p>イ 共同事業体として第6次会館指定管理者の指定を受けた。(12/21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：静岡県社会福祉協議会・静岡ビル保善グループ 代表団体 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 ・指定管理期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日
8	<p>静岡県社会福祉協議会災害対策本部の運営</p> <p>ア 会館入居団体職員も含む実働避難を伴う会館防災訓練を実施。(9/5、2/15)</p> <p>イ 県社協災害対策実施計画、各業務班の活動マニュアルの随時見直し</p>
9	<p>広報力の強化</p> <p>ア 福祉情報を届けるべき客体を認識し、広報戦略ビジョン・ガイドラインを策定</p> <p>イ 実用性の高い情報発信の研修実施（12月）</p>

【進捗状況及び成果】

昨年度に引き続き、会員向けセミナーを企画することにより、より良い会員サービス提供に努めた。

また、印刷機の見直しや公用車の入れ替えに伴い、職場環境の改善と支出削減を実現した。

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染法上の扱いが5類に変更されたことに伴い、会館入居団体職員も含む実働避難を伴う会館防災訓練を実施した。

「フェスタシズウェル」は、新型コロナウイルス禍の令和2年度から4年度まで中止していたが、令和5年度は再開した。678人の来館があり、当会館の認知度向上に寄与した。

実施目標 2 「人財」育成を図ります

重点事項 安心して働ける職場づくり

本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるような環境を整備するとともに、計画的な職員の人材育成を図った。

	事業内容
1	<p>働きやすい職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 多様な働き方の推進 イ 職員健康診断、人間ドック等の各種助成 ウ 衛生委員会の開催(3/15)
2	<p>職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 職員の研修体系の構築と階層別研修への参加(新採、中堅、管理職員等) <ul style="list-style-type: none"> ・生涯研修課程の計画的な受講 ・スキルアップ研修制度の運用 <p>本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講してほしい研修を推奨研修として指定し、一人1研修の受講を推奨した。</p> イ 専門研修(テーマ別)への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉協議会会計実務講座の受講(入門・初級) 3名 ウ 職員に対する資格取得奨励研修(希望選考制) エ 外部からの依頼による講師等の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉士大会(大分県) ・県西部市民後見人候補者養成講座 ・災害福祉支援ネットワーク全国会議(東京都) ・DWA T研修会(山形県・東京都ほか) ・全国ボランティアフォーラム(東京都) ・かながわ災害救援ボランティア支援自治体ネットワーク会議 ・DWA T中央センターブロック会議(全国5ブロックで報告) ・聖隷クリストファー大学ゲスト講師 ・三河ブロック生活支援コーディネーター研修(愛知県) ・3者連携体制の構築に向けた研修会(岩手県) ・高知県市町村社協災害研修 ・名東区生涯学習センター災害講座(愛知県) ・成年後見制度利用促進に係わる意見交換会(茨城県) ・地域共創フォーラム(和歌山県) ほか オ 正規職員の組織的な人材育成

【進捗状況及び成果】

各種健康診断や人間ドック等の費用助成等を通じ、職員の健康保持をすることができた。

職員研修については、階層別研修、専門研修(テーマ別)、自発的な資格取得支援を組み合わせる体系的な人材育成を進めるとともに、本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講してほしい研修を推奨研修として指定し、一人1研修の受講を推奨した。

さらに、積極的に職員を講師として派遣することにより、外部団体の人財育成支援だけでなく、職員の説明力の向上と人的ネットワークの充実が図られた。

实施事项

第3 実施計画

基本目標1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します

推進事項1 地域住民が支え合う地域づくりの推進

市町において地域力強化や生活支援体制整備するにあたり、市町間の情報共有の場づくりや人材育成などの市町への支援、及び広域で推進していく必要がある取組を関係機関と協働して推進した。

事業の実績	効果・評価
(1) 地域共生社会づくりのための広報啓発 ア 地域づくり推進委員会の開催（3回） 第1回：6/5、ふじのくに「地域共生」大賞の募集および人材養成事業「地域共生塾」の実施について承認を得た。 第2回：9/11 地域共生塾のカリキュラム検討 第3回：11/27 プレゼン審査の実施 イ ふじのくに「地域共生」大賞の実施 募集開始：7/20 応募締切：9/29 ※34団体から応募 (2) ふじのくに地域共生塾の開催 (10/24、11/20、1/29、2/14 第5回は令和6年 6/3 9名受講)	・多様な分野の連携、あらゆる世代が参画している「地域共生」に資する取り組みを収集し、情報発信することができた。
(2) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制整備の支援 地域福祉推進ブロック会議の開催 (中部 9/19、東部①、②9/28、10/4 西部、10/18 賀茂)	・ブロック内の行政と社協が一堂に会し、地域福祉支援計画及び活動計画の進捗、課題、今後の方向性について議論を深めた。
(3) 生活支援体制整備の構築 ア 生活支援コーディネーター養成研修（7/27 121名参加） イ 生活支援コーディネータースキルアップ研修の実施 (10/26、11/8、11/13 67名参加)	・市町社協の生活支援体制整備事業へ主体的な参画
(4) ふじのくに型福祉サービスの推進 ア 創意工夫により運営する居場所の好事例の周知 イ 実践者派遣事業の実施 7件 ウ 「共生型福祉施設」連絡協議会の実施 2/29 60名参加	・実践者派遣により、「居場所」運営の向上
(5) 子どもの居場所づくりへの支援 ア 子どもの居場所応援基金事業の実施 募集期間：第1期：9/1-9/29 消印有効、第2期：10/1-12/22 消印有効、申請 83件、決定 66件、確定 66件	・子どもの居場所実施団体の安定的な運営確保

推進事項2 地域福祉教育及びボランティア・市民活動の推進

全県的な福祉啓発活動の推進とともに、市町社協と協働して、地域を基盤とした福祉教育を推進します。

また。ボランティア・市民活動を推進するため、中間支援組織との関係づくりとともに、広域の中間支援組織として、新たな担い手や社会資源の確保・マッチング、情報提供、人材育成に対する支援を行った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 地域福祉教育の推進</p> <p>静岡県地域福祉教育推進計画の推進</p> <p>ア 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催（2回） （第1回：9/21、第2回：3/18）</p> <p>イ 地域福祉教育推進セミナーの開催（1回） （2/5 77名参加）</p> <p>ウ 市町社協地域福祉教育担当者会議の実施（1回） （8/24 28名参加）</p> <p>エ 新たな地域福祉教育副読本制作事業（随時） （9/27制作・34,340部配付） （赤い羽根共同募金助成事業）</p> <p>オ 福祉の思い・ココロを育む講師の派遣（随時）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域福祉への関心、地域活動への参加機運の醸成 ・住民の地域活動への参加拡大 ・新たな地域福祉教育副読本を活用し、社協・学校・地域の3者が連携した地域福祉教育を展開した。 ・身近な仲間や家族が困っていることに敏感に気づき、積極的な声掛けなどができる力を身に付ける。
<p>(2) 全県的な福祉啓発の推進</p> <p>ア 暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施 （主に9～10月）県民福祉の日に関する広報啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県民福祉の日」啓発用チラシ、ポスターの作成・配布 ・他団体が実施する行事等への協賛依頼 ・啓発用のぼり旗の設置 ・啓発用グッズの作成 <p>イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する絵画作品の募集(6/20～9/5 71校/401作品) ・最優秀賞、優秀賞等の選定(9/22) ・表彰式(健康福祉大会)(10/23) ・展示会(入選作品の展示) ※東、中、西部各1か所 <p>ウ 福祉カレンダーの作成・配布</p> <p>上記コンクール入賞作品を使用してカレンダーを作成、配布 ※カレンダーには福祉に関する日（県民福祉の日や介護の日等）を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用</p> <p>エ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施</p> <p>オ 静岡県健康福祉大会の開催(10/23 グランシップ会議ホール風) 式典(表彰、大会宣言)、好事例発表</p> <p>カ 各福祉週間等啓発事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童福祉週間(5月) ② 老人週間(9月) ③ 児童虐待防止月間(11月) ④ 障害者週間(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の「県民福祉の日」制定意義の再確認 ・住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成 ・福祉の諸問題に対する社会的関心の喚起、理解の促進 ・多様な機関との連携・協働 <div data-bbox="1129 1317 1455 1541" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1150 1554 1437 1630" data-label="Caption"> <p>令和5年版福祉カレンダー</p> </div> <div data-bbox="1168 1653 1417 1989" data-label="Image"> </div>

<p>(3) ボランティア・市民活動の推進</p> <p>ア 地域づくり推進委員会の開催（2回）【再掲】</p> <p>イ 市町社協ボランティア担当者会議の実施（1回） （3/25 ZOOM 開催、25 名参加）</p> <p>ウ 市町社協ボランティアセンター在り方検討委員会の実施 （2回）※新規事業 （第1回：12/21 第2回：3/11）</p> <p>エ 地域アセスメント等のスキルアップの向上</p>	<p>・県内ボランティアコーディネーター、ボランティア団体等の資質向上</p> <p>・県ボランティアセンターとして、市町社協のボランティアセンターの支援体制等について在り方の検討を協議する。</p>
<p>(4) ふれあい基金による活動支援の実施</p> <p>ア ふれあい基金運営委員会の開催 第1回開催：6/13 シズウエル 401 会議室 下記助成先決定の承認を受けた。 第2回開催：3/5 シズウエル 104 会議室 令和5年度の実績見込みの報告と令和6年度の予定を報告、承認を受けた。</p> <p>イ 県ボランティア協会への助成</p> <p>① ボランティア研究集会事業</p> <p>② 市民活動推進事業</p> <p>③ 「ケアする人のケア」事業</p> <p>④ TOMOSHIBI ツアー事業</p> <p>ウ 助成事業</p> <p>① 地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業</p> <p>② セルフヘルプグループ活動支援事業</p> <p>③ しずおかの居場所助成事業</p> <p>④ 広域的な防災推進助成事業</p> <p>募集開始：市町社協、NPO 等への周知（令和5年4月～）県内70 団体から申込</p> <p>助成先の審議：第1回ふれあい基金運営委員会にて34 団体の助成先を決定、内32 団体の助成を確定した。</p> <p>活動推進助成（17 団体：先駆的助成0 団体）、セルフヘルプグループ活動支援助成（3 団体、内2 団体助成辞退）、しずおかの居場所助成事業（11 団体）、広域的な防災推進助成事業（3 団体）</p> <p>助成確定総額 4,626 千円</p> <p>⑤ ふじのくに「地域共生」大賞</p> <p>エ 県社会福祉協議会実施事業</p> <p>① 災害ボランティア本部体制整備事業</p> <p>② 福祉文化作品展奨励事業</p>	<p>・在宅福祉・ボランティア活動等民間社会福祉団体が行う地域福祉活動の充実と発展</p>

<p>(5) ABCしあわせ基金車両贈呈事業の実施 (11/28) 申込 75 団体について「ABC しあわせ基金運営委員会」(5/12) で審議し、東部・中部・西部から 3 団体を決定、車両贈呈式 (11/28)</p>	 <p style="text-align: center;">ABC しあわせ基金車両贈呈式</p>
<p>(6) 教員免許取得に係る介護等体験事業の実施 ア 介護等体験実施連絡協議会開催への働きかけ イ 介護等体験の実施 (文部科学省の代替措置特例が延長となり、大学へ連絡調整を行った。)</p>	<p>・実施方法の変更等について情報提供し、教員免許取得のための支援ができた。</p>

実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

推進事項 1 包括的支援体制の構築に向けた相談支援事業の実施支援

多様化・複合化した生活課題を抱える人や家族に対し、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関との調整を行う体制を構築できるよう、アドバイザーの派遣や地域別の研究会を行い、市町の包括的相談支援体制の構築を支援している。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 多機関協働による包括的支援体制構築事業の実施推進 ア 市町へのアドバイザー派遣 (8 市町、計 13 回) イ 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (5/11) ウ 包括的相談支援構築市町会議の開催 (7/11) エ 包括的相談支援体制構築事業 人材養成研修 (前期 8/1~8/31 YouTube 配信、後期集合研修 10/31, 11/28, 12/5)</p>	<p>・住民からの相談について分野を超えて総合的に応じ、関係機関を行う体制づくりを市町が早期に構築できる。</p>
<p>(2) ひきこもり支援強化事業の推進 ひきこもり相談体制の整備に取り組み市町としてアドバイザーを派遣する。 ア 市町ひきこもり相談体制整備支援 (15 自治体 24 回派遣) イ 静岡県ひきこもり支援体制構築のための市町会議の実施 (6/1 受講数 課長会議 51 名、担当者会議 94 名)</p> 	<p>・市町会議にてアドバイザー派遣利用を促したことで、令和 4 年度と比較し、事業未利用 5 自治体申請があった。 アドバイザー派遣を実施することで講義、連携体制づくり、事例検討をとおして、地域に求められる資源や意識のあり方を各自治体が考える機会となっている。</p>

<p>(3) 市町社協における総合相談体制の構築</p> <p>ア 相談事業部会の開催（1回 12/1）</p> <p>イ 相談事業担当者研修会の開催（2回）</p> <p>4/14 初任者研修（講師：土屋幸己氏）</p> <p>6/7 中堅職員研修（講師：古井慶治氏）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談業務研修を階層別に実施し、機能強化に寄与した。（詳細 主要事業参照） 																
<p>(4) 生活困窮者自立支援事業の実施支援</p> <p>ア ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム 県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託 （自立相談支援事業、家計再建支援事業、一時生活支援事業）</p> <p>① 各町社協による相談受付及びプラン作成並びにプランに基づいた支援の実施（適宜）</p> <p>② 定期的な支援調整会議の開催（1回/1月～3月） 法テラスとの連携、タブレットを活用した通訳アプリの導入</p> <p>③ 運営委員会の開催（2/5）</p> <p>④ ブロック会議の開催（中部 4/24、東部 4/25、賀茂 4/28）</p> <p>イ 生活困窮者自立支援制度従事者養成研修の実施 （4/21, 5/19, 6/9, 7/28, 8/22, 9/14, 2/7 7回）</p> <p>ウ 主任相談支援員連絡会の実施（5/24, 9/11, 1/27, 3/9）</p> <p>エ ふじのくに生活困窮者自立支援基金事業の実施 実績：17 件（就労支度金 15 件、ひとり親世帯支援 1 件、就労活動応援金 1 件） 対象：コンソーシアム構成団体 12 町</p>  <p>（生活困窮者自立支援制度従事者養成研修）</p> <p>※事業計画書に記載の「ヤングケアラー支援研修事業」は受託しなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成団体の強みを活かした個別支援を通じて地域づくりに取り組んだ。 ・支援調整会議では、内容に添った法テラスや社会保険労務士等専門的なアドバイスを受けることのできるよう多機関連携を意識した体制を整えた。 ・入職者や異動者が早期に研修参加できる時期の開催・単位制度や繰越制度を導入し、学習機会の柔軟化、対面研修を増やし、情報交換の場を意図的に設定した。 																
<p>(5) 官民連携による要配慮者支援の充実業務の実施</p> <p>ア アドバイザーの配置（静岡県立大学 国際関係学部 教授 津富 宏 氏）</p> <p>イ 官民連携プラットフォームの参加団体の募集</p> <p>＜プラットフォーム登録状況＞</p> <table border="1" data-bbox="252 1789 1045 2013"> <tr> <td>行政</td> <td>10</td> <td>企業</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>社会福祉協議会</td> <td>32</td> <td>民生委員・児童委員</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>NPO 法人</td> <td>25</td> <td>その他</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人</td> <td>22</td> <td>合計</td> <td>123</td> </tr> </table> <p>（令和 6 年 3 月 22 日現在）</p>	行政	10	企業	8	社会福祉協議会	32	民生委員・児童委員	7	NPO 法人	25	その他	19	社会福祉法人	22	合計	123	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独・孤立がもたらす影響や対策・予防に取り組む先進事例を取り上げ、孤独・孤立という社会問題の周知啓発を行った。 ・各地域で孤独・孤立の対策や予防に取り組む関係機関同士の連携強化や、ネットワーク構築の契機となった。
行政	10	企業	8														
社会福祉協議会	32	民生委員・児童委員	7														
NPO 法人	25	その他	19														
社会福祉法人	22	合計	123														

<p>ウ ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム設立記念シンポジウムの開催</p> <p>日時：令和5年11月20日（月）13:30～16:00</p> <p>会場：クーポール会館8-A会議室（静岡市葵区紺屋町）及びWEB配信</p> <p>基調講演：政府の孤独孤立対策とNPO等民間セクターの役割</p> <p>講師：内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与 大西 連 氏</p> <p>パネルディスカッション：「孤独・孤立を予防する地域づくりに向けて」～NPO・自治体による実践の成果と課題～</p> <p>コーディネーター：静岡県立大学 教授 津富 宏 氏</p> <p>コメンテーター：内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与</p> <p>パネリスト：神奈川県座間市役所孤独孤立対策担当 特定非営利活動法人あかね</p> <p>参加者：会場64名、WEB104名</p> <p>エ 地域の現場課題ワークショップの企画・運営（3会場）</p> <p>※市町社協地域福祉担当者会議と共催</p> <p>東部会場：令和6年1月19日（水）</p> <p>中部会場：令和6年1月12日（金）</p> <p>西部会場：令和6年1月9日（火）</p>	
<p>(6)生活福祉資金貸付事業の実施</p> <p>① 生活福祉資金貸付事業の実施</p> <p>ア 総合支援資金（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）</p> <p>イ 福祉資金（福祉費、緊急小口資金）</p> <p>ウ 教育支援資金（教育支援費、就学支度費）</p> <p>エ 不動産担保型生活資金 （不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金）</p> <p>② 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 （住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受け るまでの生活費の貸付）</p> <p><貸付実績（R5年度）></p> <p>ア 総合支援資金（生活支援費） 1件 255千円</p> <p>イ 福祉資金 27件 5,594千円 緊急小口資金 121件 10,646千円</p> <p>ウ 教育支援資金 104件 31,539千円</p> <p>エ 不動産担保型 1件 25,767千円 要保護不動産担保型 1件 7,000千円</p> <p>オ 臨時特例つなぎ資金 0件 0円</p> <p>③ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（3/5）</p> <p>④ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会、不動産担保型生活資金審査委員会の開催（10/27、1/18）</p> <p>⑤ 市町社協新任担当職員研修会の開催（5/30）</p> <p>⑥ 市町社協担当者会議の開催（5/30）</p> <p>⑦ 生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会の開催（中止）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進 ・在宅福祉及び社会参加の促進 ・住居を失った離職者の一時的な生計維持 ・福祉事務所やハローワーク等関係機関・団体との連携強化 ・借受世帯の自立促進、不良債権の発生防止 ・貸付原資の有効活用 ・事業実施体制の強化

<p>⑧ 利用促進のための広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金業務ハンドブックの更新 ・法人の HP 上で生活福祉資金貸付制度の周知 <p>⑨ 債権管理・償還相談の実施</p> <p>ア 滞納者等含めた借受者に対する残額のお知らせの送付 本則 2 回(9 月・3 月)、特例 2 回(10 月・3 月)</p> <p>イ 滞納者への訪問調査の実施(随時)</p> <p>ウ 所在不明者の調査(住民票調査)の実施(随時) 5,595 件</p> <p>エ 滞納債権整理推進等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者への督促状送付 特例(8 月) 7,468 件 ・滞納者への償還・生活相談の実施(随時) ・民事訴訟・調停、支払督促等の実施(随時) <p>民事訴訟 0 件、支払督促 18 件</p>	
<p>(7) 児童や障がい者等の自立支援</p> <p>ア 神谷基金障がい者自立支援事業の実施 障害者福祉施設への助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考委員会の開催(9/6) ・申請 14 件 決定 13 件 助成先 13 件 助成額 1,840 千円 <p>(特非)ポトラッチ (福)富士市社会福祉協議会 ひめな (福)ステップ・ワン (福)覆育会 すぎのこ作業所 (医)灯信会 ZAQT (一社)富士障がい者支援ネットワーク 夢の杜 (福)愛誠会 アトリエ・ポルト (特非)障害者活動支援団体げんきむら げんきむらプリント工房 (福)農協共済中伊豆リハビリテーションセンター あゆみ (福)ふじのやま 富士市立くすの木学園 (特非)縁 みんなのわが家 (福)こころ らしく (医)好生会 はまかぜ</p> <p>イ 県里親連合会の事務受託</p>  <p>令和 5 年度 里親研修会 講師 川瀬信一氏(一般社団法人子どもの声からはじめよう代表) 『子どもの「ために」から、子どもと「ともに」 ～心の声を聴く子どもアドボカシー』(令和 5 年 7 月 1 日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域生活移行や就労、社会参加等を促進することができた。 ・就労継続支援 B 型事業所が行う事業の充実強化に寄与した。 ・里親制度の普及発展や、里親の資質向上、会員相互の親睦を図った。

ウ 県肢体不自由児協会の事務受託



令和5年度「肢体不自由児療育指導者講習会」

【第1回】令和5年6月23日24日

【第2回】令和5年7月28日29日

【第3回】令和5年8月25日26日

【第4回】令和5年9月22日23日 参加者46名（延べ138名）

エ 【静岡県共同募金会 課題解決プロジェクト募金助成事業】児童養護施設等退所者への就学等支援事業（「夢みらい応援資金」交付事業）の実施

- ・児童養護施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、自立援助ホームへの入所措置及び里親またはファミリーホームへの委託を解除、または措置延長しながら、大学等に在籍している学生に対して給付金を支給した。

措置解除者 10万円×7人 =700,000円

措置延長者 3万円×12人 =360,000円

- ・児童養護施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、自立援助ホーム、里親及びファミリーホームへ入所し、かつ中学校及び高等学校に在籍している学生に対して図書カードを交付した。

中学生1万円×183人=1,830,000

高校生1万円×138人=1,380,000

- ・肢体不自由児に対する理解促進

- (1) 絵画・写真展
- (2) 療育読本作成
- (3) 療育指導者講習
- (4) 療育相談
- (5) 手足の不自由な子どもを育てる運動

- ・制度の狭間となっている学生へ関係機関と連携のもと、学生の生活や学業の継続を支援した。

(8) 民生委員・児童委員活動の支援

ア 相談技法に関する研修会の開催(中部・西部8/7、東部8/8)

イ 法定地区民児協会長研修会の開催(9/11)

ウ 主任児童委員研修会の開催(中・西部1/25、東部1/26)

エ 全国大会等参加経費助成事業の実施

オ 市町法定地区民生委員児童委員協議会への訪問指導活動

(御殿場市民児協総会 4/18、伊豆の国市民協全体研修会 4/19、東伊豆町民児協定例会 9/7、三島市民児協全体研修 9/26、東部地区役員研修会 1/29、藤枝市民児協専門部会 2/22 小山町民児協定例会研修会 2/28)

カ 県民生委員児童委員協議会の事務受託

- ・民生委員・児童委員の資質向上
- ・住民の地域活動の活性化
- ・民生委員児童委員活動の負担感の軽減

推進事項2 意思決定支援を主体とした権利擁護の推進

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して行っている。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 日常生活自立支援事業の実施</p> <p>ア 事業利用の可否決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局内審査会の開催（毎月） ・契約締結審査会の開催（4/13、5/18、11/9、12/14、1/18、3/14） <p>イ 事業利用者への支援</p> <p>市町社協による定期・臨時支援の実施（随時）</p> <p>ウ 支援者の育成支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員研修 新任研修（5/29）参加者 33名 対象 33 市町社協専門員 内容 日常生活自立支援事業の概要説明 相談受付から審査依頼までの流れ 講師：生活支援部権利擁護課職員 ・専門員連絡会（年3回） <p>【第1回】</p> <p>(1)実施日（6/14） (2)参加者 40名（+後日録画配信） (3)内 容 適正な利用料の設定について 説明者：生活支援部権利擁護課職員 事例報告：下田市社会福祉協議会専門員 戸崎 孝之氏 沼津市社会福祉協議会専門員 長島 敬介氏 磐田市社会福祉協議会専門員 小栗 伸介氏</p> <p>【第2回】</p> <p>(1)実施日（12/7） (2)参加者 31名（+後日録画配信） (3)内 容 KAERU biz 権利擁護を利用したキャッシュレス支援について 講師：KAERU 株式会社 中島 尚子氏 事例報告：熱海市社会福祉協議会専門員 中村 直哉氏 菊川市社会福祉協議会専門員 堀川 直樹氏</p> <p>【第3回】</p> <p>(1)実施日（1/24） (2)参加者 41名 (3)内 容</p> <p>①説明「近年の日常生活自立支援事業の動向」 説明者：生活支援部権利擁護課員</p> <p>②事例報告「モニタリングや再アセスメントの取組」 報告者：富士宮市社会福祉協議会専門員 井坂 美帆子氏 島田市社会福祉協議会専門員 八木 優花氏 藤枝市社会福祉協議会専門員 石田 理矢氏</p> <p>③意見交換「日常生活自立支援事業の範囲を超える業務」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力の不十分な方が自身の意思に基づく地域での暮らしを実現させるための支援を推進するとともに権利侵害や財産侵害の未然防止などに寄与している。 ・利用者が安心してサービスを受けられるように支援者の専門性の向上及び支援者間のネットワークの構築を図っている。 ・書類整備体制、決裁状況の項目は94%が問題なし。利用者の39%が専門員対応であり困難事例を抱えていることが明確となった。 ・訪問調査における協議が、各市町が抱えている課題の把握につながっている。

・生活支援員研修

【新任研修】

(1)実施日 (9/8 撮影) 10月録画DVD 郵送

(2)対象者 57名

(3)内 容

①報 告「日常生活自立支援事業の概要」

報告者：生活支援部権利擁護課職員

②「先輩生活支援員の生きた声をきこう」～支援のコツとは？

報告者：島田市社会福祉協議会 専門員 八木 優花氏
生活支援員 大河原 厚子氏

【現任研修】

(1)実施日 (東部 10/26、中西部 12/18)

(2)参加者 東部 70名、中西部 80名

(3)内 容

①報 告「日常生活自立支援事業の動向等について」

報告者：生活支援部権利擁護課職員

②「明日から実践したいコミュニケーションと記録の技術」

講師：野田 由佳里氏

(聖隷クリストファー大学社会福祉学部 教授)

エ 県内共通の項目で市町社協による事業体制に係る自己点検の実施

4月末までに33市町社協すべて実施(全53問)

市町社協事務局長会議で概要を説明

オ 市町社協の運営状況の確認・本事業からの成年後見制度の移行促進・困難事例協議のための訪問調査の実施

藤枝市社協(7/24)、伊東市社協(8/24)

伊豆の国市社協(8/28)、富士宮市社協(9/20)

三島市社協(9/27)、熱海市社協(10/6)、焼津市社協(10/18)

掛川市社協(11/6)、函南町社協(11/16)、菊川市社協(11/22)

カ 業務の適正化・効率化を図るための業務システム改修の実施(適宜)

<p>(2) 成年後見制度利用促進の実施</p> <p>ア 中核機関設置・運営等支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度実施機関運営力強化研修（基礎・応用） ・成年後見制度市町申立に係る実務研修 基礎編：6/6 当日視聴 78 人、後日視聴 92 回 実務編：6/22 当日視聴 74 人、後日視聴 140 回 ・後見員等への意思決定支援研修（3回） カリキュラム研修 5/8 当日：65 名 後日視聴：44 回 意思決定支援研修 （基礎）6/29 当日：127 名 後日視聴：230 回 （実務）10/19 当日：56 名 後日視聴：179 回 ・市町体制整備相談支援事業 ⇒県社協職員による相談・アドバイザー対応 ・中核機関総合相談支援事業 ⇒後見人等への意思決定支援研修 ⇒専門職等による総合的な相談支援 <p>イ 成年後見制度利用促進協議会の開催（東部①9/4、東部②9/22、賀茂 9/6、中部 9/15、西部 9/27）</p> <p>ウ 福祉関係者等を対象とする理解促進研修 基礎編：10/5 当日：143 名 後日視聴：222 回 実務編：12/14 当日：45 名 出前講座：6/19, 8/10, 1/16, 1/23, 2/6, 2/16</p> <p>エ 成年後見制度理解促進出前講座（6回）</p> <p>オ 持続可能な権利擁護支援モデル事業 企画運営委員会(10/3)</p> <p>カ 法人後見・市民後見実施社協担当者会議の開催（8/1）</p> <p>キ 業務の適正化・効率化を図るための業務システム改修の実施（適宜）</p> <p>ク 身寄りのない方を地域で受けとめるための勉強会 10/11 当日 52 名、後日視聴：85 回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の中核機関設置・運営を支援した。 ・市民後見人育成の基盤となる社協の法人後見等の取り組みを支援した。 ・制度を必要とする人が適切に制度に繋がる体制構築に寄与した。 ・市町社協の適切な事業運営を支援した。  <p>（出前講座）</p> <p>制度の狭間にある課題を地域全体で検討する機会として実施した。</p>
<p>(3) 福祉サービス運営適正化委員会事業の実施</p> <p>ア 運営適正化委員会（全体会）の開催（5/19） 事業報告、事業計画の承認、情報共有等</p> <p>イ 運営監視合議体の開催 第1回 5/19、第2回 8/25 第3回 12/7、第4回 3/11</p> <p>ウ 市町社協等福祉サービス利用援助事業実施状況調査 基幹社協（政令市2）、県社協委託市町社協 11</p> <p>エ 苦情解決合議体の開催 第1回 5/19、第2回 8/25、第3回 10/16、 第4回 12/7、第5回 3/11</p> <p>オ 苦情相談等への対応（調査、あっせん、通知等） 苦情解決申出及び相談等件数（前年比+15）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市町社協等に対する運営監視業務により、福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保に寄与した。 ・苦情解決申出を受付け、これに対して、助言、話し合いの推奨による解決の支援を行うとともに、必要に応じて事情調査、改善の申入れや行政への通知等を行い、福祉サービスの改善と利用者の権利擁護に寄与した。

<p>苦情解決申出 120 件(+23)、相談等 27 件(△8)</p> <p>カ 事業所における苦情解決の巡回支援(通年 1 回)</p> <p>キ 福祉サービス苦情解決研修会の開催 テーマ 「苦情解決能力の向上を目指してⅡ(応用編) (中部)11/6、(東部)11/7、(西部)12/1 参加者合計 114 人</p> <p>ク 静岡県老人福祉施設協議会における情報共有と意見交換 3/8 理事 35 名参加、研修講師として事務局長参加</p> <p>ケ 関東ブロック委員長等連絡会 10/25 委員長、事務局長参加</p> <p>コ 運営適正化委員会相談員研修会 10/30 事務局長参加</p> <p>サ 運営適正化委員会事業研究協議会参加 10/30～31 事務局長参加</p> <p>シ 啓発活動の実施(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設等へ掲示、利用者への配布等 配布:ポスター685 枚、リーフレット等 818 枚 印刷:ポスター 1,000 枚 ・運営監視の課題、苦情相談事例等を加えた委員会の「令和 4 年度静岡県福祉サービス運営適正化委員会業務の状況及び成果に関する報告」の冊子を作成・配布し広報した。 ・「福祉サービス事業者のための苦情解決ハンドブック」を作成し配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情相談件数は、コロナ感染の令和 2 年度以降 2 倍に増加、苦情区分全般で件数が増加した。種別では、有料老人ホーム等の高齢者分野の苦情相談が増加した半面、コロナ対策の生活福祉資金特例貸付の相談はなくなった。 ・苦情解決研修会及び啓発活動を通じ、事業者の苦情解決の体制づくりを支援すること等により福祉サービスの質向上に寄与した。 ・苦情解決研修会では、回答者のうち「満足 93.2%、やや満足 13.3%」の結果を得た。
---	---

実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

推進事項 1 市町社協相互の連絡調整及び基盤強化

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び個別訪問支援等を行います。

また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化に努めた。

事業の実績	効果・評価
(1) 市町社協連絡協議会及び部会の開催 ア 幹事会の開催 (6/19) イ 介護保険部会幹事会 (11/6)、全体会 (2/2) の開催 ウ 広報啓発部会 (10/2)、全体会 (10/12 23 名参加) の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社協の基盤強化に寄与するとともに、経営課題の把握と市町社協が求める支援事業の企画立案につながった。
(2) 市町社協の基盤強化と活動支援 ア 地域福祉推進ブロック会議の開催【再掲】 ((中部 9/19、東部①、②9/28、10/4 西部、10/18 賀茂)) イ みんなで支える地域福祉促進事業 市町社協における小地域福祉活動に係る担い手づくりへの助成(9 市町:菊川市、裾野市、富士宮市、函南町、藤枝市、長泉町、御殿場市、伊豆の国市、伊豆市) ウ 市町社協経営基盤強化検討委員会の開催 (2/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画の取組状況について意見交換を行い、市町間の進捗を共有した。

<p>(3) 調査研究、政策提言の実施</p> <p>ア 知事への「地域福祉の推進に向けて」提出 (8/22)</p> <p>イ 市町社協活動実態調査の実施 (4/1 時点) 10 月印刷製本(240 部)、11 月上旬配布</p> <p>ウ 市町社協役員便覧の作成 (200 部、4 月)</p>	 <p>県知事との意見交換(8/22)</p>
<p>(4) 会計処理の適正化とコンプライアンスの徹底</p> <p>ア) 市町社協緊急事務局長会議の開催 (6/19)</p> <p>イ) 事務局長の出納業務・事務受託団体の出納業務に係るチェックリストの一斉実施</p>	<p>・不祥事再発防止に向けたコンプライアンス徹底を強化した。</p>

推進事項 2 人材確保と専門性向上の推進

地域福祉の担い手となる市町社協役員職員の人材確保と専門性向上を目的とした体系的な研修を実施している。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 階層別、分野別研修及び会議の実施</p> <p>ア 監事研修会の開催 4/14～6月上旬 動画配信</p> <p>イ 新任職員研修の開催(5/18～5/19 56名参加)</p> <p>ウ 事務局長会議の開催 (5/26 31名参加)</p> <p>エ 社協の採用力向上研修 (6/15 9名参加)【新規事業】※人材課と共催</p> <p>オ 市町社協中間管理職(ミドルマネジメント)研修会の開催 (7/28 22名参加)※人材課と共催</p> <p>カ 地域福祉担当者会議の開催 東部：1/19、中部：1/12、西部：1/9</p> <p>キ 市町社協会長会議の開催 (2/20 69名参加)</p> <p>ク 市町社協会計実務研修会の開催 7月末～11/30 動画配信</p> <p>ケ 市町社協決算実務研修会の開催 3/1～6/28 動画配信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会職員の基本理解とともに、果たすべき役割や、求められる接遇やファシリテーション技術について学ぶ ・適切な組織運営及び事業推進のために職員のスキルアップ ・役員は経営者として組織を牽引するための共通認識が醸成
<p>(2) コミュニティワーク研修、コミュニティソーシャルワーク研修会の実施</p> <p>ア コミュニティワーク実践者研修の実施(地域アセスメント力等の向上)</p> <p>地域アセスメント研修初級編(熱海市) 12/4 23名参加 中級編(藤枝市) 12/22 10名参加</p> <p>地域福祉活動計画編 1/23 21名参加</p> <p>ネゴシエーション編 2/26 19名参加</p> <p>イ コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修の開催 前期日程 7/14～15 後期日程 2/16～17 26名参加</p> <p>ウ コミュニティソーシャルワーク研修受講者継続研修の実施 8/21 21名参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域福祉活動の活性化 ・新たな援助技法習得者と実践成果の増加 ・地区単位におけるコミュニティソーシャルワーク実践者のネットワーク構築

<p>(3) 第 59 回関東ブロック社協職員合同研究協議会の開催 (7/6~7/7) (7/6~7/7 332 名参加)</p>	<p>1 都 10 県の関東ブロック社協職員が各分科会に分かれて協議を行い、先駆的な取り組み事例を学ぶことで、今後の事業遂行に活かしていく</p>
<p>(4) 市町社協人事交流及び社会福祉法人と連携した福祉人材確保の取組 ア 北駿圏域 3 市町社協役員による意見交換会の開催 (9/13)</p>	 <p>北駿圏域 3 市町社協役員意見交換会</p>

推進事項 3 社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進

市町社会福祉協議会が核となるネットワーク化の促進により、法人間連携による地域における公的な取組の推進と福祉人材確保の取組を支援している。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 市町域のネットワーク構築支援 ア 社会福祉法人等ネットワーク化協働推進事業の実施 実施市町：島田市、袋井市、西伊豆町、清水町（新規） イ 法人間連携に取り組む福祉施設の BCP 策定アドバイザー派遣事業の実施（通年）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏域の同じ 2 町合同によるネットワークが設置 ・法人間連携による要配慮者支援、災害時の施設間相互支援体制の構築に寄与

基本目標2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標1 社会福祉事業者等を支援します

推進事項1 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人が良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 社会福祉法人経営者協議会の事務局運営</p> <p>ア 社会福祉法人経営者協議会の事務受託 （正副会長会議、理事会、総会の開催、経営セミナーの実施、委員会の開催等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事監査 5月9日（火） ・第1回理事会 5月18日（木）（ブuket-カイ 24階会議室） ・第2回理事会 3月18日（月）（ホテルグランヒルズ 静岡 3階プラタナス） ・総会及び講演会 7月6日（木）（静岡商工会議所 5階ホール） <p>参加者：59 法人 69 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営セミナーの実施（前期 8/8 参加者 49 法人 52 名、後期 3/8 参加者 52 法人 58 名） <p>イ 県社協事業との連携強化 （地域における公益的な取組、外国人介護、人材の確保、定着） 介護人材マッチング事業（モデル地区：浜松市、長泉町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、住民向けチラシの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員法人の課題把握及び経営全般にわたる質の向上を図った。
<p>(2) 福祉施設経営指導事業による専門相談の実施</p> <p>ア 経営相談の実施（会計 219、法律 3、施設サービス 0、労務 37）</p> <p>イ 福祉施設経営指導連絡協議会の開催（年 1 回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の経営全般にわたる質の向上につながった。 ・客観的視点からの事業所経営及び安定化につながった。
<p>(3) 経理、労務、施設運営等に関する WEB 研修の開催</p> <p>ア 社会福祉法人監事監査研修会の開催（4 月 269 施設）</p> <p>イ 社会福祉法人簿記入門講座の開催（6 月 82 施設）</p> <p>ウ 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座の開催（7 月 85 施設）</p> <p>エ 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座の開催（8 月 117 施設）</p> <p>オ 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催（9 月 86 施設）</p> <p>カ 社会福祉法人予算管理基礎講座の開催（9 月 100 施設）</p> <p>キ 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座（10 月 91 施設）</p> <p>ク 社会福祉施設運営管理研修会の開催（12 月 71 施設）</p> <p>ケ 社会福祉法人・施設職員税務実務講座の開催（11 月 77 施設）</p> <p>コ 社会福祉法人財務管理講座の開催（12 月 100 施設）</p> <p>サ 社会福祉法人決算実務講座の開催（2 月 153 施設）</p> <p>シ 新設社会福祉法人等運営管理説明会の開催（中止）</p> <p>ス 施設借入金元金・利子助成事業の実施 元金助成 128 件、365,336,126 円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供のための、社会福祉法人制度改革も踏まえた、適正な運営管理につながった。 ・日常の経理処理における疑問点が解決できた。 ・新設社会福祉法人等運営管理説明会は、対象施設が無かったため中止とした。 ・法人財政の安定につながった。

<p>利子助成 127 件、 15,990,923 円</p> <p>セ 社会福祉振興資金貸付事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営資金 ・施設設備資金 ・特別整備貸付資金 <p>貸付中の法人が令和4年度に一括償還を行ったため、現在貸付中の法人はなし。また、新規貸付の申込みもなし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から新たに3施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。
<p>(4) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定件数 84 件 ・助成額 14,997 千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度別助成項目の検討 ・財源状況、基金管理状況の把握
<p>(5) 福祉サービス第三者評価事業及び社会的養護関係施設第三者評価事業の実施</p> <p>ア 福祉サービス第三者評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受審数：7 法人 8 施設 <p>イ 評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回評価委員会（7月14日） ・第2回評価委員会（11月15日） ・第3回評価委員会（2月2日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス第三者評価事業を実施し、受審課程における、職員の自覚と改善意欲の醸成及び課題の共有化を図ることに寄与した。 ・サービスの質等における課題を明らかにし、利用者・家族、地域からの信頼獲得や、求職者へのアピールにつながった。
<p>(6) 感染症発生施設への応援体制構築事業の実施</p> <p>ア 研修用動画配信</p> <p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染やクラスター発生時の対応の研修を実施した。（配信期間：2/8～3/15）</p> <p>組織基本編（75分）（公益社団法人静岡県看護協会教育研修部 感染管理認定看護師・認定看護管理者 松井 泰子 氏）</p> <p>個人対応編（50分）（公益社団法人静岡県看護協会教育研修部 認定看護管理者 濱田 真由美 氏）</p> <p>イ 派遣調整団体との連携促進検討会</p> <p>6月1日（木）（ZOOM会議）※静岡県、県老人保健施設協議会、県老人福祉施設協議会、県知的障害者福祉協会とクラスター発生時の対応について検討した。</p> <p>ウ 応援職員派遣時のコーディネート業務</p> <p>実績なし</p>	<p>クラスター（感染者集団）が発生した際の対応について関係者への周知、啓発を実施し、感染症に係る基本的な知識の習得や技術の向上に寄与した。</p>

推進事項2 地域における公益的な取組の推進

複数の社会福祉法人が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図るため、社会福祉法人や他法人(医療法人及びNPO法人等)の連携の中核として、特に広域及び市町域の連携を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 県域、広域、市町域における複数法人間連携の推進</p> <p>ア 地域における公益的な取組等推進部会の開催(地域における公益的な取組、災害支援体制の構築、人材確保・育成・定着など) (5/11、7/11、2/19)</p> <p>イ 実践事例集の発行、ホームページ、広報紙等による実践事例集の作成と情報発信</p>  <p>地域における公益的な取組等推進部会</p> <p>ウ 実践報告会の開催 10月16日(月)(あざれあ501会議室)参加者:60名</p>	<p>・複数の社会福祉法人が連携・協働して、地域の多様なニーズを把握し、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図った。</p> <p>・制度の狭間にある課題を社会福祉法人が連携し取組む方策について協議した。</p>  <p>地域における公益的な取組実践事例集の発行</p> <p>・先進事例(実践)を共有することで、施設法人と市町社協の連携強化を図った。</p>
<p>(2) 法人単位における取組の強化</p> <p>ア 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信</p>	<p>・法人単位の取組の実践事例から地域の実情に合わせた地域における公益的な取組を見出し、地域福祉の向上を図った。</p>

推進事項3 社会福祉関係団体への支援

福祉関係団体が、民間性を発揮した活動を展開できるよう支援するとともに、各団体の課題や情報を共有し、お互いの強みや特性を活かし合うことができるよう、広域的な観点から「協働の場づくり」を推進している。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 社会福祉団体等の連携強化</p> <p>ア 社会福祉団体連絡協議会の開催</p> <p>イ 県障害者社会参加推進協議会への参画</p>	<p>・社会全体で取り組んでいくべき重要な課題に対し、解決に向けて協働できる関係性の構築</p>
<p>(2) 社会福祉団体への財政支援</p> <p>ア 県民間社会福祉団体運営費の助成</p> <p>イ 県民間社会福祉活動促進事業費の助成</p>	<p>・各団体の運営・活動基盤を充実・強化することにより、地域福祉の向上を図る。</p>
<p>(3) ソーシャルアクションの実施</p> <p>ア 社会福祉に関する県への要望</p> <p>イ 児童虐待防止静岡の集いへの参画</p> <p>ウ 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画</p>	

実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

推進事項1 福祉サービスの担い手の確保と定着に向けた支援

社会福祉人材センター及び保育士・保育所支援センターの更なる周知を行い、求職者の確保と個別支援の強化を図った。

また、施設・事業所や行政、養成校等の関係機関と連携強化を図り、壮年世代や外国人などを含めた多様な人材確保や就労環境改善に向けた方策の検討及び実践等の取り組みをとおして、福祉業界が一丸となり、福祉人材の確保に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価								
<p>1 社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） （目標就職者数 全県 1,000 人）</p> <p>ア 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等 求人・求職登録・就職状況（3月末現在） 新規求人登録数 11,975 人 新規求職登録数 3,705 人 就職者数 453 人(浜松バンク含む全県 598 人)</p> <p>イ 無期雇用者の離職状況の確認 （令和4年度就業者） 福祉サービス事業所と期間の定めのない労働契約を締結した者が、就職した日から6か月以内に解雇以外の理由で離職したか否かについて確認した。</p> <table border="1" data-bbox="256 1133 994 1317"> <tr> <td>就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数</td> <td>63 人</td> </tr> <tr> <td>在職中</td> <td>231 人</td> </tr> <tr> <td>期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>解雇により離職した者の数</td> <td>0 人</td> </tr> </table> <p>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催 社会福祉人材センターの運営を円滑、効果的に実施するために開催 日時 令和5年7月18日（火）13：30～15：30 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウェル</p> <p>(3) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施 求職者のニーズに適した職場開拓や従事者が働きやすい職場環境作りのための事業者支援などを行った。</p> <p>ア キャリア支援専門員の設置 5人 ハローワークや他機関の就職フェア等での出張相談、施設・事業所訪問、求職者・求人者への個別支援等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設訪問： 223 か所 ・マッチング就職者数：273 件 ・マッチング支援者数：653 件 	就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数	63 人	在職中	231 人	期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	17 人	解雇により離職した者の数	0 人	<p>・時代の要請に対応できる社会福祉人材センターの運営とより良い福祉・介護人材の確保と定着を促進した。</p> <p>・就職氷河期世代、シニア世代、UIJ ターン希望者を含めた求人、求職者を開拓した。</p> <p>・求人者や求職者への個別支援による人材確保を促進し、ミスマッチの解消を促進した。</p>
就職から6か月以内に、解雇以外の理由で離職した者の数	63 人								
在職中	231 人								
期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	17 人								
解雇により離職した者の数	0 人								

<ハローワーク出張相談会>

(3月末現在)

開催場所	開催回数	求人相談(件)	求職者相談(件)	求職票受理(件)	採用人数(人)
下田	3	0	6	3	0
伊東	6	0	12	1	0
三島	11	0	42	11	0
沼津	12	0	55	9	6
御殿場	6	0	17	10	5
富士	12	0	31	16	13
富士宮	6	0	19	5	4
清水	12	2	27	12	5
静岡	12	0	106	45	14
焼津	12	0	31	14	3
島田	12	1	34	12	2
榛原	6	0	14	6	0
掛川	6	0	12	5	1
磐田	6	0	15	7	0
計	122	3	421	156	53

<福祉の仕事ガイダンスの実施>

- ・静岡県立短期大学（1回 参加者 32人）
- ・静岡福祉大学（2回 参加者 166人）
- ・静岡英和学院大学（1回 参加者 12人）
- ・ハローワークの求人者向け（122回 参加者 1,535人）
- ・ニチイ学館沼津教室（1回 参加者 7人）
- ・介護労働安定センター実務者研修受講者（1回 参加者 41人）
- ・静岡市介護職員初任者研修受講者（2回 参加者 36人）

<合同説明会（その他の相談会）>

内容	主催	人数
シニア向け仕事相談会	静岡県、熱海市	29
医療・福祉の就職相談会	静岡労働局	22

イ 専門アドバイザーの設置

（公認会計士、社会保険労務士に委嘱）

人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会の実施

<相談件数>

（単位：件）

区分	東部	中部	西部	計
公認会計士 事業所	56	82	21	159
社会保険労務士(3名)	事業所	24	36	61
	従事者	8	11	21
計	88	129	24	241

・県内広い地域における社会福祉人材センターの周知と求職者の確保を行った。

・人事・労務、経理事務の正しい理解と職場環境の整備と改善の促進をした。

- ・公認会計士相談 月1回（中部地区のみ）計12回
- ・社会保険労務士相談 東部・西部隔月1回、中部月1回計24回

ウ 社会福祉人材センター情報発信事業の実施

各市町社会福祉協議会等の協力を得て、地域に根付いた活動を通じて社会福祉人材センターの取組みの紹介や福祉の仕事の相談などを行い、社会福祉人材センターの認知度を高めるとともに、きめ細やかな求人・求職者支援を実施することによりマッチングを図った。

◎ 中山間地域

市町名	開催名称	開催日	参加人数
伊豆の国市	令和5年度福祉・保育のおしごとフェア(伊豆の国市社協主催)	6/24	16人
御殿場市	御殿場市合同企業ガイダンス2023夏(御殿場市主催)	7/21	120人
御殿場市	アクティブシニアを応援！シニア面接会(しずおかジョブステーション主催)	9/28	47人
浜松市	生活困窮者等就労準備支援事業	12/4	6人
富士宮市	シニア向け仕事セミナー・就職相談会	12/26	58人
御殿場市	御殿場市合同企業ガイダンス2024春	3/2	300人
	計		547人

◎ 中山間地以外

市町名	開催名称	開催日	参加人数
静岡市	第1回静岡市介護職員初任者研修講座	11/16	18人
静岡市	介護に関する入門的研修「介護講座」	11/20	22人
静岡市	第2回静岡市介護職員初任者研修講座	1/17	18人
	計		58人

行政や市社会福祉協議会が実施する就職相談会等に出向き、社会福祉人材センターの認知度を高めるとともに、きめ細やかな求人・求職者支援を実施することによりマッチングを図った。



中山間地情報発信事業：
福祉・保育のお仕事フェア
(6月24日 伊豆の国市)

エ ミニ就職相談会の開催

小規模な相談会を開催し、求職者が求めている詳細な労働条件や施設・事業所の雰囲気伝えることにより、求人・求職のマッチングを実施。

(3月末現在)

地区	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数
中部	7回	47法人	169人	281件	39人
東部	9回	69法人	156人	239件	21人
オンライン	3回	12法人	11人	-	-
計	19回	128法人	336人	520件	60人

オ 求職者向けの施設見学(オンライン)の実施

事業所が主体的に求人活動を行うことを支援するため、求人者と連携して求職登録者を対象としたZOOMや動画による施設見学等を企画・実施した。

(3月末現在)

開催日	地区	会場	参加人数
5/23	静岡市	シズウエル	5人
6/19	藤枝市	Bivi 藤枝	6人
7/8	浜松市	サーラシティ浜松	10人
7/29	沼津市	プラザヴェルデ	13人
9/13	湖西市	湖西市中央図書館	2人
9/21	静岡市	シズウエル	7人
10/12	菊川市	文化会館アエル	2人
10/23	牧之原市	さざんか	3人
11/21	島田市	ハローワーク島田	12人
12/7	富士宮市	きらら富士宮	6人
12/20	磐田市	ハローワーク磐田	16人
1/16	静岡市	シズウエル	10人
1/17	焼津市	焼津文化会館	5人
1/24	御殿場市	ハローワーク御殿場	8人
1/29	三島市	ハローワーク三島	11人
		計	116人

カ 県主催移住フェアや小規模就活イベントへの参加

ハローワークや他機関が主催する就職相談会に参加

(3月末現在)

内容	主催	人数
大学生等就職フェア	静岡労働局	84
大学生等就職フェア(オンライン)	静岡労働局	63
若年者のための地元就職フェア	静岡労働局	211
高校生JOBフェア	静岡労働局	115
若年者就職フェア	静岡労働局	38
世話人等業務セミナー&合同説明会	静岡県	24



ミニ就職相談会の様子
(令和5年4月20日)

・求職者の希望を反映した施設見学を行うことで、きめ細かな就労支援に繋がった。



ZOOMを利用した施設内紹介
(令和5年7月29日)

福祉系以外の大学生等に福祉の仕事の魅力や社会福祉人材センターの取り組みについて周知を図った。また、介護の未来ナビゲーターと協力した相談ブースの出展を行い、介護の仕事に対するマイナスイメージを払拭するため介護の仕事の魅力発信を行った。

(4) 福祉の就職相談会の開催

【他業種からの転職者や学生等幅広いターゲット向け】

ア 就職相談会(対面式6回+オンライン開催2回)

i 対面方式開催

- 7月8日(土) サーラシティ浜松(参加者57名)
- 7月23日(日) グランシップ(参加者151名)
- 7月29日(土) プラサヴェルデ(参加者60名)
- 3月3日(日) グランシップ(参加者99名)
- 3月7日(木) 浜松市福祉交流センター(参加者30名)
- 3月16日(土) プラサヴェルデ(参加者88名)

ii オンライン開催<GALIMOの利用>

リアルイベントのような雰囲気、相談ブースへの選択や着席、セミナーやプレゼンテーションの聴講等をオンライン上で実施。

2月17日(土) 16名参加 3月1日(金) 15名参加

イ 求人PRサイトの運営(通年)

ウ 合同企業説明会(3回)への参加

- ・静岡新聞社主催「就活フェス」参加(5/27、12/3、1/6)
- ・「福祉のお仕事紹介コーナー」のブース出展
- ・就活カフェ等、小規模イベントの企画(11/22)

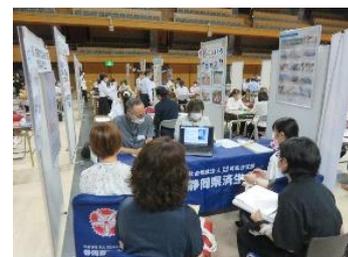
エ 大学等への福祉の出前講座

大学等と連携して、学生が福祉職に興味を持てるような内容のセミナーや就職相談会を開催した。(ゲストスピーカーの派遣、出張相談会等)

	日時	学校	内容	人数
①	5/25(木)	静岡福祉大学	模擬面接	16人
②	6/16(金)	静岡福祉大学	セミナー	20人
③	6/16(金)	静岡福祉大学	セミナー	74人
④	6/21(水)	静岡福祉大学	セミナー	35人
⑤	7/6(木)	静岡福祉大学	WEB説明会	28人
⑥	7/11(火)	小田原短期大学	セミナー	50人
⑦	7/13(木)	静岡福祉大学	WEB説明会	28人
⑧	11/1(水)	聖隷クリスティア大学	セミナー	16人
⑨	11/6(月)	静岡県立短大	セミナー	18人
⑩	11/8(水)	聖隷クリスティア大学	セミナー	16人
⑪	11/13(月)	静岡県立短大	セミナー	18人
⑫	11/20(月)	聖隷クリスティア大学 介護福祉専門学校	セミナー	20人
⑬	11/22(水)	聖隷クリスティア大学	セミナー	16人
⑭	12/6(水)	静岡県立大学	セミナー	65人
⑮	12/18(月)	静岡英和学院大学	セミナー	90人
⑯	3/5(火)	中央歯科衛生士専門学校	セミナー	30人
		計		540人

市町社会福祉協議会からの協力を得て、社協の仕事紹介コーナーブースの中で、求職者が社協職員から直接仕事内容を聞ける機会等を設けた

【新設】



福祉の就職相談会

(令和5年7月23日静岡市)

- ・福祉に特化した就職相談会を主催するだけでなく、静岡新聞社主催の就職相談会に出展し、福祉学科以外の学生へもアプローチした。
- ・学生の介護等の福祉職に対する興味関心を高めた。
- ・大学の授業にて、福祉施設職員等をゲストスピーカーとして派遣した。
- ・福祉学科の学生には、福祉現場で働く講師から、仕事の魅力を伝え、福祉施設等への就職を促した。
- ・福祉学科以外の学生には、将来の選択肢の1つに福祉の仕事が入る機会を提供した。

(5) 福祉の職場体験事業の実施 (目標 1,000 人)

福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験

地 区	東部	中部	西部	合計
延受入施設 (箇所)	262	167	43	472
体験人数 (実人数)	241	150	28	419
延体験日数 (日)	388	373	108	869

(6) 介護職員復職支援事業

結婚、出産等で離職した介護職経験者の掘り起こしを行い、復職希望者の復職を支援し、介護人材の確保を図った。

- ・介護職経験者の掘り起こしのための広報
- ・介護職復職者の事例動画の作成
- ・介護福祉士等の届出システムへの登録促進
- ・復職前研修の開催
- ・復職希望者の希望に沿った事業所との個別マッチング
- ・復職後のサポート(早期離職防止)

ア リーフレット等による制度の周知

- ・セミナー周知用チラシの作成、配布 (17,500 枚)
- ・事業周知用リーフレットの作成、配布 (7,000 枚)
- ・事業周知用動画の制作
- ・むるぶ広告掲載 (令和5年11月号)
- ・テレビCM放映 (9月)
- ・情報誌アイデムへの掲載 (セミナー周知)

令和5年10月8日発行 各11,000部

静岡市葵区、駿河区、清水区

沼津、三島、御殿場、伊豆周辺

令和5年11月5日発行 各11,000部

浜松市、湖西市、沼津市、三島市、御殿場市、伊豆周辺

イ 復職前研修

「介護のシゴト復職応援セミナー」の実施

- ・中部 4/20(木)、6/22(木)、7/25(火)、8/24(木)、10/16(月)
10/20(金)、11/21(火)、12/19(火)、2/17(土)、
2/22(木)、3/3(日)
- ・東部 5/22(月)、5/29(月)、7/19(水)、7/20(木)、7/29(土)
9/20(水)、9/25(月)、10/17(火)、10/23(月)、11/16(木)
2回開催、1/26(金)、2/21(水)、3/16(土)
- ・西部 7/8(土)、7/14(金)、11/9(木)、11/13(月)、3/7(木)合計30回開催

・中高生の体験後に、「将来の職業の選択肢ができました」「体験したら、楽しい仕事だった」といった、福祉職のイメージが変わったという感想が多くあり、将来の福祉人材が期待できた。

・離職介護経験者の復職支援による介護職員の確保に繋がった。

・新規採用職員の資質とモチベーションの向上を図った。



復職前研修の様子

(令和5年12月19日静岡市)

ウ マッチングの実施と復職後のサポート(3月末現在)

	支援者数	採用数	復職者数
人数	1,345	105	104

(7) 静岡県福祉職合同入職式(～入職者のための合同研修会～)の開催

ア 合同入職式: 3月

県内福祉施設に次年度6月採用の新規入職者を対象

にした入職式・研修会の開催

地区	会場	開催日
東部	プラサヴェルデ	令和6年3月8日(金)
中部	グランディエールブケト ーカイ	令和6年3月4日(月)
西部	ホテルクラウンパレス浜 松	令和6年2月28日(水)

イ フォローアップセミナー(入職3年目までの職員対象)

11月開催

令和3年、令和4年及び令和5年開催の合同入職式参加者を対象としたセミナーの開催

地区	会場	開催日
東部	プラサヴェルデ	令和5年11月7日(火)
西部	浜松福祉交流センター	令和5年11月20日(月)
中部	シズウエル	令和5年11月27日(月)

2 事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施

(1) 事業所の採用担当者や養成校教員との会議の開催(参加)

6/20 介護福祉士養成施設協議会 第1回協議会 ※招聘され、参加

6/27 研究会(夜勤編)

8/2 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会

9/13 研究会(ダイレクトリクルーティング編)

12/26 研究会(求職者の動向・紹介会社の戦略編)

1/31 研究会(学生へのWEBアプローチ編)

(2) 課題解決に向けた実践

ア 調査研究の実施

①4月 福祉系養成校進路実態調査の実施

②1～3月: 福祉職の性格特性や継続理由の調査

イ 学生専用SHIZUOKA福祉のアルバイト応援サイトの稼働開始

ウ 社会福祉人材センターを県社協が担う意義等の再ブランディング

・福祉、介護職場における職員の定着促進に繋がった。



福祉職合同入職式
(令和6年3月4日中部)

・有志の福祉施設採用担当者、福祉系養成校の教職員との会議を重ねることで、信頼関係を築けた。

・学生の進路の実態や、現職の福祉職員の特性を調査し、ターゲットを明確にした福祉人材確保施策の基礎資料となった。

<p>(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催 人材【確保】【定着】の2研修については、双方ともに施設編と社協編を開催</p> <p>ア 福祉施設の採用力向上研修 (6/8 開催、88 人参加) 講師：一般社団法人FACE to FUKUSHI 岩本恭典氏、上杉きよみ氏</p> <p>イ 福祉施設の人材定着研修 (7/21 開催、101 人参加) 講師：合同会社介護の未来 阿部充宏氏</p> <p>ウ 採用・育成・定着に活用できる使いやすい助成金活用術 WEB セミナー (9/5 開催、101 台参加) 講師：ふくしえん社労士事務所 後藤功太氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設の採用、人材定着に対する知識やスキルを身につける機会を提供し、業界全体の底上げを図った。
<p>3 他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <p>(1) 外国人介護人材サポート事業</p> <p>ア 職場訪問 (訪問目標数 35 か所) 県内 <u>36 事業所</u>の事業所及び法人担当者、<u>8 ヲ国</u> <u>49 人</u>の外国人介護職員と面談。面談職員の在留資格については、技能実習 21 人・定住 1 人・EPA 1 人・介護 1 人・留学 2 人・特定技能 23 人と面談。</p> <p>イ 研修交流会の開催 (16 回実施 計 168 人) 外国人介護職員のコミュニティ形成を図り、職場定着するように研修交流会を開催した。</p> <p>10月：92人 (ハイブリット開催) 2月：76人 (対面式とWEBを組み合わせて実施)</p> <p>教材作成：2月開催のうち、8回は「これからのキャリアを考える」をテーマとし、共通教材として「外国人介護職員キャリア支援パンフレット」を作成した。(介護福祉士国家試験の受験方法の説明+国家試験に合格した3人の外国人職員のインタビュー記事)</p> <p>ウ 支援策検討会議の開催 (年3回) 実施回数：3回 (①9/14、1/15 ②10/27) 会議構成：①6人 (大学教員2人、施設職員2人、日本語学校教職員2人) ②3人 (施設職員3人) 本会議で協議した意見のうち、即時に取り組めるものとして、上記「介護職員キャリア支援パンフレット」の内容を協議。(取材先も参加者の紹介)</p>	 <p>研修交流会 ミャンマー国籍の会(令和6年2月15日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の外国人介護職員の実態を把握し、必要な支援策を検討、実施した。 介護福祉士に関心がある者の、受験方法や勉強方法を知らない外国人職員のキャリア開発を支援した。 
<p>4 保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 保育士・保育所支援センターの運営 就職支援コーディネーターの配置 4人</p> <p>ア 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センターの周知と新たな求人及び求職者の掘り起こしを行い、

- イ 訪問による保育所等の方針や求人把握
- ウ 潜在保育士の就労に関する相談対応、潜在保育士への情報発信の強化
- エ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、あっせん
- オ 保育士資格の取得等に関する相談対応
- カ 求人者、求職者のマッチングの強化
- キ 保育補助者の人材確保支援
- ク 現職保育士に対する、就労継続に向けた相談支援の実施
- ケ 現職保育士に対する、就労継続に向けた SNS を活用した社労士等による相談支援の実施（静岡県）
- コ 保育現場の魅力発信（コラムの配信等）

(2) 保育就職説明会の開催

求職者（保育士）と雇用者（保育施設）が一同に会する機会を提供し、保育の職場に就労を希望する者の就職活動を支援

- ・対面式 4回（静岡市内2回）
- ・WEB 3回（静岡市1回、東部1回、静岡市を除く中西部1回）

地区	会場	開催日	参加人数
中部1	グランシップ (静岡市)	7/23(日)	266人
WEB 静岡市	オンラインツール Zoom ミーティング	11/2(木)	51人
WEB 中・西部	オンラインツール Zoom ミーティング	11/16(木)	25人
WEB 東部	オンラインツール Zoom ミーティング	11/28(火)	35人
東部	プラサ・ヴェルデ (沼津市)	1/20(土)	80人
西部	サーラシティ浜松 (浜松市)	1/21(日)	18人
中部2	グランシップ (静岡市)	2/4(日)	43人
合計			518人

(3) 潜在保育士職場復帰支援研修の開催

潜在保育士等を対象に、復職への不安を緩和し再就職への意欲を高めるための研修を開催

※保育就職説明会と同日開催

- ・対面式 4回（静岡市内2回）・WEB 1回

地区	会場	開催日	参加人数
中部1	グランシップ (静岡市)	7/23(日)	176人

講師：創作あそび作家 たにぞう 氏

内容：「遊びの達人?! たにぞうさんから学ぶ 人と関わる心地良さ」

有資格者だけでなく、保育補助者等も含めて個別にマッチング支援を行い、保育人材の確保に寄与した。

- ・潜在保育士等への就職支援による保育人材の確保につながった。
- ・保育士養成施設の学生への参加を呼びかけ、現場職員から直接話が聴ける貴重な機会が提供できた。



保育のお仕事フェア
(令和5年7月23日静岡市)

- ・現場で必要な知識として活用できた。



保育士さん就職応援セミナー
(令和5年7月23日静岡市)

WEB 静岡市	オンラインツール Zoom ミーティング	11/2(木)	51人
講師：(合) キョウイクデザイン教育アドバイザー 増田 実菜 氏 内容：未来の保育を考える ～遊びと笑顔が広がる保育～			
東部	プラサ・ヴェルデ (沼津市)	1/20 (土)	71人
西部	サーラシティ浜松 (浜松市)	1/21 (日)	17人
中部2	グランシップ (静岡市)	2/4 (日)	35人
東・西部 講師：坂本 喜一郎 氏 内容：あそびの中の育ちと学び～子どもはあそびの天才だ～ 中部 講師：荒巻シャケ 氏 内容：あそび歌を通して考える ～子どもと一緒に創る面白さ～			

(4) 出張相談会の開催

ハローワークや行政等が実施する就職相談会への出張相談会の実施 (県6回 静岡市7回)

回数	地区	会場	開催日	参加人数	ミニセミナー講師
1	静岡市	HW 静岡	5/17 (水)	16人	竜南こども園 園長 太田嶋俊彦氏
2	中部	BiVi 藤枝	6/15 (木)	5人	わかばみや保育園 園長 中原 直子 氏
3	静岡市	HW 清水	6/21 (水)	10人	えじり保育園 園長 井出孝太郎氏
4	中部	HW 掛川	7/12 (水)	8人	桜木こどもの森 園長 岡田 博次 氏
5	静岡市	静岡市 駿河区役所	9/14 (木)	15人	静岡市立瀬名川こども園 園長 増田 寿子 氏
6	静岡市	静岡市役所 清水庁舎	9/21 (木)	3人	静岡市立駒越こども園 園長 中野早好子氏
7	西部	i プラザ 磐田	10/3 (火)	8人	磐田市立竜洋幼稚園 園長 鷺見美都江氏
8	東部	HW 富士宮	10/18(水)	8人	野中こども園 副園長 中村章啓氏
9	静岡市	HW 静岡	11/15(水)	11人	城北保育園 園長 松田剛氏
10	中部	さざんか (榛原)	11/21(火)	2人	菅山保育園 園長 増田知恵氏
11	東部	HW 沼津・ 三島	12/6 (水)	13人	慈恩こども園 園長 土山龍之氏
12	静岡市	HW 清水	12/13(水)	9人	有度十七夜山保育園 園長 笠井友泰氏
13	静岡市	HW 静岡	2/15(木)	8人	ゆりかご保育園 園長 神野博行氏

*HW＝ハローワーク

・事業所と直接話ができ、活発な就職活動につながった。
採用数 12人



出張相談会の様子
(令和5年7月12日掛川市)

(5) 保育現場体験事業

保育士及び資格取得見込者を対象に、保育所等での現場体験を実施
(4月～2月末)

対象を高校生以上に拡大(静岡市)【新規】

対象：保育士又は幼稚園教諭

保育士資格又は幼稚園教諭免許取得見込者

県内の高校生(静岡市内の施設のみ)

体験先：県内保育所及び静岡市内公立こども園等

地区	東部	中部	西部	合計
延受入施設(箇所)	54	62	2	118
体験実人数(一般)	2	9	2	13
体験実人数(学生)	48	37	0	85
延体験日数(日)	69	114	5	188
静岡市公立こども 見学人数(実人数)	0	2	0	2
延見学日数(日)	0	3	0	3
採用数	0	7	2	9

(6) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度の周知

しずおか保育士・保育所支援センターホームページ

<http://shizuoka-hoiku.jp/>

<平成29年3月開設・平成30年11月リニューアル>

届出者数 262人(令和6年3月末現在)

・保育現場の理解促進と人材の誘導を行った。

・新規で始まった高校生の受け入れは、35人が延べ41園、81日の体験を行った。

「最初は緊張したが、こどもから話かけてくれ、先生方も優しく教えてくださり、貴重な体験ができた。」「保育士になりたいと思った」などという意見があった。



離職保育士届出制度チラシ

(7) 放課後児童支援員の人材確保支援

保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施

求人相談	求職相談	新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
10件	7件	21件(59人)	20人	1人

(8) 保育士養成施設連絡会の開催

保育士の就労と職場定着を目的とした情報共有と協議を実施

令和6年3月11日開催

(9) SNS(LINE)による相談窓口の設置、情報発信

SNS(LINE)のアカウントを開設し、求職・求人の相談窓口とし、必要に応じて社会保険労務士など、専門家による助言を行う。併せて、登録者に対して、保育に関する制度や資格、就労等の情報発信を行った。

・登録者数 295人 ・相談件数 131件

※内7件 社会保険労務士による助言

・情報発信 60件

・令和4度からスタートしたLINEによる無料相談では、求人情報の他、人事、労務管理等について、社会保険労務士に相談できることができ、職員の定着支援につながった。また、転職相談なども行うことによりスムーズな連絡が実現した。

					登録者が 166 人から 295 人に 129 人増加
<p>5 保育士、介護福祉士等の資金貸付事業の実施</p> <p>(1) 介護福祉士修学資金貸付事業</p> <p>ア 介護福祉士修学資金 介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者に対し授業料等の貸付けを実施。</p> <p>イ 再就職準備金 離職した介護職員が介護職員として勤務する際に、再就職準備金の貸付けを実施。</p> <p>ウ 障害福祉分野就職支援金 研修終了後障害福祉職員として就職する際に、就職支援金の貸付を実施。</p> <p>エ 福祉系高校修学資金 福祉系高校に在学する者に対し、介護実習費等の貸付を実施。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の介護施設等への有資格者の就職促進と定着を図った。
	R5 貸付実績	累計	償還免除 (累計)	返還 (累計)	
修学資金	83 人 64,141 千円	1,342 人 1,023,563 千円	409,854 千円	91,555 千円	
実務者研修	66 人 11,712 千円	415 人 70,279 千円	18,072 千円	2,788 千円	
再就職準備金	52 人 20,800 千円	318 人 127,020 千円	56,320 千円	6,260 千円	
障害分野	4 人 800 千円	9 人 1,800 千円	0 円	0 円	
福祉系高校	51 人 11,010 千円	148 人 29,570 千円	240 千円	2,190 千円	
返還充当	1 人 270 千円	7 人 1,890 千円	0 円	0 円	
<p>(2) 保育士修学資金等貸付事業</p> <p>ア 保育士修学資金 保育士養成施設に通う学生に対し、授業料等の貸付けを実施。</p> <p>イ 保育補助者雇上費 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部について貸付けを実施。</p> <p>ウ 保育料の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の保育施設利用料の一部について貸付けを実施。</p> <p>エ 就職準備金 潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の就職準備金の貸付けを実施。</p> <p>オ 子どもの預かり支援事業利用料金の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の預かり支援に関する事業所を利用した場合の利用料金の一部について貸付けを実施。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育人材の確保 ・ 保育士の雇用管理・労働環境の改善をした。 ・ 潜在保育士の職場復帰を促進した。

	R5 貸付実績	累計	償還免除(累計)	返還(累計)
修学資金	443 人 309,202 千円	3,390 人 2,426,434 千円	99,285 千円	109 人 137,555 千円
保育補助者	3 人 8,536 千円	61 人 137,701 千円	120,139 千円	5 人 8,703 千円
保育料の一部	41 人 6,565 千円	402 人 59,053 千円	43,108 千円	1 人 605 千円
就職準備金	16 人 6,400 千円	434 人 6,559 千円	136,374 千円	8 人 4,968 千円
預かり保育	1 人 29 千円	9 人 262 千円	233 千円	0 人 0 千円

(3) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

児童養護施設等を退所し、就職または進学した児童等に対し、家賃相当額や生活費、資格取得費を貸し付けることにより、自立を支援する。

	R5 貸付実績	累計	償還免除(累計)	返還(累計)
生活支援費	4 人 2,400 千円	35 人 18,380 千円	700 千円	0 人 550 千円
家賃支援費	9 人 3,507 千円	42 人 7,941 千円	806 千円	0 人 552 千円
資格取得	2 人 500 千円	20 人 4,934 千円	1,960 千円	0 人 0 円

(4) ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業

ア 入学準備金・就職準備金

高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指すひとり親について、入学準備金・就職準備金の貸付を行う。

イ 住宅支援資金

母子父子自立支援プログラムを策定し、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金の貸付を行う

	R5 貸付実績	累計	償還免除(累計)	返還(累計)
入学準備金	10 人 5,000 千円	115 人 57,500 千円	9 人 4,500 千円	2,130 千円
就職準備金	6 人 1,200 千円	92 人 18,400 千円	22 人 4,400 千円	0 円
住宅支援	35 人 16,272 千円	114 人 49,912 千円	45 人 19,927 千円	13 人 1,209 千円

6 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託

(1) 全体研修会の開催

①熊本地震を体験した訪問介護事業所に学ぶ

・施設入所児童等の自立の推進
・施設退所者等の退所後の安定した生活基盤を確立した。

・ひとり親家庭の経済的自立
・看護師等の人材確保

・研修会を実施することにより、訪問介護員の資質向上につながった。

<p>10/20～11/12 配信 35人</p> <p>(2) 一般研修会の開催</p> <p>①障がいの特性の理解と関わり方 8/24 (シズウエル) 17人</p> <p>②ホスピタリティ、介護現場でのNGワード</p> <p>9/11～10/1 配信 34人</p> <p>③訪問介護の感染対策 12/1～12/24 配信 44人</p> <p>④精神障がいの特性の理解と関わり方 1/5～1/28 配信 24人</p> <p>(3) サービス提供責任者研修会の開催</p> <p>①BCP作成のポイント 7/3～7/23 配信 57人</p> <p>②訪問介護サービスの運営基準の理解と運営上の留意点</p> <p>8/7～8/27 配信 36人</p>	
<p>7 福利厚生センターの事務受託</p> <p>ア 業務推進委員会の開催</p> <p>イ 会員交流事業及び地域開発メニューの実施</p> <p>ウ 会員加入等促進活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設職員の職務に対する意欲向上につながった。 ・施設職員の定着率の向上を図った。

推進事項2 福祉業界・仕事の魅力発信

将来の福祉・介護従事者の確保を目的として、小、中、高校生を対象に福祉・介護職のイメージアップを図るための出前講座(セミナー)や体験ツアーを実施するとともに、一般的に持たれている福祉・介護の仕事に対する漠然とした不安やイメージを払拭できるよう、WEB広告・SNS等を利用した広報により福祉・介護職の魅力発信を行い、効果的に福祉人材の確保につなげた。

事業の実績						効果・評価	
<p>1 福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透</p> <p>(1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 (4月～2月 県内小学校・中学校・高等学校等)</p> <p>ア 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施 (目標:150回開催 小学校50回、中学校80回、高校20回)</p> <p><実施状況> (3月末現在)</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護職(場)への理解促進と将来にわたる福祉・介護人材の安定的な参入促進をした。 ・保護者の福祉の仕事に対するネガティブなイメージの払拭し、進路の候補となるために実施した。 	
校種別	種別	申込数		実施数		キャンセル	
		校数	回数	校数	回数	校数	回数
小学校	公立	58	109	58	108	0	1
	私立	0	0	0	0	0	0
	計	58	109	58	108	0	1
中学校	公立	22	63	22	63	0	0
	私立	1	2	1	2	0	0
	計	23	65	23	65	0	0
高等	公立	8	11	7	10	1	1
学校	私立	7	19	7	19	0	0
	計	15	30	14	29	1	2
合計		96	204	95	202	1	2



魅力発見セミナー
令和5年5月29日
藤枝市立瀬戸谷小学校

<p>イ セミナーの資質向上のための講師意見交換会を開催 (1回)(1月実施)</p> <p>(2) 保護者向け啓発資料の作成、配付 ア 資料作成 10,000部</p>																					
<p>2 福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施</p> <p>(1) 福祉のしごと学び体験ツアーの実施(会場集合型) 中学生・高校生とその保護者、教員を対象に、会場での介護機器体験や、リモート福祉施設見学会福祉現場や福祉人材養成校等への見学・体験ツアーを実施した。(7~8月 東部・中部・西部 各1回) ＜実績＞</p>	<p>介護の現場で働く職員の介護技術や最小限の力で介護ができるボディメカニクスについて体験を通じて学ぶ他、リモート施設見学会、現役の福祉系大学・専門学校生からのメッセージを通して、福祉の仕事の魅力や、やりがい等を発信した。</p> <p>各会場で9割を超える参加者が満足しており、介護ロボット、サイボーグへの興味関心の高さがアンケートから伺えた。</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区 会場</th> <th>日程</th> <th>法人名等</th> <th>参加 人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部 プラサ ヴェルデ</td> <td>7/26(水)</td> <td>(福)ウェルネスケア、(有)ライフ・ケア・サービス、CYBERDYNE(株) 大原介護福祉専門学校沼津校</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>中部 シズウエル</td> <td>8/4(金)</td> <td>(福)まごころ、インフィック(株)、CYBERDYNE(株) 静岡福祉大学</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>西部 浜松市福祉交流センター</td> <td>8/9(水)</td> <td>(福)ほなみ会、(株)レンティック中部、CYBERDYNE(株) 静岡県立大学短期大学部</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>77人</td> </tr> </tbody> </table>	地区 会場	日程	法人名等	参加 人数	東部 プラサ ヴェルデ	7/26(水)	(福)ウェルネスケア、(有)ライフ・ケア・サービス、CYBERDYNE(株) 大原介護福祉専門学校沼津校	29人	中部 シズウエル	8/4(金)	(福)まごころ、インフィック(株)、CYBERDYNE(株) 静岡福祉大学	21人	西部 浜松市福祉交流センター	8/9(水)	(福)ほなみ会、(株)レンティック中部、CYBERDYNE(株) 静岡県立大学短期大学部	27人	計			77人	
地区 会場	日程	法人名等	参加 人数																		
東部 プラサ ヴェルデ	7/26(水)	(福)ウェルネスケア、(有)ライフ・ケア・サービス、CYBERDYNE(株) 大原介護福祉専門学校沼津校	29人																		
中部 シズウエル	8/4(金)	(福)まごころ、インフィック(株)、CYBERDYNE(株) 静岡福祉大学	21人																		
西部 浜松市福祉交流センター	8/9(水)	(福)ほなみ会、(株)レンティック中部、CYBERDYNE(株) 静岡県立大学短期大学部	27人																		
計			77人																		
	<p>福祉のしごと学び体験ツアー(浜松会場)の様子 (令和5年8月9日)</p>																				
<p>3 WEBサイトやSNSによる広報・啓発の推進</p> <p>(1) 広報(新聞、テレビ・WEBCM等)の実施 (2) リーフレット(Job-note)の発行(5,000部予定) (3) 社会福祉アクセスガイドの発行(2,000部) (4) 利用の手引きの発行(2,000部予定) (5) 求人の手引きの発行(800部) (6) 社会福祉人材センター年報の発行(200部) (7) 福祉・介護の仕事イメージアップ冊子の発行(6,000部予定) (8) ホームページの充実 (9) WEB広告の実施 (10) 電車内アナウンスの実施 (11) 静岡新聞社「しずおか仕事図鑑」への掲載【新規】</p>	<p>・社会福祉人材センターや福祉の仕事の社会的認知度の向上を図った。</p>																				

推進事項3 質の高い人材の育成支援

1 各種研修の実施

福祉職場の人手不足が深刻化している中、福祉サービスの担い手の確保と定着を図るため、現に福祉職場に従事する方の資質向上と併せ、就労環境の改善が急務となっている。

そこで、福祉職員を対象とした外部研修実施機関として、階層別・テーマ別の研修会を、集合研修又はオンライン研修（ライブ配信及び録画配信）として開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修の実施を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 研修の体系化及び効率性の向上</p> <p>ア 研修体系に基づき研修を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60種91本の研修（受講者3,517人）を感染症防止に努めながら、集合（41本、1,442人）・ライブ配信（36本、1,397人）・録画配信（14本、678人）により実施した。 満足度98.2%（満足76.9%+やや満足21.3%） <p>イ 積極的な研修広報の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修情報を希望する県内社会福祉施設等へ毎月電子メールで提供（1,470施設等以上） <p>ウ LINE公式アカウントの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人あてに研修情報を提供（310人以上） <p>(2) 事業所内の人財育成の支援</p> <p>ア 施設・事業所のニーズに応じた講師の紹介</p> <p>イ 効果的な職場内研修を企画・実施するための研修を実施</p> <p>(3) 研修体系の見直し</p> <p>ア 研修ニーズ調査結果に基づいた見直しの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じてサービスの質向上や職員の職場定着に寄与した。 ・オンライン研修により、遠方事業所職員や変則勤務職員等の受講の機会を創出した。 ・広報により、受講者の確保に努めた。 ・「職場内研修に関するアンケート」を実施し今の研修内容を振り返り、研修計画の有無、有益性や参加率など他施設の研修担当と情報共有し、横のつながりの場を提供した。 ・研修内容の更なる充実を図り、受講しやすく、効果があがる研修方法への転換を行った。



研修風景（集合研修・グループ発表）



研修風景（オンライン研修）

基本目標3 災害福祉支援体制づくり

実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します

推進事項1 静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化

県内全域を対象にボランティア活動の支援を行う広域拠点として、市町災害ボランティア本部が円滑に機能するよう、人材育成、活動資機材の整備、情報発信拠点及び県行政等関係機関・団体との連携体制の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 活動用機器（資機材）の配備と保守点検</p> <p>ア 設置資機材を活用した稼働訓練と保守点検</p> <p>イ 中部県域（静岡市）への設置及び新規設置拠点の検討（赤い羽根共同募金助成事業）済生会小鹿苑内設置 6/28</p> <p>(2) 災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化</p> <p>①6月2日からの大雨等による被害に対する沼津市災害ボランティアセンターへの市町社協職員派遣 派遣実人員：16社協38人、86人日</p> <p>②6月2日からの大雨等による被害に対する市町災害ボランティアセンターへの県社協職員派遣 派遣実人員：24名、96人日 ※磐田市、富士市、沼津市の各災害VCへ派遣</p> <p>③令和6年能登半島地震に対する石川県内市町災害ボランティアセンターへの職員派遣 派遣実人員：県社協4人28人日、市町社協14社協20人、140人日</p>	<p>・県内7か所に設置することで、被災地に迅速に資機材を提供した</p> <p>・災害発生直後から速やかに情報共有会議を行い、本会職員の被災地社協への派遣と市町社協の応援派遣を行う体制が出来ており迅速に県内外の被災地社協支援を行った。</p>
<p>(2) 県本部・情報センターの体制整備</p> <p>ア 支援協定の年次確認の実施 静岡銀行との協定内容に関する協議協議(8/16) 静岡銀行防災セミナーへの参加(9/8) 市町災害VC訓練への行員の参加(9/3)</p>	<p>・協定締結団体の顔が見える関係づくりと連携強化につながった</p>



県災害VC本部・情報センター
HP・市町別サイト



災害ボランティア活動用
機器整備事業【静岡市】
(赤い羽根助成事業)

推進事項2 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化及び社会福祉事業者の防災対策支援

県・市町の災害対策本部と連携し、地域の要配慮者を支援する「静岡県災害福祉広域支援ネットワーク」の強化を図るため、「静岡 DWAT」登録員のスキルアップ、事務局体制の強化、受援体制の構築及び他の専門職チームとの連携体制の構築を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 災害派遣福祉チームの体制強化</p> <p>ア 登録員養成研修の開催(8/18、9/1 全2日間) 参加者:36名</p> <p>イ スキルアップ研修の開催(11/10)参加者:64名</p> <p>ウ 平常時の支援活動展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝達訓練(10/20) ・静岡市駿河区西豊田学区において実施訓練(12/2) 参加者:約100名 <p>エ 県内3地域(東部・中部・西部)における支部活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア別検討会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 【中部支部】(6/22) 参加者:12名 【東部支部】(6/15) 参加者:21名 【西部支部】(6/29) 参加者:17名 ・全体会の開催(12/1) 参加者:10名 <p>オ エリア別(東部・中部・西部)情報交換会の開催</p> <p>カ ネットワーク会議の開催(3/15) 参加者:14名</p> <p>キ 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催(2回 6/12、9/3)</p> <p>ク 広域相互支援ネットワークの構築(近隣県事務局との意見交換)(8/3)</p> <p>ケ 災害対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市災害VCに係るニーズ把握の振り返り(10/30) ・令和6年能登半島地震被災地(1.5次避難所等)派遣 	<p>効果・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平時から発災後を想定した訓練等が実施されている。 ・支部化の活動が始まっている。 ・多職種に、災害派遣福祉チームが周知されている。  <p>静岡 DWAT 平時の活動事例集発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張講座等が実施されている。
<p>(2) 要配慮者支援の理解促進</p> <p>ア 静岡 DWAT 出前講座の実施(18回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋井市民児協(4/27) ・防災夏フェスタ 2023 浜松(6/18) ・沼津介護支援専門員連絡協議会(6/30) ・富士市避難所派遣職員研修会(8/7、8、9) ・富士市福祉避難所研修(8/25) ・県総合防災訓練:浜松会場(9/3) ・伊東市総合防災訓練(9/3) ・御前崎市総合防災訓練(9/3) ・浜松市中区地域包括支援センター-高丘圏域(10/12) ・桜町自治会(静岡市葵区)防災訓練(12/3) ・浜松市障がい児放課後支援連絡協議会(12/7) 	

- ・ 聖隷クリストファー大学(1/9)
- ・ 福祉避難所（賀茂モデル）設置訓練(1/30)
- ・ 藤枝市民児協(2/22)
- ・ 清水町社協・長泉町社協合同研修会(3/6)
- ・ 静岡県社会福祉士会(3/8)
- ・ 下田市ボランティア連絡協議会総会(3/8)
- ・ 清水町在宅医療・介護連携推進会議(3/15)

- イ 職能団体、種別協等との合同研修会の開催
- ウ 静岡 DWAT 啓発用展示パネル貸し出し事業の実施

(3) 個別避難計画(災害時ケアプラン)作成事業

- ア 市町における計画作成支援（重点支援：熱海市）

- ・ 庁内研修会(5/24)参加者：23名
- ・ 打合せ・スケジュール確認(9/7)参加者：8名

- イ 市町行政(福祉部局、防災部局)向け研修会の開催
(6/8、6/21、6/28、7/5、7/13 192名参加)

- ウ 個別ヒアリングの実施
(12/11, 13, 20, 1/22, 26日 141名参加)

- エ 福祉専門職(ケアマネ、相談支援員等)向け研修会の開催

- ・ 伊豆の国市民児協(4/19)
- ・ 袋井市民児協(4/27)
- ・ 沼津介護支援専門員連絡協議会(6/30)
- ・ 湖西市居宅介護支援事業所(9/13)
- ・ 伊東市身体障害者福祉会研修会(10/13)
- ・ 長泉町介護支援専門員協会研修会(11/16)
- ・ 藤枝市民生委員児童委員協議会研修会(2/22)
- ・ 清水町多職種連携研修会(3/15)

- オ 個別避難計画作成事業報告会の開催(3/8)参加者:96名

- カ 広報ツール(パンフレット等)の作成

- ・ 実践事例映像紹介チラシ(長泉町)
- ・ 個別避難計画作成の手引き
- ・ 35市町取組報告書



- ・ 市町等において、計画作成の方法等が正しく理解されている。

実施目標2 災害時の市町社協を支援します

推進事項1 市町社協運営支援

「被災地に対する社協ネットワークの役割と支援の提案」(全社協作成)を進め、災害時の連絡体制の整備や社協間のネットワークを活かした効果的な支援のあり方を検討するとともに、BCP(事業継続計画)の策定など、提案に沿った体制づくりを支援します。災害時には社協ネットワークを駆使し、災害支援活動に専念できるよう、スーパーバイズ機能、コーディネート機能を発揮した支援活動を行った。

事業の実績	効果・評価
(1) 災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化 ア 台風2号災害における沼津市災害ボランティアセンターへ市町社協職員の派遣【赤い羽根助成金事業】 イ 被災地社協への県社協職員の派遣	<ul style="list-style-type: none"> 被災地社協への迅速な支援体制ができています。
(2) 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備 ア 県本部立上げ訓練と連動した実践的な訓練の実施 イ 外部からの受援に対する検討 ウ 運営財源確保に関する要望の継続 エ 県、県ボランティア協会との検討会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 災害支援が平事業との延長線にあり、社協が被災者支援に取り組む意味を理解する。
(3) 市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の実施 ア 災害対応研修会の実施(8/4,10) 「被災家屋応急復旧研修会」の開催(県と共催) イ 災害ボランティア担当者会議の開催(6/23) ウ 災害ボランティア担当者人材育成研修の開催(運営編8/30、地域協働編2/7、被災者支援編3/6) 【赤い羽根助成金事業】	<ul style="list-style-type: none"> 市町社協が技術系ボランティアや家屋復旧までの過程に関する知識を深めることができた。
(4) 静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営 熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援 被災者見守り・相談支援事業(国庫補助事業)の市町社協への周知	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月に発生した熱海市での土石流災害に伴い実施されている「被災者見守り・相談支援事業」(通称:支え合いセンター)の事業支援を行った。
(5) 市町社協BCP策定支援研修の実施 ※新規 市町社協向けBCP策定支援に関する研修の動画配信 (R6.3月公開 35視聴)	<ul style="list-style-type: none"> R3に義務化された介護事業所のBCP策定に合わせ社協と一体化したBCP策定の必要性について周知した。

推進事項2 被災者への生活支援

事業の実績	効果・評価
(1) 円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会の実施及び実施体制・方法の検討	・全市町社協で災害時の事業運営が円滑に展開できる体制構築
(2) 日常生活自立支援事業の利用者への支援の検討 ア 運営マニュアルの検証	・ 県市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるように、引き続きマニュアルの更新および訓練の実施に取り組む。
(3) 生活支援相談員の体制整備の検討 生活支援相談員の設置想定の方策と体制整備に向けた検討	・ 市町社協で運営が円滑にできるよう体制整備を行う。
(4) 介護保険サービス利用者への支援の検討 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の検討	・ 県市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにする。

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

推進事項1 組織体制の強化

本会の会員サービスの充実に向けた検討を引き続き行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、制度改正や社会の動向に対応した組織体制を整備するとともに、法令順守が徹底されるよう取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染法上の扱いが5類に変更されたことから、会館入居団体職員も含む実働避難を伴う会館防災訓練を2回実施した。

静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)の管理・運営については、静岡県と締結した協定書を遵守し、入居団体や利用者の安心と満足を確認する管理と運営に努めた。

加えて、会館次期指定管理者(令和6年度～)公募への申請を共同事業体として行い、静岡県から指定を受けた。

事業の実績	効果・評価
1 会員サービスの充実 ・企画戦略会議(組織経営強化委員会)において会員サービスの充実に向けて引き続き検討した。 ・会員向け研修(「労働契約におけるトラブル防止セミナー」)の開催(10/5 参加者49人)	・会員制度の理解促進による会員増に努めた。
2 未加入事業所、賛助会員の加入促進 ・企画戦略会議(組織経営強化委員会)における検討結果等をもとに情報発信を行った	・会員制度の理解促進による賛助会員の増加に努めた。
3 連絡協議会、部会、委員会活動の充実 ・市町社協連絡協議会、社会福祉団体連絡協議会の運営(再掲) ・部会(介護保険・広報啓発・総務部会)、事業別委員会の開催(再掲)	・連絡協議会、部会、委員会での意見を中期計画、年度計画に反映させた。
4 事務組織体制、ガバナンスの強化 ・新規採用職員向け研修の実施(4/4、11 8名) ・【新規】職員向けインボイス制度説明会の開催(9/19～29 計9回) ・事務処理の見直し これまで紙を使用して管理していた現金受払簿等をデータ管理とし、簡素化した。	・新規採用職員への研修実施により法令順守意識の醸成につながっている。 ・制度の理解・徹底に努めた。 ・業務増加に対応し、事務効率化・簡素化に努めた。
5 理事会・評議員会の運営 (1)理事会の開催 【第224回】6/9 1 議題 ①理事・監事候補者選任案 ②評議員候補者選任案 ③令和4年度事業報告(案) ④令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算(案)	・県社協や地域が抱える課題や重要事項等を審議し、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進を図った。 ・新規事業の実施による補正予算の編成や、役員の選任など、理事会・評議員会の審議や状況報告を速やかに行なった。 ・理事・評議員の意見を県社協の

<p>⑤令和5年度6月一般会計資金収支補正予算(案)</p> <p>⑥第184回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>①外部監査の実施結果</p> <p>②令和4年度会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>③令和4年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果</p> <p>④令和4年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等</p> <p>⑤生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【第225回】6/26</p> <p>1 議題</p> <p>①人事案件(会長、副会長及び常務理事の選定)</p> <p>②評議員選任結果</p> <p>【書面】8/23 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>①理事候補者選任案</p> <p>②評議員候補者選任案</p> <p>2 報告事項</p> <p>①理事の推薦団体における役職の変更</p> <p>②評議員の推薦団体における団体名の変更</p> <p>【第226回】10/24</p> <p>1 議題</p> <p>①令和5年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算算(案)</p> <p>②第185回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>①評議員・理事選任結果</p> <p>②印紙税の過滞税納付</p> <p>③令和5年度上半期主要事業執行状況報告</p> <p>④令和5年度上半期会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>⑤生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>⑥6月2日からの大雨等による被害に対する対応</p> <p>【書面】12/11 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>①職員給与規程の一部改正(案)</p> <p>②役員等報酬規程の一部改正(案)</p> <p>③評議員会の招集</p> <p>【第227回】3/7</p> <p>1 議題</p> <p>①人事案件(理事候補者選任)</p> <p>②諸規程改正</p> <p>③令和5年度3月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算</p> <p>④令和6年度事業計画</p>	<p>事業運営に反映していく。</p>
---	---------------------

<p>⑤令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算 ⑥第186回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>①静岡県総合社会福祉会館指定管理者の指定 ②令和6年能登半島地震への本会の対応 ③令和6年能登半島地震による生活福祉資金特例貸付の実施等 ④令和6年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>【第228回】3/22</p> <p>1 議題</p> <p>①人事案件（常務理事選定）</p> <p>(2)評議員会の開催</p> <p>【第184回】6/26</p> <p>1 議題</p> <p>①理事・監事選任 ②令和4年度事業報告(案) ③令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算(案) ④令和5年度6月一般会計資金収支補正予算(案)</p> <p>2 報告事項</p> <p>①外部監査の実施結果 ②令和4年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果 ③令和4年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等 ④生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>【書面】9/28 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>①理事の選任</p> <p>2 報告事項</p> <p>①評議員の選任 ②理事の推薦団体における役職の変更 ③評議員の推薦団体における団体名の変更</p> <p>【第185回】11/7</p> <p>1 議題</p> <p>①令和5年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算算(案)</p> <p>2 報告事項</p> <p>①評議員・理事選任結果 ②印紙税の過滞税納付 ③令和5年度上半期主要事業執行状況報告 ④令和5年度上半期会長及び常務理事の職務執行状況 ⑤生活福祉資金特例貸付の実施状況 ⑥6月2日から的大雨等による被害に対する対応</p> <p>【書面】12/26 みなし決議</p> <p>1 議題</p>	
--	--

<p>①役員等報酬規程の一部改正(案) 【第186回】 3/22</p> <p>1 議題 ①人事案件(理事候補者選任) ②令和5年度3月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算 ③令和6年度事業計画 ④令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算</p> <p>2 報告事項 ①静岡県総合社会福祉会館指定管理者の指定 ②諸規程改正 ③令和6年能登半島地震への本会の対応 ④令和6年能登半島地震による生活福祉資金特例貸付の実施等 ⑤令和6年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>(3) 評議員選定委員会の開催 【第1回】 6/15</p> <p>1 議題 ①評議員選任 5名 【書面】 9/8 みなし決議</p> <p>1 議題 ①評議員補充選任 3名</p> <p>(4) 監事監査 5/17・18</p>	
<p>6 政策提言の実施 静岡県に対する提言活動</p> <p>(1) 県知事との面談 8/22 出席者 知事・健康福祉部長他 会長・3副会長 内 容 地域福祉に関する提案</p> <p>(2) 県健康福祉部長との福祉団体との懇談会 9/4 出席者 県健康福祉部長、部理事、各局長 会長、各地域福祉団体(約30団体) 内 容 県内各社会福祉団体から、取組・課題を説明</p>	<p>・社会福祉に関する県への要望活動や、県幹部との懇談により、行政側の地域福祉に対するより一層の理解を求めた。</p>
<p>7 県社協事業継続計画、各業務班の活動マニュアル作成と随時見直し</p>	<p>・県社協事業継続計画に基づく各業務班の活動内容の明確化と随時の見直しを行っていく</p>
<p>8 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施 ・9/5、2/5 防災訓練に併せて実施</p>	<p>・災害時に備えた初動体制を確認できた</p>
<p>9 県総合社会福祉会館(シズウエル)の管理・運営</p> <p>(1) 第4期指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>ア 指定管理業務 ①会議室等の使用承認等 ②利用料金の設定及び収受 ③会館の維持管理</p>	<p>・指定管理者として、会館指定管理運営業務を適切に遂行し、入居団体や利用者が安心し、満足が得られる運営に努めた。</p> <p>・共同事業体として次期会館指定管理者の指定を県から受けた。</p>

<p>④会館入居団体、利用者の調整</p> <p>⑤来館者への食事提供に関する業務</p> <p>イ 利用実績（3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料会議室（10室のうち1室は、展示ギャラリー兼用） 2,639件利用、利用人数70,621人、 利用料金収入12,631,100円 ・その他の施設（7施設、32入居団体） 累計3,854件、132,820人利用 <p>ウ 接遇研修(5/19 13人、7/26 12人、8/16 6人) 計31人</p> <p>エ 普通救命研修(10/11) 12人 心肺蘇生法、自動体外式除細動器の取扱等</p> <p>オ フェスタシズウェル2023開催(8/19) 来館者678人</p> <p>カ 会館指定管理評価委員会 7/21 令和4年度の会館運営評価として、評価委員会委員から「評価点4.4概ね評価できる」との評価を受けた。</p> <p>(2) 共同事業体として次期会館指定管理者の指定(12/21) 指定管理者：静岡県社会福祉協議会・静岡ビル保善グループ 代表団体 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 指定管理期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日</p>	
<p>10 防災訓練の実施</p> <p>(1) 情報伝達訓練の実施 (4/21 県社協職員、会館入居団体職員)</p> <p>(2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施 第1回9/5実施(参加者160人) 第2回2/15実施(参加者148人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染法上の扱いが5類に変更されたことから、会館入居団体職員も含む実働避難を伴う会館防災訓練を実施。 ・本部隊各班長、各階隊班長に貸与したトランシーバーを用いて、本部との連絡報告訓練を実施。 ・救助袋操作訓練(第2回は降下訓練も実施)、階段避難器具(イーバックチェア)操作訓練、消火栓操作訓練、水消火器操作訓練、発電機操作訓練(第2回のみ)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の職員入替直後でも、情報伝達が適正に行えるか検証できた。 ・避難訓練実施により、入居団体職員の防災意識の高揚、避難経路の周知、防災設備操作方法の周知に努めた。
<p>11 任意監査の実施</p> <p>(1) 決算書類等に関する任意監査の実施(5/17、18)</p> <p>(2) 出納業務等に関する任意監査の実施(11/13、14)</p> <p>(3) 予算執行等に関する任意監査の実施(2/13、14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会計経理の適正な手続きを確認し、事業運営の透明性の確保を図った。 ・いずれも、重大な指摘事項はなかった。

推進事項2 経営基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、財政の効率化と改善を推進し、財政基盤の強化に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
1 新たな自主財源収入の検討・獲得 ・ 県共同募金会と連携した寄付金の活用 ・ 大口定期預金の開設による利息収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用の確保や自主財源事業の新たな展開のための財源確保を図った。 ・ 限られた財源の中で、新たな自主財源の捻出や有効活用することによる財源基盤の強化を進めた。 ・ 計画的な財政執行の促進に努めた。
2 各種基金の運用方法の継続的な見直し ・ 投資有価証券の入れ替えによる利息収入の確保	
3 経常経費の見直しによる支出削減 ・ 第6次活動推進計画に向けた事業の見直し ・ 事務機器等契約の見直し 印刷機の入替え（7月～10月） ・ 事業検証、決算分析の実施 決算に基づく財務状況の可視化に努め、理事会・評議員会に報告した ・ 支出削減の積極的取組 コピー機の入替えに際し、利用状況と電子帳簿保存法対応を意識した。これまでより安価なカウント料金の契約が可能となった ・ エコジョブ運動の実施による事務改善活動	
4 ICT活用による業務効率化 ・ 各種業務システム提供事業者との協議を通じた運用の改善（会計システム、労務管理等）	

推進事項3 広報力の強化

県内の地域共生づくりに向けた先駆的な取組みや地域特性を反映した取組みなどの最新情報を収集し、職員一人一人が高い意識を持ち、福祉情報を届ける客体を認識しながら、様々な媒体を活用した広報・情報提供の取組みを進めた。

また、本会の事業理念を積極的に広報し、本会の認知度を高めた。

事業の実績	効果・評価
1 福祉情報の発信強化するための取組 (1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 (2) 広報力強化を検討する場の設置 (3) 県社協パンフレットによる広報 (4) 機関紙「むすぶつなぐ」（社会福祉しずおか）の発行 ・ 年間8回（奇数月、4月、10月） ・ 各11,300部発行 (5) 実用性の高い情報発信の研修実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協ホームページが、地域共生社会づくりのポータルサイトとして機能している。 ・ ビジョン、ガイドラインに基づいた広報が行われている。 ・ 社会福祉協議会の認知度向上

実施目標2 「人財」育成を図ります

推進事項1 安心して働ける職場づくり

安心して長く働くことのできる職場づくりのため、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組を行った。

また、本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるよう働きやすい職場環境を整備した。

併せて、県社協職員として目指すべき職員像や具体的な行動目標について、役職、階層、雇用形態ごとに明文化し、知識や技術の向上に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
<p>1 働きやすい職場環境づくり</p> <p>(1) 長時間労働の是正や年次有給休暇・夏季休暇等の取得推進のための取組</p> <p>(2) テレワークなど、育児・介護等のライフスタイルに合わせた多様な働き方の推進</p> <p>(3) 職員福利厚生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断（年1回実施） ・人間ドック助成（35歳以上65歳未満） ・県派遣職員人間ドック事業 ・インフルエンザ予防接種助成 ・衛生委員会(3/15)（根拠：労働安全衛生法） ・ストレスチェックの実施(12月 面接指導希望者なし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のワークライフバランスの向上 ・仕事の効率化による生産性の向上 ・安定的な人材の確保 ・職員が安心して長く働ける職場環境の実現 ・職員のストレスの軽減 ・職員の健康保持
<p>2 計画的な職員採用と人材育成の仕組みづくり</p> <p>(1) 計画的な職員採用</p> <p>(2) 教育体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯研修課程の計画的な受講 ・スキルアップ研修制度の運用 <p>本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講してほしい内容を推奨研修として指定し、一人1研修の受講を推奨した。</p> <p>(3) 外部研修の受講管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修計画に基づく研修の受講を一覧管理 <p>(4) 専門研修（テーマ別）への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉協議会会計実務講座の受講（入門・初級 3名） <p>(5) 職員に対する資格取得奨励研修（希望選考制）</p> <p>(6) 外部からの依頼による講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉士大会（大分県） ・県西部市民後見人候補者養成講座 ・災害福祉支援ネットワーク全国会議（東京都） ・DWA T研修会（山形県・東京都ほか） ・全国ボランティアフォーラム（東京都） ・かながわ災害救援ボランティア支援自治体ネットワーク会議 ・DWA T中央センターブロック会議(全国5ブロックで報告) ・聖隷クリストファー大学ゲスト講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員の育成 ・人財育成の体系化 ・職員の知識や技術の向上 <p>・職員個々が目的を意識して受講する仕組みができた。</p>

<ul style="list-style-type: none">・三河ブロック生活支援コーディネーター研修（愛知県）・3者連携体制の構築に向けた研修会（岩手県）・高知県市町村社協災害研修・名東区生涯学習センター災害講座（愛知県）・成年後見制度利用促進に係わる意見交換会（茨城県）・地域共創フォーラム（和歌山県） ほか <p>(7) 業務マニュアル等の整備と継続的な見直し</p>	
--	--

事業報告の附属明細書

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

令和6年4月1日現在

1 役員、評議員 (単位：人)

理事 (定数16)	会長	1
	副会長	3
	常務理事	1
	その他理事	11
	計	16
監事 (定数3)		3
評議員 (定数26)		26

2 職員 (単位：人)

区分	令和4年度		令和5年度				令和6年度	
	年度末 現在	年度末 退任等	当初 採用	年度当 初現在	年度末 現在	年度末 退任等	当初 採用	年度当 初現在
職員	28 (2)	△2 (0)	+4 (0)	30 (2)	30 (1)	△2 (0)	+2 (0)	30 (1)
専任職員	10 (0)	0 (0)	+2 (0)	12 (0)	12 (0)	△1 (0)	0 (0)	11 (0)
嘱託員	4 (0)	△1 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	△2 (0)	+1 (0)	2 (0)
嘱託事務員	18 (0)	△6 (0)	+3 (0)	15 (0)	15 (0)	△3 (0)	+2 (0)	14 (0)
嘱託事務員 [再雇用]	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	+1 (0)	5 (0)
臨時事務員	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合計	66 (2)	△9 (0)	+9 (0)	66 (2)	66 (1)	△8 (0)	+6 (0)	64 (1)

※1 職員数は、本会が採用している実数（育児休業者を含み、町社協からの派遣職員除く）

※2 ()は産休・育休者数で内数

※3 区分の項目における「職員」は、プロパー職員と県派遣職員の合計

※4 令和5年度(令和6年4月1日付け)に職種転換した職員1人(専任職員→嘱託事務員)

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（令和6年3月末現在）

分類	種別	会員数	分類	種別	会員数	
生活保護施設	救護施設	7	障害者福祉施設	就労移行支援	3	
	宿所提供施設	0		就労継続支援	112	
	医療保護施設	1		障害者支援施設	69	
	計	8		共同生活援助	35	
児童福祉施設	児童発達支援事業所	8		計画相談支援	1	
	放課後等デイサービス	32		地域活動支援センター	9	
	保育所	304		福祉ホーム	2	
	へき地保育所	2		身体障害者福祉センター	3	
	小規模保育所	8		障害者就業・生活支援センター	1	
	認定こども園	165		計	235	
	事業所内保育所	2		婦人保護施設	婦人保護施設	1
	乳児院	4			計	1
	母子生活支援施設	3		社会福祉一般施設	無料低額宿泊所	2
	児童養護施設	12	無料低額診療施設		1	
	児童心理治療施設	1	計		3	
	児童自立支援施設	1	社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35	
	福祉型障害児入所支援	10		福祉関係団体等	95	
	医療型障害児入所支援	4		計	130	
	福祉型児童発達支援センター	11		介護保険等関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	193
	児童相談所	2	計		193	
	計	569	老健・療養病床	介護老人保健施設	60	
老人デイサービスセンター	205	介護療養型医療施設		12		
小規模多機能型居宅介護事業所	15	介護医養院		3		
複合型サービス事業所	6	病院		2		
特別養護老人ホーム	237	計		77		
養護老人ホーム	23	個人会員		民生委員・児童委員等	6,939	
軽費老人ホーム	37			計	6,939	
有料老人ホーム	32	賛助会員		首長・議長	44	
サービス付き高齢者向け住宅	2			団体	5	
老人福祉センター	15			企業	64	
老人介護支援センター	5			個人	25	
認知症高齢者グループホーム	62		計	138		
地域包括支援センター	8	合計	8,940			
計	647					

令和5年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

<地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	裾野市	特定非営利活動法人いろは	181,644	企業とかたろう I Nぬまづ 企業とかたろう I Nいとう
2	富士宮市	特定非営利活動法人障がい者 生活自立・就労支援スクール ふじのみや	200,000	子ども・若者・シニア寄り合い 日和
3	静岡市	NPO法人 p l a c e o f p e a c e	200,000	妊娠中から0歳児の子を持つ父 親応援プログラム
4	静岡市	さんばの玉手箱	185,635	産婆が伝える性の話
5	藤枝市	子育てサロンちろりん村	200,000	みんなの積み木、いっしょの時 間
6	静岡市	静岡福祉文化を考える会	200,000	「私にとって“ご近所”とは 中学生の意識と実態」検証事業
7	富士市	特定非営利活動法人 富士明るい社会づくりの会	144,000	傾聴ボランティア養成講座
8	三島市	コスモスの会	177,000	高齢者のフレイル予防と地域 の絆づくり
9	静岡市	特定非営利活動法人 実こころ	200,000	専門家による子育て相談会と 援助者交流会
10	島田市	NPO法人ららの家	92,000	みんなで作ろう！地元野菜を 使ったお弁当
11	伊豆市	特定非営利活動法人 土肥の暮らしを支え合う会 きずな	64,000	移送支援サービスの創出
12	御殿場市	御殿場HSC親子の会	54,155	不登校児童生徒の送迎および 訪問支援
13	静岡市	特定非営利活動法人 市民を守る犬の會静岡	200,000	人命救助犬等の育成を通じた 交流促進事業

14	静岡市	しずおかおちゃっこ会	66,280	おちゃっこ交流会 in 静岡
15	焼津市	ひとり親家庭支援スマイル	20,000	食糧支援でひとり親家族を応援しよう！
16	御殿場市	居場所 「ふれんどカフェ」	150,000	居場所「ふれんどカフェ」
17	浜松市	特定非営利活動法人 フリースクール空	90,500	不登校の子どもと親のための S S T (ソーシャルスキルトレーニング)
計			2,425,214	

<セルフヘルプ活動支援事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	静岡市	静岡・摂食障害の親の自助グループ「ぬくもり」	47,000	摂食障害への対応を考える連続学習会
計			47,000	

<しずおかの居場所助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	静岡市	ちょこっとタイム	115,607	ちょこっとタイム
2	伊豆の国市	特定非営利活動法人 伊豆学研究会	140,724	コミュニティカフェの運営と展開
3	函南町	ボランティア団体 「このゆびとまれ」	150,000	このゆびとまれ“子ども食堂”
4	西伊豆町	ちゃぶだいクラブ	150,000	こどもカフェ・ちゃぶだいクラブ
5	静岡市	タノシンメイ	150,000	楽しく！美味しく！集える場所に
6	島田市	おおつこども食堂	130,000	食事の提供及び人との繋がり の貧困をなくす
7	袋井市	Coffee 館・ちょうえい舎	132,000	美味しい楽しい温会

8	藤枝市	はなしカフェ下藪田	150,000	はなしカフェ下藪田事業
9	島田市	認定NPO法人 フリースペース・うえるびー	150,000	みんなの居場所としての看板 等作成と遊具の購入
10	磐田市	あいうえお+プロジェクト	150,000	腹ぺこ食堂+学びの森プラス 1
11	磐田市	特定非営利活動法人 磐田まちづくりネットワーク	135,790	子どもの居場所事業「フリース ペースのっぽ」
計			1,554,121	

<広域的な防災活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	西伊豆町	社会福祉法人西伊豆町社会福 祉協議会	200,000	松崎町・西伊豆町災害対応合 同研修「技術系ボランティア (床下・壁編)研修」
2	菊川市	社会福祉法人菊川市社会福祉 協議会	200,000	近隣市連携による大規模災害 被災時対応訓練と災害ボラン ティアコーディネーター要請 講座
3	吉田町	社会福祉法人吉田町社会福祉 協議会	200,000	志太榛原地区社協災害時広域 連携推進事業
計			600,000	

<令和5年度ふじのくに「地域共生」大賞 受賞一覧>

(単位：円)

NO	グループ・団体名	活動テーマ	受賞の内容	贈呈額
1	社団法人サバーソニック& アジロックフェスティバル	世代や地域の垣根超えて、楽しく取り組む海の環境活動	最優秀賞	100,000 映像作成
2	一般社団法人草薙カルテッド	支え合いが循環する誰もが関わりやすい草薙地区のまちづくり	優秀賞	100,000
3	江東地区社会福祉協議会	ふれあいいちばん江東のまちづくり	優秀賞	100,000
4	NPO 法人ゆめ・まち・ねっと	生きづらさを抱えた全ての人に寄り添い続ける地域の居場所づくり	優秀賞	100,000
計				400,000

令和5年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事業名	事業費	県費補助額
実施事業 県社協			円	円
	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	2,250,000	1,125,000
	小計		2,250,000	1,125,000
市町社協実施事業	菊川市	孤立を防ぎ、多様な相談支援＋活躍の場づくり事業	1,350,000	675,000
	裾野市	QRコード見守りシステム事業	300,000	150,000
	富士宮市	富士宮市生活困窮者自立支援事業	414,000	207,000
	函南町	地域における住民同士の交流および多様な活躍のしくみづくり	1,350,000	675,000
	藤枝市	「地域でともに生きる」みんなで支えるまちづくり事業	664,000	300,000
	長泉町	地域福祉活動再生事業～afterコロナの地域づくり～	1,350,000	675,000
	御殿場市	印野地区買い物支援グループ	150,000	75,000
	伊豆の国市	ひとり親世帯等支援事業	556,000	278,000
	伊豆市	地域ささえあい・みまもりあい推進事業	700,000	340,000
	裾野市	ひとり暮らし高齢者ふれあい事業	400,000	200,000
合計	小計		7,234,000	3,575,000
			9,484,000	4,700,000

令和5年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

(単位:件)

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果					
			助言	当事者間の 話し合い 解決推奨	紹介・伝達 専門機関等の	あつせん	の通知 (うち行政へ)	その他
高齢者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	9	5	1	2			1
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	15	8	4	3			
	③利用料	3	3					
	④被害・損害、権利侵害	10	7		1		1	2
	⑤その他(介護保険料、職員の処遇)	4	4					
	小計	41	27	5	6		1	3
障害者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	17	9	3	5			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	23	15	2	5			1
	③利用料	1	1					
	④被害・損害、権利侵害	13	11	1	1		1	
	⑤その他(事業報告の開示)	5	4					1
	小計	59	40	6	11		1	2
児童福祉	①サービス内容(職員の接遇)	6	2	2	2			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	6	4		1			1
	③利用料							
	④被害・損害、権利侵害	4	3	1				
	⑤その他	1	1					
	小計	17	10	3	3			1
その他	①サービス内容(職員の接遇)	1			1			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	2	1		1			
	③利用料							
	④被害・損害、権利侵害							
	⑤その他							
	小計	3	1		2			
合計	①サービス内容(職員の接遇)	33(+7)	16	6	10			1
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	46(+11)	28	6	10			2
	③利用料	4(+1)	4					
	④被害・損害、権利侵害	27(+5)	21	2	2		2	2
	⑤その他	10(-1)	9					1
	合計	120(+23)	78	14	22		2	6

(注) 苦情対応の分類は、(社福)全国社会福祉協議会の基準に準拠
合計欄の()は対前年増減件数

令和5年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概 要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成	(区分1) 第三者評価受審助成事業	福祉サービス第三者評価事業において、良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成する。	28	(千円) 4,682
2		(区分2) 地域との連携協働推進助成事業	地域との連携を図り、施設の有する資源を活用した地域課題の解決や、住民の福祉に対する理解を促進する取り組みに対して助成する。	8	1,157
3		(区分3) 職場内OJT助成事業	人材確保、定着のための法人内研修の実施に対して助成する。	13	1,925
4		(区分4) 法人間連携推進事業	複数法人間の連携による、住民の福祉に対する理解に向けた取り組みや、人材の育成を図る事業などに対して助成する。	6	934
5		(区分5) 法人の経営適正化のための助成事業	外部の専門家（公認会計士・社会保険労務士、社会福祉士等）の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成する。	9	1,468
6		(区分6) 防災減災対策・福祉避難所設置助成事業	福祉避難所に指定された事業所において、地域と連携した防災・減災の取り組みに対して助成する。	3	538
7		(区分7) 移動支援助成事業	地域のニーズに合わせた移動支援の取り組みに対して助成する。	4	844
8		(区分8) 法人後見立ち上げ支援事業	社会福祉法人の法人後見受任のための準備や実施体制整備に向けた研修に係る費用、法人後見実施初年度の活動報酬等を助成する。	1	300
9		(区分9) 人材確保・定着促進事業	施設・事業所の魅力を発信する採用ツールの開発（専用サイト、パンフレットの作成等）や職員のモチベーション向上・定着・成長につながる人事管理制度の整備の取組に対して助成する。	12	3,149
特	(特別助) 先駆的・研究事業に対する助成	地域福祉や職員の資質向上等を目的とした先駆的な取り組みで、実施に2年を要する事業又は2年継続することで効果や成果が発揮される事業に対して助成する。ただし、プレゼンテーションによって、その成果や効果が他の模範となるような事業であると認められるものに限る。	0	0	
小 計				84	14,997
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,320
合 計					17,317

令和5年度福祉サービス・社会的養護関係施設第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	(福) 信愛会	特別養護老人ホーム和みの郷	特別養護老人ホーム
2	(福) 富士会	富士保育園	保育所
3	(福) 済生会	特別養護老人ホーム小鹿苑	特別養護老人ホーム
4	(株) G・M・S ジームス	長田ちびっこ保育園	保育所
5	(福) ふたば会	風の森保育園	保育所
6	(福) 済生会	静岡市桜の園	障害者支援施設
7	(福) 春献美会	かけがわのぞみ保育園	保育所
8	(福) 春献美会	みなみさいごうのぞみ保育園	保育所

令和5年度民間社会福祉団体運営費助成事業

(単位:円)

No.	団 体 名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,417,297	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	2,030,870	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	5,232,330	3,160,000	〃
5	(一社)静岡県保育連合会	1,229,797	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,203,728	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	1,366,869	410,000	〃
8	静岡県保育士会	940,945	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	560,596	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	3,006,889	500,000	〃
11	(公社)静岡県ひとり親福祉連合会	5,686,667	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	450,416	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	11,422,452	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	374,742	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	5,880,057	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	145,504	110,000	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	9,423,997	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1,034,035	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	828,334	410,000	〃
	計	57,075,525	29,455,000	

令和5年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(民間団体育成強化事業/地域福祉促進事業)						
						(単位:円)
団体名	区分	事業名	継/単	事業額	補助額	
1	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	民	広報事業	継	6,849,450	847,000
		民	市町社会福祉協議会職員研修事業	継	1,649,980	428,000
		民	研修会(県社協団体助成)	継	315,000	315,000
		民	第59回関東ブロック都市区町村社協職員合同研究協議会	単	3,433,192	180,000
		小計			12,247,622	1,770,000
		地	市町社会福祉協議会地域福祉等支援事業	継	2,216,608	1,745,000
		地	地域共生社会推進に係る啓発事業	継	697,986	545,000
		小計			2,914,594	2,290,000
	合計			15,162,216	4,060,000	
	2	社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会	民	身体障害者福祉事業推進費	継	1,600,000
民			身体障害者相談活動事業費	継	1,125,000	900,000
民			身体障害者機能回復促進事業	継	3,450,000	2,760,000
民			身体障害者文化作品展開催事業	継	360,000	288,000
民			身体障害者交通安全教室開催事業	継	281,000	224,000
民			心臓障害者相談指導事業	継	180,000	144,000
民			静岡県身体障害者福祉大会開催事業	継	450,000	270,000
小計					7,446,000	6,186,000
地			身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	継	2,250,000	1,800,000
地			身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	継	900,000	720,000
地			身体障害者地域防災対策連携強化事業	継	1,125,000	900,000
地			障害者自立支援福祉機器普及促進事業	継	1,800,000	1,800,000
小計				6,075,000	5,220,000	
合計				13,521,000	11,406,000	
静岡県視覚障害者協会		民	町づくり情報提供事業	継	620,000	620,000
	民	視覚障害者社会参加促進事業	継	1,080,000	1,080,000	
	民	視覚障害者リーダー養成事業	継	250,000	150,000	
	民	日視連東海ブロック主管開催事業グランドソフトボール大会	単	600,000	180,000	
	小計			2,550,000	2,030,000	
	地	視覚障害者地域ふれあい促進事業	継	1,000,000	800,000	
	小計			1,000,000	800,000	
	合計			3,550,000	2,830,000	
静岡県聴覚障害者協会	民	聴覚障害者研修事業	継	400,000	228,000	
	民	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	継	1,053,000	828,000	
	民	聴覚障害者健康増進事業	継	580,000	400,000	
	民	聴力・言語障害者生活相談事業	継	400,000	320,000	
	民	東海聴覚障害者体育大会開催事業	単	2,215,000	180,000	
	小計			4,648,000	1,956,000	
	地	みみの日大会開催事業	継	1,100,000	600,000	
	地	手話活動研究事業	継	840,000	640,000	
	地	手話通訳者健康障害予防事業	継	1,450,000	1,450,000	

2		小計			3,390,000	2,690,000	
		合計			8,038,000	4,646,000	
	(3団体合計)	総合計			25,109,000	18,882,000	
3	静岡県民生委員児童委員協議会	民	単位民児協会長研修事業	継	1,886,136	1,440,000	
		民	主任児童委員研修事業	継	523,000	400,000	
		民	相談技法に関する研修事業	継	711,745	500,000	
		合計			3,120,881	2,340,000	
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	民	児童福祉施設スポーツ交流開催事業	継	926,000	390,000	
		民	施設利用者作品奨励事業	継	339,000	150,000	
		合計			1,265,000	540,000	
5	静岡県保育連合会	民	静岡県保育研究大会	継	3,194,704	900,000	
		民	新規採用予定職員研修会	継	3,093,875	675,000	
		合計			6,288,579	1,575,000	
6	静岡県里親連合会	民	里親促進事業	継	614,890	480,000	
		民	里親月間事業	継	510,000	500,000	
		民	里親賠償責任保険事業	継	526,060	520,000	
		民	里親研修事業	継	215,124	165,000	
			小計			1,866,074	1,665,000
		地	里親専門サポート事業	継	845,000	675,000	
		地	里親地区研修事業	継	530,000	420,000	
		小計			1,375,000	1,095,000	
	合計			3,241,074	2,760,000		
7	静岡県知的障害者福祉協会	民	職員研究集会等開催事業	継	2,118,755	860,000	
		民	職員研修所開設事業	継	1,162,231	550,000	
		民	口腔衛生指導等委託事業	継	375,000	300,000	
		民	東海地区施設職員研究協議会	単	688,186	180,000	
			小計			4,344,172	1,890,000
		地	障害者体力増進事業	継	1,004,707	800,000	
		地	障害者創作作品展示事業	継	1,742,284	1,060,000	
		小計			2,746,991	1,860,000	
	合計			7,091,163	3,750,000		
8	静岡県保育士会	民	保育実務研修事業	継	755,030	300,000	
		民	委託研究事業	継	1,920,490	355,000	
		民	実践研修事業	継	452,840	300,000	
		民	地域保育啓発事業	継	695,330	180,000	
		民	全国保育士会研究大会	単	2,209,325	120,000	
		合計			6,033,015	1,255,000	
9	静岡県肢体不自由児協会	民	療育図書等刊行事業	継	159,293	79,000	
		民	肢体不自由児社会参加理解啓発事業	継	386,336	309,000	
		民	肢体不自由児指導者講習会	継	844,947	452,000	
		民	70周年記念事業	単	769,585	180,000	
		合計			2,160,161	1,020,000	

10	一般社団法人 静岡県肢体不 自由児者父母 の会連合会	民	脳性マヒ児集団療育事業	継	1,886,845	1,210,000
		民	地域ケア育成事業指導事業	継	1,114,291	656,000
		民	肢体不自由児者集団療育事業	継	1,641,896	1,260,000
			東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会静岡大会	単	3,661,634	180,000
		小計			8,304,666	3,306,000
		地	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	継	1,694,100	1,200,000
		地	親と子の自立支援宿泊訓練事業	継	4,030,500	3,200,000
		小計			5,724,600	4,400,000
	合計				14,029,266	7,706,000
11	公益社団法人 静岡県ひとり 親寡婦福祉連 合会	民	ひとり親リーダー育成事業	継	461,800	369,440
		民	ひとり親家庭交流事業	継	221,489	132,000
		民	ひとり親家庭啓発事業	継	308,046	100,000
		小計			991,335	601,440
		地	親と子の心身健全育成推進事業	継	1,528,090	1,500,000
		地	地域ふれあい事業	継	1,111,594	800,000
		小計			2,639,684	2,300,000
	合計				3,631,019	2,901,440
12	静岡県筋ジス トロフィー協 会	民	集団検診・療育相談	継	400,590	320,000
		民	親子集団療育指導	継	1,143,163	914,530
		小計			1,543,753	1,234,530
		地	筋ジストロフィー介護者研修・訪問検診事業	継	1,680,062	1,344,000
		地	筋ジストロフィー相談窓口事業	継	1,000,013	800,000
		地	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	継	400,037	320,000
		小計			3,080,112	2,464,000
	合計				4,623,865	3,698,530
13	静岡県手をつ なぐ育成会	民	知的障害者相談員等研修事業	継	1,625,667	1,300,000
		民	心身障害児者地域活動促進事業	継	1,200,000	720,000
		民	重症心身障害児者療育指導事業	継	200,000	160,000
		小計			3,025,667	2,180,000
		地	知的障害者職業自立啓発事業	継	875,021	700,000
		地	地域交流・自立促進事業	継	3,187,500	2,550,000
		小計			4,062,521	3,250,000
	合計				7,088,188	5,430,000
14	静岡県自閉症 協会	民	保護者指導者研修会	継	342,056	272,249
		民	自閉症児者療育訓練	継	863,753	682,371
		小計			1,205,809	954,620
		地	自閉症児者野外ワークショップ	継	1,173,267	938,613
		地	支援者育成事業	継	2,091,559	1,648,824
		小計			3,264,826	2,587,437
	合計				4,470,635	3,542,057

15	一般社団法人 静岡県子ども 会連合会	民	育成研修事業	継	1,587,024	793,512
		民	子ども会活動振興研究事業	継	220,014	110,007
		民	子ども会活動作文募集及び表彰事業	継	682,000	682,000
		民	児童館構成員研修事業	継	76,364	38,182
		小計			2,565,402	1,623,701
		地	チャレンジ冒険・遊び事業	継	3,544,000	2,835,000
		小計			3,544,000	2,835,000
	合計			6,109,402	4,458,701	
16	静岡県聴覚障 害者親の会	民	生活（結婚・就労）相談事業	継	200,434	160,000
		民	役員研修事業	継	203,886	160,000
		民	聴覚障害理解啓発事業	継	200,250	160,000
		民	盲ろう者社会参加理解啓発事業	継	400,000	320,000
	合計			1,004,570	800,000	
17	一般財団法人 静岡県老人ク ラブ連合会	民	地域福祉人材養成事業	継	2,191,124	1,309,000
		民	活動推進相談員育成指導事業	継	1,790,735	1,071,000
		民	地域クラブ活性化推進事業	継	3,237,125	1,942,000
		小計			7,218,984	4,322,000
		地	シニアスポーツ普及推進事業	継	1,318,088	1,050,000
		地	クラブ解散・休会等再興支援事業	継	1,440,889	1,050,000
		小計			2,758,977	2,100,000
	合計			9,977,961	6,422,000	
18	静岡県ホームヘ ルパー連絡協議 会	民	ホームヘルパー研修事業	継	1,547,805	1,235,000
		民	サービス提供責任者研修事業	継	626,752	500,000
		合計			2,174,557	1,735,000
19	特定非営利活 動法人 静岡県作業所 連合会・わ	民	事業所職員研修事業	継	1,216,577	840,000
		小計			1,216,577	840,000
		地	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション	継	1,940,154	1,440,000
		地	障害者福祉普及啓発事業	継	1,937,186	1,540,000
		小計			3,877,340	2,980,000
	合計			5,093,917	3,820,000	
総合計					127,674,469	76,695,728

令和5年度研修評価表

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
組織力を高める 組織力強化	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(中部1)	35 36-33	6/22 7/11 7/12	3	シズウエル	<ul style="list-style-type: none"> 福祉職員の初任者が、サービス提供者・チームの一員としての基本を習得することを支援する。 自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれの段階に応じて求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援する。
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(中部2)	35 19-16	2/5 2/27 2/28	3	シズウエル	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(東部)	35 27-25	8/28 9/11 9/12	3	三島商工会議所	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(西部)	35 19-18	10/27 11/14 11/15	3	浜松市勤労会館	
	2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部1)	35 39-37	7/26 8/22 8/23	3	シズウエル	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉サービスの中心的担い手」としての役割を遂行するための基本を習得することを支援する。 これからのキャリアアップの方向を考え、自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部2)	35 24-24	2/20 3/5 3/6	3	シズウエル	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(東部)	35 16-16	10/19 11/6 11/7	3	三島商工会議所	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(西部)	35 16-14	4/27 5/17 5/18	3	浜松市福祉交流センター	
	3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(中部1)	35 14-13	4/19 5/10 5/11	3	シズウエル	<ul style="list-style-type: none"> チームリーダーとしての役割を遂行するための共通スキル・テクニック・マインドの基本を習得する。 これからのキャリアアップの方向を考え、自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(中部2)	35 25-25	12/6 1/16 1/17	3	シズウエル	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(東部)	35 14-13	6/12 7/5 7/6	3	三島商工会議所	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(西部)	35 19-19	9/20 10/11 10/12	3	浜松市勤労会館	
	4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	35 16-12	12/14 12/15	2	シズウエル	<ul style="list-style-type: none"> 管理者としての役割を遂行するための基本を習得する。 管理者等が自身のキャリアデザインを描くことを支援する。
	5	人が育つ組織づくり講座 ～ 主任 & 管理者のリーダーシップについて ～	120 88-81	5/15	1	ライブ配信	組織やチームの発展に貢献できるリーダーになるための心構えやスキル、実践的ポイントを学ぶ。
	6	セルフ・リーダーシップのススメ ～ 自分自身を良い方向に導こう! ～	120 112-109	9/25	1	ライブ配信	信頼され、希望を与え、安心感を人の心にもたらすことができる職業人、さらには利用者本位サービスを推進するプロになるための具体的方法を学ぶ。
	7	イマドキ世代の育て方研修	90 51-50	5/29	1	ライブ配信	いまだきの若手世代が育ってきた時代背景や、どのようなことに影響を受けて自己形成されてきたのかを知ることで世代間の相互理解をし、適切で効果的な指導方法を身につける。
	8	ファシリテーション講座【A日程】 ～ 話し合いの進め方を学び、 「自分事」の会議にしよう ～	60 64-58	5/31	1	シズウエル	話し合いを進めるプロから、「会議を」他人事」から「自分事」に変える」と「相互作用を生み出す」ためのファシリテーションを学ぶ。
		ファシリテーション講座【B日程】 ～ 話し合いの進め方を学び、 「自分事」の会議にしよう ～	60 36-29	11/29	1	シズウエル	
	9	【新規研修】 福祉職員基礎セミナー ～ はじめて福祉の仕事に就くあなたへ ～	90 25-23	7/28	1	ライブ配信	福祉の基本的な考え方や姿勢、求められる役割等について、福祉の仕事の基本を一から学ぶ。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭氏 (福)誠信会 障害者支援施設 富士本学園 次長 小林拓氏 (福)天竜厚生会 総務部総務課 森川正志氏	初任者 ※新卒入職後3年以内の職員 ※他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員	1,300 テキスト代等	19 73.1%	6 23.1%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
(福)天竜厚生会 総務部総務課 森川正志氏 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 落合克能氏 (福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭氏			14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭氏 (福)誠信会 障害者支援施設 富士本学園 次長 小林拓氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男氏			18 81.8%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男氏 (福)天竜厚生会 総務部総務課 森川正志氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏			16 88.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
障がい者支援施設 やまばと希望寮 生活支援センターやまばと 施設長 大畑彰弘氏 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 落合克能氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏	中堅職員 ※担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 ※入職後概ね3~5年の節目の職員	1,300 テキスト代等	31 88.6%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 落合克能氏 障がい者支援施設 やまばと希望寮 生活支援センターやまばと 施設長 大畑彰弘氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏			15 68.2%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)炉暖会 居宅介護支援事業所 炉暖の郷 主任介護支援専門員 土屋博昭氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 施設長 鶴田安弘氏			14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(一社)静岡市清水医師会 総合相談部 在宅医療介護相談室 安藤千晶氏 (福)天竜厚生会 総務部総務課 主任 森川正志氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏			12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 介護主任 中邑愛氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏	チームリーダー ※現に主任、係長等のチームリーダーの役割を担っている職員 ※近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される職員	1,300 テキスト代等	8 61.5%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治氏 (福)ほなみ会 特別養護老人ホーム 第二南風 施設長 川島理恵氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 施設長 鶴田安弘氏			22 95.7%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏			10 76.9%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	
ふるい後見事務所 所長 認定社会福祉士 古井慶治氏 (福)ほなみ会 特別養護老人ホーム 第二南風 施設長 川島理恵氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美氏			14 82.4%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
障がい者支援施設 やまばと希望寮 生活支援センターやまばと 施設長 大畑彰弘氏 (福)桂 カリタス21 居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男氏	社会福祉施設・介護保険事業所等の管理者等 ※現に管理者の役割を担っている職員 ※近い将来、管理者等の役割を担うことが想定される指導的立場の職員	1,300 テキスト代等	11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田則夫氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	5,000 (3,000)	51 85.0%	8 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	
日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 久田則夫氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	61 81.3%	13 17.3%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)インソース 高橋百代氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	30 76.9%	8 20.5%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	
(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木まり子氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に中堅職員以上の方	6,000 (4,000)	52 92.9%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	
			27 93.1%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡福祉大学 社会福祉学部健康福祉学科 教授 木下寿恵氏	社会福祉施設・介護保険事業所・保育所等ではじめて福祉の仕事に就いた方等	5,000 (3,000)	12 52.2%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 26.1%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める	組織力強化	10 コーチング研修 ～能力発揮サポートスキルを身につけよう～	60 67-58	6/6	1	シズウエル	コーチングに対する意識を深め、後輩や部下の自発的意欲を引き出すための指導法を習得する。
		11 【新規研修】 介護職が「働き続けたい」と思える職場の つくり方 ～介護現場の心理的安全性～	60 67-61	10/20	1	ライブ配信	人材定着に不可欠な風通しのよい(心理的安全性の高い)環境づくりを、職場内研修を通して学ぶ。
		12 スーパービジョン実践講座 ～演習で学ぶ!「人材育成・活用・定着」の ためのSV入門～	60 23-23	9/20	1	シズウエル	福祉専門職を養成する「スーパービジョン」を理論と体験型演習で学ぶ。
		13 【新規研修】 新年度にむけた効果的な職場内研修の企画・ 実施 ～今度はやりきる!職員が主役の研修会～	40 35-34	12/6	1	シズウエル	人が辞めずに育つ職場を作るための“職場内研修”とは何かを学び、新年度の研修体制を見つめ直す。
		14 【新規研修】 大人の発達障害・グレーゾーンの理解 ～全ての人がいきいき働ける職場づくり～	90 17-16	2/15	1	ライブ配信	様々な発達障害の特性・対応策についての知識を学び、働きづらさを抱える職員との適切なコミュニケーションの取り方を学ぶ。
		【新規研修】 大人の発達障害・グレーゾーンの理解 ～全ての人がいきいき働ける職場づくり～	90 83-82	2/29～3/14	-	録画配信	
		15 市町社協トップセミナー (会長会議)	50 69-69	2/20	1	グランシップ	環境変化下の社協経営と管理者の役割を確認する。
		118 市町社協 新任職員研修	50 57-55	5/18 5/19	2	静岡市民文化会館	社協職員としての心構え、福祉サービスの実践、組織活動に必要な知識等を習得する。
		119 市町社協 ミドルマネジメント (中間管理職)研修会	50 25-25	7/28	1	もくせい会館	中間管理職として求められるコーチング能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力等を習得する。
		16 社会福祉法人 経営セミナー 【前期】 (県社会福祉法人経営者協議会)	100 54-52	8/8	1	静岡商工会議所	社会福祉法人の健全な経営や施設経営の基盤強化を図る。
		17 社会福祉法人 経営セミナー 【後期】 (県社会福祉法人経営者協議会)	100 56-52	3/8	1	静岡商工会議所	社会福祉法人の今日的課題と各種制度改革への対応について学ぶ。
		18 社会福祉法人 監事監査研修会	- 269-269	4/21～5/15	-	録画配信	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ。
	19 社会福祉法人 運営管理研修会	- 71-71	12/20～ 1/26	-	録画配信	福祉・介護施設の運営に必要な情報や制度動向に関する知識について情報提供する。	
	20 新設社会福祉法人 運営管理説明会	-	中止	-	シズウエル	社会福祉法人の会計処理及び指導監査、各種運営支援制度、福利厚生等について情報提供する。	
	運営・労務・人事	21 社会福祉施設 人事・労務管理研修会	- 86-86	9/25～ 10/31	-	録画配信	社会福祉施設における人事、労務管理の具体的なノウハウを学ぶ。
		22 福祉・介護人材確保実践セミナー① 「福祉施設の採用力向上研修」	80 94-88	6/8	1	シズウエル	福祉・介護人材の確保・定着に向けた新たな知見を深める。
		福祉・介護人材確保実践セミナー② 「福祉施設の人材定着研修」	80 121-101	7/21	1	もくせい会館	福祉・介護人材の確保・定着に向けた新たな知見を深める。
		福祉・介護人材確保実践セミナー③ 「使いやすい助成金活用術セミナー」	100 154-100	9/5	1	ライブ配信	福祉施設での採用・育成・定着に活用できる使いやすい助成金活用術
		23 社会福祉法人 簿記入門講座	- 82-82	6/13～6/29	-	録画配信	複式簿記の基本的仕組みや初歩的な仕分けの理解を深める。
		24 社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	- 85-85	7/13～7/31	-	録画配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、伝票起票に関する基本的知識を学ぶ。
	財務・経理	23 社会福祉法人 簿記入門講座	- 82-82	6/13～6/29	-	録画配信	複式簿記の基本的仕組みや初歩的な仕分けの理解を深める。
		24 社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	- 85-85	7/13～7/31	-	録画配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、伝票起票に関する基本的知識を学ぶ。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
コーテングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	51 89.5%	6 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
摂南大学 看護学部 教授 富永真己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	32 65.3%	15 30.6%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県立大学 短期大学部社会福祉学科 教授 鈴木俊文 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	21 91.3%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する主に研修企画に携わる方等	6,000 (4,000)	28 82.4%	6 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡市発達障害者支援センター きらり 主幹支援員 稲葉俊彦 氏 静岡市発達障害者支援センター きらり 副主任支援員 福田 善通 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 76.9%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
			14 46.7%	15 50.0%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	
三宅由佳税理士事務所 代表 三宅由佳 氏	(市町社協) 会長・役員・事務局長等	無料	20 48.8%	20 48.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	地域福祉課
愛知東邦大学 教授 西尾敦史 氏 コーテングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏 (特非)日本ファシリテーション協会 フェロワー 鈴木まり子 氏 災害対応NPO MFP 松山文紀 氏	(市町社協) 当該年度採用職員及び未受講の方	無料	39 83.0%	8 17.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(同)介護の未来 代表 阿部充宏 氏	(市町社協) 中間管理職員	無料	20 80.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)同愛会 理事長 菊地月香 氏	社会福祉法人の役職員等	5,000 (無料)	8 22.2%	19 52.8%	9 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	経営支援課
(独法)福祉医療機構経営サポートセンター シニアリサーチャー 千葉正展 氏	社会福祉法人の役職員等	5,000 (無料)	13 25.0%	28 53.8%	9 17.3%	2 3.8%	0 0.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏 他	社会福祉法人の監事・役職員等	10,000 (5,000)	66 24.5%	37 13.8%	3 1.1%	0 0.0%	163 60.6%	
(福)誠信会 障害者支援施設 富士本学園 副主任 熊谷拓也 氏 (福)珀寿会 特別養護老人ホーム 高部陽光園 施設長 梅原道夫 氏 (福)デンマーク牧場福祉会 特別養護老人ホーム ディアコニア 施設長 梅田和寛 氏	社会福祉法人の役職員	5,000 (3,000)	7 9.9%	7 9.9%	0 0.0%	0 0.0%	57 80.3%	
-	新設社会福祉法人関係者等	テキスト代等	-	-	-	-	-	人材課
赤堀社会保険労務士事務所 社会保険労務士 赤堀久士 氏	社会福祉施設の役職員	5,000 (3,000)	18 20.9%	5 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	63 73.3%	
(一社)FACE to Fukushima 岩本恭典 氏・上杉きよみ 氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	36 40.9%	15 17.0%	2 2.3%	0 0.0%	35 39.8%	
(同)介護の未来 阿部充宏 氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	72 73.5%	23 23.5%	1 1.0%	0 0.0%	2 2.0%	経営支援課
ふくしえん社労士事務所 後藤功太 氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	68 68.0%	31 31.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	新任会計実務担当者等	10,000 (5,000)	26 31.7%	10 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	46 56.1%	経営支援課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 (簿記入門修了程度)	15,000 (10,000)	21 24.7%	13 15.3%	0 0.0%	0 0.0%	51 60.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容	
組織力を高める	財務・経理	25	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	- 117-117	8/16~9/6	-	録画配信	社会福祉法人の会計制度や施設・事業種別に即した、日々の応用的な会計処理を、実戦的事例を通じ、個別具体的に学ぶ。
		26	社会福祉法人 予算管理講座	- 100-100	9/15~10/1	-	録画配信	社会福祉法人の制度上の予算や予算管理に関する知識、予算積算方法等について学ぶ。
		27	社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	- 91-91	10/13~ 10/29	-	録画配信	会計実務に関する特定テーマを必要に応じてとりあげ、会計実務に必要な専門的知識を深める。
		28	社会福祉法人・施設事務職員 税務実務講座（消費税を除く）	- 77-77	11/17~ 12/3	-	録画配信	社会福祉法人の特性に応じた税務に必要な、実務的な税務知識を学ぶ。 ※消費税と所得税等を隔年で実施
		29	社会福祉法人 財務管理講座	- 100-100	12/22~ 1/14	-	録画配信	経営状況を把握するための手法等、財務管理の基礎的知識を学ぶ。
		30	社会福祉法人 決算実務講座	- 152-152	2/16~3/17	-	録画配信	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要な知識を学ぶ。
		31	市町社協 会計実務研修会	- 35-35	7月	-	録画配信	社会福祉協議会における会計実務を学ぶ。
		32	市町社協 決算実務研修会	- 35-35	2月	-	録画配信	社会福祉協議会における決算実務処理等を学ぶ。
組織力を高める			2025 2825-2606					
専門技術力を身につける	利用者の日常生活支援	33	褥瘡予防の基本 ～ 体圧分散管理とポジショニングを学ぼう～	50 51-49	5/12	1	シズウエル	介護職が実践に活かせるベッド上、坐位でのポジショニング、適切な除圧方法等について学ぶ。
		34	現場職員が知っておきたい褥瘡・皮膚ケア講座	90 55-51	9/15	1	ライブ配信	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚観察やケアについて知識と技術を習得する。
		35	子どものための心と体を癒すタッチケア	90 25-25	6/1~6/30	-	録画配信	子どもとの愛着を育むスキンシップから、子どもの気持ちに寄り添う保育者として大切にすべきことを学ぶ。
		36	高齢者・障害者施設のための感染症講座 (初級編)	90 18-16	5/24	1	ライブ配信	主に高齢者や障がいのある方を支援する職員に必要な感染症の基礎的知識と標準・経路別予防策、個人防護具の着脱方法、感染発生時の対応の仕方などを学ぶ。
			高齢者・障害者施設のための感染症講座 (初級編)	90 51-48	6/7~6/21	-	録画配信	
		37	高齢者・障害者施設のための感染症講座 (中級編)	90 25-23	8/18	1	ライブ配信	主に高齢者や障がいのある方を支援する職員に必要な感染症の実践的知識と予防方法の習得、発生時の対応の仕方を学ぶ。
			高齢者・障害者施設のための感染症講座 (中級編)	90 64-61	9/1~9/15	-	録画配信	
		38	子どもがいる現場のための感染症講座	90 17-17	6/23	1	ライブ配信	児童によく見られる感染症の知識と予防方法、家庭や医療機関との連携等について学ぶ。
			子どもがいる現場のための感染症講座	90 34-34	7/7~7/21	-	録画配信	
		39	おむつを外すための排泄ケアセミナー ～ 排泄自立ケアで人間らしさを取り戻す～	40 23-23	7/7	1	県産業経済会館	「人の体(排泄のメカニズム)」について正しく理解を深め、おむつに頼らないケアや尿失禁改善方法について学ぶ。
40	快適なおむつの使い方講座	60 26-25	9/26	1	シズウエル	利用者のQOL・生活機能の向上のために、介護現場等におけるおむつ装着に関する知識や技術を習得する。		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 (経理基礎修了程度)	15,000 (10,000)	9 7.7%	12 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	96 82.1%	経営 支援課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	予算管理担当者等	10,000 (5,000)	13 13.0%	7 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	80 80.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	10,000 (5,000)	12 13.2%	6 6.6%	2 2.2%	0 0.0%	71 78.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	税務実務担当者等	10,000 (5,000)	18 23.4%	12 15.6%	1 1.3%	0 0.0%	46 59.7%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	社会福祉法人の役員等	10,000 (5,000)	10 10.0%	8 8.0%	1 1.0%	0 0.0%	81 81.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	15,000 (10,000)	20 12.7%	8 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	130 82.3%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	(市町社協) 総務・会計担当者	無料	-	-	-	-	-	地域 福祉課
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	(市町社協) 総務・会計責任者	無料	-	-	-	-	-	
			1089 44.3%	393 16.0%	36 1.5%	2 0.1%	937 38.1%	
島田市立総合医療センター 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア特定認定看護師 奈木志津子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方等	8,000 (6,000)	40 81.6%	7 14.3%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	研 修 課
島田市立総合医療センター 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア特定認定看護師 奈木志津子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	32 80.0%	8 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 山口創 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務す る方	5,000 (3,000)	14 82.4%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する主に高齢者や障がい者 へのケアに携わる方	5,000 (3,000)	7 63.6%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			27 96.4%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方で本講座の「初級編」 を受講した方などの「標準予防策」 について基礎知識のある方	5,000 (3,000)	11 57.9%	8 42.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			24 80.0%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務す る方	5,000 (3,000)	11 78.6%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			18 66.7%	9 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
順天堂大学 保健看護学部 先任准教授 藤尾祐子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	20 87.0%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
花王プロフェッショナル・サービス(株)	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	16 66.7%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
利用者 の日常 生活 支援	41	「動き出しは本人から」の介護実践 ～ 利用者の思いに近づくと、力を活かす ～	90 51-50	7/20	1	ライブ配信	利用者主体の関りとは何か、それがいかに大切で効果のあるものかについて、具体的な実践方法を学ぶ。	
	42	フットケア講座 ～ 足は全身の情報の宝庫 ～	50 35-34	9/27	1	シズウエル	「たかが爪、されど爪」足の指や爪のケアは運動機能の低下予防や健康増進にも役立つ。足のケアの大切さを認識し、足の病気やトラブルの対処方法等、フットケアの基礎知識を習得する。	
	43	現場職員のための薬の基礎知識	90 44-41	9/28	1	ライブ配信	薬の正しい使い方、服薬介助の手順、症状に合った薬の使い方、副作用と観察力など、これだけは知っておきたい薬の基礎について学ぶ。	
	44	介護現場でのターミナルケア ～ 生き抜く人を見届ける ～	90 19-16	10/4	1	ライブ配信	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ。	
		介護現場でのターミナルケア ～ 生き抜く人を見届ける ～	90 62-61	10/25～ 11/7	-	録画配信		
	45	意思決定支援セミナー ～ その人らしい暮らしを支援するために ～	60 41-40	11/17	1	ライブ配信	意思決定支援に関するガイドラインの基本的な視点や活用方法、「本人を大切にする支援」について支援現場の実例からポイントを学ぶ。	
	46	【新規研修】 保育現場での保護者との コミュニケーション講座	90 45-40	2/22	1	ライブ配信	保育士が保護者と信頼関係を築くために、必要なコミュニケーションの取り方を学ぶ。	
	47	急変を見逃さないための救急講座	90 25-22	1/26	1	ライブ配信	施設利用者の急変を見逃さず、救急対応するために必要な基本的な医療の知識と技術を習得する。	
		急変を見逃さないための救急講座	90 45-45	2/9～2/23	-	録画配信		
	48	介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	90 21-21	2/26	1	ライブ配信	高齢者の特徴を理解し、食事・排泄・入浴・睡眠などそれぞれの生活場面に応じた利用者の観察ポイントや緊急時の対策を学ぶ。	
		介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	90 30-30	3/11～3/24	-	録画配信		
	49	精神疾患の理解 ～ 基礎知識を学ぶ ～	90 69-65	1/19	1	ライブ配信	こころの病気の基礎的知識と対処方法支援を学ぶ。	
	50	子どもの発達障害支援セミナー	90 14-14	3/8～3/24	-	録画配信	発達障害支援が必要な子どもの発達段階に応じた支援を学ぶ。	
	51	口腔のケア講座	90 46-45	1/31	1	ライブ配信	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術を習得する。	
	52	成年後見制度 市町長申立研修	200 164-164	6/6 6/22	2	ライブ配信/録画配信	成年後見制度 市町長申立に係る実務を学ぶ。	
	53	福祉職員のための 成年後見制度理解促進研修会 (基礎知識編・実務編)	各150 188-188	10/5 12/14	2	ライブ配信/録画配信	・成年後見制度の基礎知識を学ぶ。 ・成年後見制度の具体例等を学ぶ。	
	認知 症ケ ア	54	直伝！現役OT安藤祐介の 認知症がある利用者へ心地よい介護技術講座	50 31-27	4/28	1	シズウエル	お金や時間や人手を掛けずに現場ですぐに取り組める、認知症がある利用者への心地よい「関わり方」「動きの手伝い方」の工夫を学ぶ。
		55	認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー	90 27-27	6/7	1	ライブ配信	"認知症ケア"の基本的考え方を整理し、問題のあるケアに気づき、生活支援の場における専門職としての考え方や心構えについて学ぶ。
			認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー	90 55-54	6/28～7/12	-	録画配信	
		56	認知症の人とのコミュニケーションと レク作りのポイント講座	90 56-55	12/20	1	ライブ配信	レクリエーションの役割と可能性を理解し、効率的で楽しいレクの作り方と、介護者も利用者も笑顔になるコミュニケーション術を習得する。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 教授 大堀具視 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	30 90.9%	2 6.1%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
SANUA 湯河原接骨院グループ 代表 青柳博 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	34 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ドレッドノート(株) 薬剤師・介護支援専門員 藤澤節子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	16 47.1%	17 50.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	介護保険施設・事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	
			20 71.4%	8 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	28 82.4%	6 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合同会社ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ 保育コミュニケーション協会 代表 松原美里 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	26 74.3%	8 22.9%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会総合病院・救命病棟 クリティカルケア特定認定看護師 池田朋美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	8 47.1%	8 47.1%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	
			9 52.9%	6 35.3%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	
(公社)静岡県看護協会 訪問看護ステーションいわた 所長 長瀬由美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(公社)公益財団法人 復康会 社会復帰事業部 澤野文彦 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	41 73.2%	15 26.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
浜松市発達相談支援センター ルビロ 心理相談員 柴野愛 氏	保育所・児童福祉施設・社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	
デンタルサポート藍 代表 認定歯科衛生士 小宮山ひろみ 氏 さくらば歯科医院 認定歯科衛生士 中央医療健康大学校 非常勤講師 佐藤美紀 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	28 82.4%	6 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	市町行政担当職員、 地域包括支援センター職員、 市町村協職員	無料	107 65.2%	43 26.2%	0 0.0%	0 0.0%	14 8.5%	権利擁護課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (一社)日本意思決定支援ネットワーク 副代表 水島俊彦 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方、 市町行政担当職員、市町村協職員	無料	69 36.7%	27 14.5%	8 4.2%	0 0.0%	84 44.6%	
介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属 作業療法士 安藤祐介 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			19 76.0%	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(医)中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾渡順子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	30 81.1%	7 18.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
専門技術力を身につける	57	三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座	90 16-15	2/1	1	ライブ配信	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える。	
		三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座	90 48-46	2/22~3/6	-	録画配信		
	58	【新規開催】 認知症の看護・介護に役立つ パーソン・センタード・ケア講座	90 17-17	3/12	1	ライブ配信	認知症の人に寄り添い、信頼し合うという相互関係のもとで、その人の個性や人生に焦点をあてるパーソン・センタード・ケアを学ぶ。	
	59	認知症介護実践研修(実践者研修) (三島)	60 58-58	6/1,15,29 7/12 8/30	5	三島商工会議所	施設・在宅に関わらず認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向上を図る対応や、技術を修得する。(全5日+実習)	
		認知症介護実践研修(実践者研修) (富士)	60 58-58	7/25 8/7,21 9/6 10/25	5	ふじさんめっせ		
		認知症介護実践研修(実践者研修) (静岡)	60 56-56	6/21 7/4,21 8/3 9/22	5	シズウエル		
		認知症介護実践研修(実践者研修) (掛川)	60 60-60	7/26 8/9,24 9/8 10/26	5	掛川市生涯学習センター		
		認知症介護実践研修(実践者研修) (浜松)	60 59-59	6/2,14,30 7/13 8/31	5	浜松市福祉交流センター		
	60	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	50 39-39	11/10,22 12/5,18 1/11 2/29	6	シズウエル	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。(全6日+実習)	
	61	認知症対応型サービス事業 管理者研修(西部)	60 41-40	2/21,22	2	浜松市福祉交流センター	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政) 認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所(看護を含む)、認知症対応型共同生活介護事業所の事業管理者に求められる「指定基準等の正しい理解」や「職員の労務管理」、「適切なサービス提供のあり方」等の知識・技術を学ぶ。	
		認知症対応型サービス事業 管理者研修(東部)	60 29-25	3/21,22	2	三島商工会議所		
		認知症対応型サービス事業 管理者研修(中部)	60 66-61	3/7,8	2	シズウエル		
	62	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(中部)	35 46-44	1/23,24	2	シズウエル	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政) 小規模多機能型居宅介護等を行う事業所の計画作成担当者が、当該サービスに係る「基準の正しい理解」や「適切なサービスの提供」、「利用計画作成演習」などの必要な知識及び技術を学ぶ。	
		小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(西部)	35 17-17	2/8,9	2	浜松市福祉交流センター		
	63	認知症対応型サービス事業 開設者研修	45 10-10	11/24	1	シズウエル	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政) 事業所を運営していく上で必要な「認知症高齢者の基本的な理解」や「認知症高齢者ケアのあり方」、「適切なサービス提供のあり方」等の必要な知識を学ぶ。	
	リスク管理	64	身体拘束は廃止できます ～ 具体的実践例とその取り組み ～	90 23-22	8/2	1	ライブ配信	身体拘束について理解を深め、責任の所在やチームケアのあり方を学ぶ。
			身体拘束は廃止できます ～ 具体的実践例とその取り組み ～	90 86-79	8/24~9/7	-	録画配信	
		65	介護施設・事業所における 高齢者虐待の予防と対応	60 27-26	12/13	1	ライブ配信	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、施設管理者等に必要な知識を習得する。
			介護施設・事業所における 高齢者虐待の予防と対応	60 52-52	1/12~1/26	-	録画配信	
	66	子どもがいる現場の リスクマネジメント講座	60 55-52	2/6	1	ライブ配信	保育・支援の質の向上につながる重要な実践であるリスクマネジメントについて、効果的な事故予防や危機対応の取り組みについて学ぶ。	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
生活とリハビリ研究所 代表 三好春樹 氏	社会福祉施設等に勤務する方	6,000 (4,000)	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			25 96.2%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
浜松医科大学 医学部看護学科臨床看護学講座 教授 鈴木みずえ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	7 63.6%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	高齢者介護の実務経験が2年以上の方	41,000	42 75.0%	14 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			45 83.3%	9 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			34 65.4%	16 30.8%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	
			38 66.7%	18 31.6%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	
			43 76.8%	13 23.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	高齢者介護の実務経験が5年以上で、認知症介護実践者研修修了後1年経過している者	68,000	21 58.3%	14 38.9%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	認知症対応型通所介護事業所・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の管理者であって認知症介護実践者研修修了者	4,500	27 71.1%	11 28.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			19 73.1%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			45 76.3%	14 23.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践者研修修了者	6,000	38 82.6%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			14 82.4%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	5,000	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	介護保険施設・事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 76.9%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			23 79.3%	5 17.2%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	
日本虐待防止研究・研修センター 代表 梶川義人 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等の管理者等	5,000 (3,000)	20 87.0%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			21 61.8%	13 38.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(福)八越会 ちどり保育園 園長 吉岡敦志 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	32 84.2%	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容	
専門技術力を身につける	リスク管理	67	高齢者施設のリスクマネジメント講座	90 36-35	2/16	1	ライブ配信	実際に起こった介護現場での事故やヒヤリハットを基に「防ごうべき事故とは何か」「起こった事故にはどう対応すべきなのか」等を学ぶ。
		68	災害時のリスクマネジメント講座	90 50-47	2/16	1	ライブ配信	大規模災害対策と防犯体制強化対策を、介護と福祉のリスクコンサルタントによる実践的な講義から学ぶ。
		69	高齢者の転倒予防講座	60 61-56	10/18	1	シズウエル	高齢者の転倒のメカニズム・傾向・対策等、必要な知識・技術を習得する。
		70	【新規研修】 書くべきことがよくわかる！ 介護記録の書き方講座	90 55-54	11/8	1	ライブ配信	「介護記録」はより良いサービス提供を行うために、とても重要な役割を持っている。記録の目的や書き方の基本等を学び、「何を書けばいいかわからない」からの脱却を目指す。
		71	福祉サービス苦情解決研修会	150 122-114	11/6 11/17 12/1	3	沼津商工会議所 シズウエル アクトシティ	福祉サービスを提供する施設等における利用者からの苦情対応及び解決能力の向上にむけたスキルを身につけるとともに、日頃からの苦情の未然防止に向けた取組を学ぶ。
	職種別研修	72	全体研修会 (県ホームヘルパー連絡協議会)	- 35-35	10/20~ 11/12	-	録画配信	講義「熊本地震を体験した私から伝えたいこと」
		73	ホームヘルパー一般研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	40 15-17	8/24	1	シズウエル	講義「障がいの特性の理解と関わり方について」 グループワーク「訪問介護の現場で対応に苦慮していることなどについて」
			” ②	- 34-34	9/11~10/1	-	録画配信	講義1「ホスピタリティについて理解する」 講義2「介護現場でのNGワード」
			” ③	- 44-44	12/1~ 12/24	-	録画配信	講義と実技「訪問介護の感染対策 ～基本を知って介護の現場で実践しよう～」
			” ④	- 24-24	1/5~1/28	-	録画配信	講義1「精神障がいの特性の理解と関わり方」 講義2「当事者の声を聞いて、精神障がい者を理解しよう」
		74	サービス提供責任者研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	- 57-57	7/3~7/23	-	録画配信	講義「在宅系(訪問)事業所における、事業継続計画(BCP)作成のポイント ～まず「は、何から取り組むべきか？優先順位を考える～」
			” ②	- 36-36	8/7~8/27	-	録画配信	講義「訪問介護サービスの運営基準の理解と運営上の留意点について」
		75	肢体不自由児療育指導者講習①-1 (県肢体不自由児協会)	30 13-13	6/23	1	シズウエル	肢体不自由児の総論(入門講座)について学ぶ。
			” ①-2	30 16-16	6/24	1	静岡済生会療育センター 令和	訓練の基本(実技を含む。)について学ぶ。
		76	肢体不自由児療育指導者講習②-1 (県肢体不自由児協会)	30 16-16	7/28	1	シズウエル	脳性麻痺の概論について学ぶ。
			” ②-2	30 17-17	7/29	1	静岡済生会療育センター 令和	脳性麻痺の訓練入門(実技を含む。)について学ぶ。
		77	肢体不自由児療育指導者講習③-1 (県肢体不自由児協会)	30 17-17	8/25	1	シズウエル	脳性麻痺の各論について学ぶ。
			” ③-2	30 18-18	8/26	1	静岡済生会療育センター 令和	脳性麻痺の訓練(実技を含む)
		78	肢体不自由児療育指導者講習④-1 (県肢体不自由児協会)	30 16-16	9/22	1	シズウエル	成人脳性麻痺について学ぶ。
			” ④-2	30 25-25	9/23	1	静岡済生会療育センター 令和	成人脳性麻痺者のリハビリテーションについて学ぶ。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(株)安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	20 76.9%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
(株)安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	27 81.8%	5 15.2%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部理学療法科 理学療法士 近藤史 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	40 71.4%	16 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ベストウェイ代表取締役社長 ベストウェイケアアカデミー 学校長 馬淵敦士 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	19 63.3%	9 30.0%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	
アンガーマネジメントファシリテーター 喜山志津香 氏	苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員等	6,000 (4,000)	100 88.5%	11 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	運営 委員会 正化
(福)百八会 シルバーピアさくら樹通所介護事業所長 前シルバーピアさくら樹訪問介護事業所長 大内麻由美 氏	ヘルパー协会会员	5,000 (2,000)	22 78.6%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	経営 支援課
浜松市障がい者基幹相談支援センター 所長 雨宮寛 氏	ヘルパー协会会员	5,000 (2,000)	11 64.7%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ねこの手 代表取締役 伊藤亜記 氏	ヘルパー协会会员	5,000 (2,000)	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県西部保健所 地域医療課 埋田聖子 氏(感染管理認定看護師), 小嶋由美 氏(保健師)	ヘルパー协会会员	5,000 (2,000)	18 81.8%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(一社)静岡県精神保健福祉士協会 (福)こころ 副理事長 渡邊里佳 氏 (福)こころ ビススタッフ 久保田夏子 氏	ヘルパー协会会员	5,000 (2,000)	14 77.8%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 烏野猛 氏	ヘルパー协会会员 (主にサービス提供責任者)	5,000 (2,000)	21 67.7%	10 32.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)ケアファクトリー 代表取締役 能本守康 氏	ヘルパー协会会员 (主にサービス提供責任者)	5,000 (2,000)	20 90.9%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県教育委員会 相談員 渡邊浩喜 氏 つばさ静岡 医師 山倉慎二 氏 静岡大学 教授 香野毅 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	12 92.3%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県立こども病院 医師 滝川一晴 氏 静岡済生会療育センター令和 医師 廣岡敦子 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏 他	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡済生会療育センター令和 医師 渡辺完 氏 伊豆医療福祉センター 医師 渡邊誠司 氏 静岡てんかん神経医療センター 医師 山崎悦子 氏 井出商会 井出容敬 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	12 75.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	
うんどう発達Laboすくすく 理学療法士 山内一之 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏 他	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	15 88.2%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
静岡県立こども病院 歯科医師 加藤光剛 氏 つばさ静岡 医師 浅野一恵 氏 静岡済生会療育センター令和 作業療法士 伊井玄 氏 静岡済生会療育センター令和 言語聴覚士 橋本潤子 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	14 82.4%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
うんどう発達Laboすくすく 理学療法士 山内一之 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏 他	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	15 83.3%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	
伊豆医療福祉センター 医師 渡辺誠司 氏 静岡てんかん神経医療センター 医師 山崎悦子 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	9 56.3%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	
うんどう発達Laboすくすく 理学療法士 山内一之 氏 静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本尚幸 氏 他	肢体不自由児の療育に携わる特別 支援学校・社会福祉施設職員等	5,000	23 92.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける 職種別研修	79	看護職員研修 ～ 施設看護師に求められる役割とは ～	90 25-22	11/30	1	ライブ配信	福祉施設における看護職の役割を理解し、介護職員など他職種との円滑なコミュニケーション法や、ケアの質や現場での力を高めるための知識・技術を学ぶ。
		看護職員研修 ～ 施設看護師に求められる役割とは ～	90 49-47	12/14～ 12/28	-	録画配信	
	80	相談員のための支援力アップ講座 ～ 生活相談員の基礎を学ぼう ～	90 29-28	1/29	1	ライブ配信	相談員の役割と業務の基本について適切に理解し、主体的に業務と向き合う姿勢を身に付けることで、更なる支援力アップを目指す。
	81	相談員のための支援力アップ講座(実践編) 利用者 家族 他職種との人間関係 ～ 対人援助職に求められるイライラ感情 コントロール ～	90 15-15	2/19	1	ライブ配信	利用者家族からのクレーム、他職との業務意識のズレなどから生じるストレスに対して、アサーションやマインドフルネスなどを用いた対処法を学び、ソーシャルワーク機能を発揮できる人材を目指す。
	82	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会	20 33-33	5/29	1	ライブ配信/録画配信	専門員としての心構え、基礎的知識を習得する。
	83	日常生活自立支援事業 専門員研修会	50 31-31	12/7	1	ライブ配信/録画配信	KAERU biz 権利擁護を利用したキャッシュレス支援について
	84	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会	30 57-57	9/22～3/31	-	録画配信	日常生活自立支援事業の業務について学ぶ。
	85	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会	250 150-150	10/26 12/18	2	沼津市立図書館 掛川市生涯学習センター	日常生活自立支援事業における相談援助技法について学ぶ。
	86	生活困窮者自立支援事業 従事者養成研修	50 218-218	4/21,5/19 6/9,7/28 8/22,9/14	6	ライブ配信 他	生活困窮者自立支援法の理念、業務理解を深める。 (ケース検討、グループワーク等)
	87	生活福祉資金新任担当者研修会	60 72-70	5/30	1	シズウエル	生活福祉資金の概要や貸付事務について学ぶ。
	88	地域アセスメント研修 初級編	30 25-23	12/4	1	熱海市社会福祉協議会	「住民主体」の根底となる、住民間の合意形成や地域課題を明確にすること等、コミュニティワークについての理解を深める。
		地域アセスメント研修 中級編	30 11-10	12/22	1	Biviキャン	
		小地域福祉活動計画研修	30 22-21	1/23	1	シズウエル	
		ネゴシエーション研修	30 19-19	2/26	1	シズウエル	
	89	ボランティア担当者研修	30 26-25	3/25	1	ライブ配信	市町村協のボランティアセンターに向けて、必要な知識と技術の習得を図るとともに、ボランティアセンターの在り方を考え、ボランティア活動団体のつながりの強化を目指す。
	90	生活支援コーディネーター養成研修	60 122-122	7/27	1	ライブ配信	地域支援事業における生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターに必要な知識と技術の習得を図る。
	91	生活支援コーディネータースキルアップ研修	60 93-93	11/8 11/13 10/26	3	クリエート浜松 沼津商工会議所 シズウエル	生活支援コーディネーターのスキルアップを図るために必要な知識と技術の習得を図る。
	92	市町村協 監事研修	-	4/14～7/31	-	録画配信	監事の役割と必要な知識について学ぶ。
	93	市町村協 新任事務局長研修	10 7-7	4/20	1	オンライン	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け(設立経過)等について学ぶ。
	94	社協災害対応研修会 ～被災住宅応急復旧研修会～	各50 100-100	8/4 8/10	2	グランシップ 浜松市地域情報センター	社協における災害対応力の向上を図る。 被災の状況に応じた応急処置や応急処理における創意工夫事例を学ぶ。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
ブルーベル 代表 看護師・介護支援専門員 市村幸美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	12 80.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			21 75.0%	7 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
生活と福祉マインド研究室 主宰 梅沢佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	19 82.6%	3 13.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
生活と福祉マインド研究室 主宰 梅沢佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
静岡県社会福祉協議会 権利擁護課職員	市町村協専門員	無料	1 2.8%	33 91.7%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	
KAERU(株) 中島尚子 氏	市町村協専門員	無料	1 3.6%	25 89.3%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	権利擁護課
静岡県社会福祉協議会 職員	市町村協新任生活支援員	無料	1 1.9%	50 94.3%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 教授 野田由佳里 氏	市町村協現任生活支援員	無料	82 54.7%	37 24.7%	5 3.3%	3 2.0%	23 15.3%	
静岡県健康福祉部地域福祉課 主事 山野井美央 氏 長野県社会福祉協議会 主任 佐藤公治 氏 (一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク 理事 生水裕美 氏 (一社)静岡市清水医師会 総合相談部長 兼 在宅医療介護相談室長 安藤千晶 氏 なかに社会保険労務士事務所 社会保険労務士 中谷江津子 氏 立命館大学 客員教授 団士郎 氏 他	自立相談支援員、 市町村行政担当職員	無料	1 0.5%	179 98.4%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	生活支援課
静岡県社会福祉協議会 生活支援課職員	市町村協新任担当者	無料	9 12.9%	58 82.9%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.9%	
駒澤大学 教授 川上富雄 氏	市町村協職員、市町行政職員、 生活支援コーディネーター	無料	21 95.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	地域福祉課
駒澤大学 教授 川上富雄 氏			8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
駒澤大学 教授 川上富雄 氏			15 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	
文京学院大学 教授 田嶋英行 氏			14 73.7%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	
(特非)日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長 後藤麻理子 氏	(市町村協)ボランティア担当者	無料	10 55.6%	8 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
(公財)さわやか福祉財団 澤美杉 氏	第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	24 40.7%	28 47.5%	7 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	
(一社)コミュニティネットハピネス 土屋幸己 氏 行政、社協、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員	第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	58 86.6%	8 11.9%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	
杉山公認会計士事務所 杉山明喜雄 氏	市町村協監事	無料	-	-	-	-	-	
静岡県社会福祉協議会 職員	市町村協新任事務局長	無料	-	-	-	-	-	
災害対応NPO MFP 松山文紀 氏 静岡県災害対策士業連絡会 弁護士 永野海 氏 災害支援団体 風組関東 代表 小林直樹 氏	市町村協職員	無料	-	-	-	-	-	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける	95	CSW実践者養成研修 ＜地域福祉コーディネーター＞	30 30-26	前期 7/14,15 後期 2/16,17	4	シズウエル	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得する。
	96	CSW実践者スキルアップ研修	50 21-21	8/21	1	シズウエル	コミュニティソーシャルワーカーの実践に必要な理論・アプローチをテーマ別に学ぶ。
専門技術力を身につける			6195 4182-4076				
人間力（社会・対人関係力）を高める	97	接遇・マナー・コミュニケーション講座【第1回】 ～ 対人支援の仕事は、職員一人ひとりの適切な接遇・マナーから～	60 41-37	4/25	1	シズウエル	利用者や家族との協力的な関係と職場内のより良い人間関係のための接遇・マナーの基本的なポイントを学ぶ。
		接遇・マナー・コミュニケーション講座【第2回】 ～ 対人支援の仕事は、職員一人ひとりの適切な接遇・マナーから～	60 55-54	5/19	1	シズウエル	
	98	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座	60 32-29	6/15	1	シズウエル	「コンプライアンス（法令等の順守=法令の文言のみならずその背後にある精神まで守り実践すること）」の基本的視点と考え方を学ぶ。
	99	【新規研修】 「言いにくいことを伝える技術」【第1回】 ～アサーティブ・コミュニケーションを学び合う～	66 120-65	8/21	1	ライブ配信	自分も相手も尊重しながら「対話」していく考え方やスキルを学ぶことで、より良い人間関係を構築し、風通しのいい職場づくりを目指す。
		【新規研修】 「言いにくいことを伝える技術」【第2回】 ～アサーティブ・コミュニケーションを学び合う～	66 63-61	11/27	1	ライブ配信	
	100	共感を得る「ことば」講座	60 76-62	8/29	1	シズウエル	放送界のカリスマ講師に学ぶ、DJポリスも学んだスピーチロクとは!? 「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」へ。サービス業・対人援助のプロとして、重要な「ことば選び」を学ぶ。
	101	アングーマネジメントを学ぶ講座	60 55-52	2/12	1	シズウエル	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ。
	102	福祉職のためのストレスマネジメント講座	90 41-34	1/18	1	ライブ配信	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る。
103	主任・管理職のためのメンタルヘルス講座	90 36-35	3/1	1	ライブ配信	メンタルヘルスに関する職場のリスクを把握するとともにメンタル不調の職員の早期発見、初期対応について学び、主任・管理職として求められるメンタルヘルスとストレスの知識を習得する。	
人間力（社会・対人関係力）を高める			612 519-429				
地域福祉を支える力を身につける	104	静岡DWAT登録員養成研修	50 38-38	8/18 9/1	2	【1日目】オンライン 【2日目】静岡県立短大	静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）として活動するための基礎知識を学ぶ。
	105	静岡DWAT登録員スキルアップ研修	90 56-56	11/10	1	札の辻クロスホール	静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）として活動するために必要な知識やスキルを学ぶ。
	106	静岡DWAT登録員エリア別情報交換会	各30 【中部】10-10 【東部】19-19 【西部】14-14	6/15 6/22 6/29	3	支部拠点施設 さつき園 愛華の郷 浜松中央長上苑	静岡DWAT登録員どうしの顔の見える関係づくりを進めるとともに、平時の取組の活性化を図る。
	107	社会福祉法人の地域における公益的な取組実践報告会	90 63-60	10/16	1	あざれあ	社会福祉法に基づく地域における公益的な取組への理解を深める。
	108	福祉・介護の職場体験	1000 1027-869	4月～2月	-	県内	福祉・介護現場での体験機会を提供し、福祉・介護の仕事の「魅力」や「やりがい」の理解を図る。
	109	介護のシゴト復職応援セミナー	各20～30 795-795	4月～3月	30	県内 30か所	・介護に関する基本的な知識や技術の再確認及び、最新の知識及び技術を習得する。 ・介護現場の現状 など
	110	保育士さん就職応援セミナー	各40～200程度 408-410	7/23 1/20,21 2/4 他	5	県内（3か所） /ライブ配信（1回）	保育所等での働き方や現状等を理解するとともに、就業に役立つ知識を習得する。

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏 他	地域福祉関係職員、 地域包括支援センター関係職員	15,000	20 76.9%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	地域福祉課
日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏	CSW養成研修受講者	無料	15 88.2%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
			2059 64.1%	962 30.0%	44 1.4%	11 0.3%	136 4.2%	
コミュニケーションハウス 代表 坂倉裕子 氏	社会福祉施設等に勤務する主に 新任・中堅クラスの方	6,000 (4,000)	33 89.2%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	研修課
			44 83.0%	8 15.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	20 69.0%	6 20.7%	1 3.4%	0 0.0%	2 6.9%	
NPO法人アサーティブジャパン 認定講師 谷澤久美子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	37 68.5%	16 29.6%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	
			33 66.0%	17 34.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
(株)はあもにい 代表取締役 大野晴己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	48 78.7%	12 19.7%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	33 63.5%	17 32.7%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	
産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
産業カウンセラー キャリアカウンセラー 心理相談員 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する主任・管理職等の方	5,000 (3,000)	27 87.1%	4 12.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			292 75.3%	88 22.7%	5 1.3%	0 0.0%	3 0.8%	
静岡県立大学短期大学部 教授 鈴木俊文 氏 島田市(避難所説明) 海野凌我 氏 県(保健師の活動説明) 櫻井郁巳 氏 他	静岡DWAT登録員支援協力申出書 を提出している法人・施設の所属職 員	無料	32 91.4%	2 5.7%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	経営支援課
静岡県立大学短期大学部 教授 鈴木俊文 氏	静岡DWAT登録員	無料	42 75.0%	12 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	
富士市危機管理室防災危機管理課 統括主幹 太田智久 氏 (福)恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会 川奈臨海学園 山田善紀 氏 (福)小羊学園 古橋誠 氏 (株)わたしたち 代表取締役 中野あゆみ 氏	静岡DWAT登録員	無料	34 79.1%	6 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.0%	
(福)蒼樹会 特別養護老人ホーム さつき園 施設長 杉山弘年 氏 他	社会福祉法人福祉施設職員・社会 福祉協議会職員	無料	25 71.4%	10 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
-	福祉職に関心のある方、福祉職場 に就労を希望する方	無料	365 87.3%	46 11.0%	2 0.5%	0 0.0%	5 1.2%	
(福)静岡和洋福祉会 特別養護老人ホーム なごみ 機能訓練指導員 佐藤大史 氏 ほか	介護施設等の離職者で介護職に復 帰を希望する方	無料	412 60.4%	149 21.8%	21 3.1%	9 1.3%	91 13.3%	人材課
たにぞう 氏 他	保育所等への就業を希望している 方	無料	262 91.6%	21 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.0%	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
地域福祉を支える力を身につける	111	フォローアップセミナー (入職3年目までの職員対象)	- 89-89	(東部)11/7 (中部)11/27 (西部)11/20	3	県内 (3か所)	仕事のやりがいや魅力を再確認すると共に、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る。
	112	外国人介護職員研修交流会(前期)	各30 102-92	10/3,5,12, 18,26,30	6	県内(3か所) ハイブリッド開催	外国人介護職員(同国人同士)の研修交流を通じて、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る。
		外国人介護職員研修交流会(後期)	各30 79-76	2/2,7,8,13, 14,15,19,20, 27,29	10	シズウエル/ライブ配信	外国人介護職員(同国人同士)の研修交流を通じて、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る。
	113	法定地区民児協会長研修会 (県民生委員児童委員協議会)	163 162-156	9/11	1	ホテルアソシア静岡	単位民児協会長の基本的資質の向上、並びに民児リーダーとしての自覚と地域福祉の充実を図る。
	114	主任児童委員研修会 (県民生委員児童委員協議会)	各70程度 122-113	1/25 1/26	2	ブラサヴェルデ 掛川グランドホテル	主任児童委員の役割について協議し、地域における児童委員活動の推進を図る。
	115	民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会 (県民生委員児童委員協議会)	各70程度 121-115	8/7 8/8	2	ブラサヴェルデ 掛川グランドホテル	民生委員活動の基本となる相談面接スキル等の習得を図る。
	116	地域福祉教育推進セミナー	100 77-77	2/5	1	ライブ配信	実践事例から福祉教育の実践方法や福祉教育の在り方を学ぶ。
	117	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修	35 127-22	前期 8/1~8/31 後期 10/31, 11/28,12/5	3	シズウエル	包括的支援体制やその意義を学び、実践を踏まえた事例検討等を行う。
	120	保育の現場体験	- 110-105	4月下旬~ 2月末	-	県内の保育所等	保育士資格を有しながら、保育士として就労していない方や、資格取得見込みの方などに保育所等への就業を促すために保育現場での体験を通して保育の仕事の「やりがい」や「魅力」の理解を図る。
	121	静岡市立こども園見学・実習	- 18-16	5月上旬~ 2月末	-	静岡市立こども園	保育士資格を有しながら、保育士として就労していない方や、資格取得見込みの方などに保育所等への就業を促すために保育現場での体験を通して保育の仕事の「やりがい」や「魅力」の理解を図る。
地域福祉を支える力を身につける			3678 3437-3132				
計			12510 11020-10368				

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏	令和3年・令和4年及び令和5年開催の合同入職式参加者	無料	73 82.0%	15 16.9%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	人材課
静岡大学 国際連携推進機構 特任准教授 比留間洋一 氏 ほか	県内の外国人介護職員、留学生	無料	44 47.8%	34 37.0%	0 0.0%	1 1.1%	13 14.1%	
静岡大学 国際連携推進機構 特任准教授 比留間洋一 氏 ほか	県内の外国人介護職員、留学生	無料	41 53.9%	20 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 19.7%	
さんすい防災研究所 代表 山崎水紀夫 氏	県民児協会員 (法定地区民児協会長)	無料	95 60.9%	54 34.6%	2 1.3%	0 0.0%	5 3.2%	地域福祉課
KT福祉研究所 代表 松藤和生 氏	県民児協会員 (主任児童委員)	無料	83 73.5%	27 23.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.7%	
(同)アウエフキャリア 代表 田島聡子 氏	県民児協会員	無料	93 80.9%	18 15.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.5%	
静岡福祉大学 学長 増田樹郎 氏	学校教諭、教育委員会職員、 地区社協役員・関係者、 社会福祉施職員、社協職員	無料	-	-	-	-	-	
(一社)静岡市清水医師会 総合相談部長 兼 在宅医療介護相談室長・ 日本社会福祉士会 副会長 安藤千晶 氏 静岡県立大学 看護学部 助教 栗田真由美 氏 (一社)コミュニティネットハビネス 土屋幸己 氏 静岡福祉大学 福祉心理学科 教授 楢木博之 氏 静岡県立大学 経営情報学部 教授 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属医療経営研究センター 副センター長 東野定律 氏 富士宮市保健福祉部福祉総合相談課 課長 新谷久美子 氏	市町行政担当、社協職員等	無料	2 4.3%	42 89.4%	1 2.1%	2 4.3%	0 0.0%	権利擁護課
-	保育士資格または幼稚園教諭免許 をお持ちの方、資格取得見込みの 方、取得に向けて勉強されている 方、県内の高校生	無料	104 99.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	人材課
-	保育士資格または幼稚園教諭免許 をお持ちの方、資格取得見込みの 方、取得に向けて勉強されている 方、県内の高校生	無料	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			1723 72.9%	457 19.3%	27 1.1%	13 0.5%	144 6.1%	
			5163 61.3%	1900 22.6%	112 1.3%	26 0.3%	1220 14.5%	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

令和6年6月